

人権問題に関する県民意識調査
報 告 書 (案)

令和2年3月

岡 山 県

目次

第1章 調査の概要

1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査方法	1
4 回収結果	1
5 回収の属性	1
6 報告書をみる際の注意点	2

第2章 調査結果

1 人権問題について

問1 基本的人権の周知度	3
問2 人権侵害の推移	6
問3 人権侵害の経験	9
問3-1 人権侵害の内容	12
問4 他人の人権の尊重	16

2 主な人権課題に関する意識について

問5 重要だと思う人権課題	19
問6 「次回改訂する指針」に新たに加えたらよいと思う人権課題	23
問7 女性に関する人権上の問題点	24
問8 女性の人権が守られるために必要なこと	27
問9 子どもに関する人権上の問題点	30
問10 子どもの人権が守られるために必要なこと	33
問11 高齢者に関する人権上の問題点	36
問12 高齢者の人権が守られるために必要なこと	39
問13 障害のある人に関する人権上の問題点	43
問14 障害のある人の人権が守られるために必要なこと	45

問 15	同和問題を知ったきっかけ	48
問 15-1	同和問題に関する人権上の問題点	51
問 15-2	同和問題を解決するために必要なこと	54
問 16	在住外国人に関する人権上の問題点	57
問 17	在住外国人の人権が守られるために必要なこと	59
問 18	ヘイトスピーチを伴う活動の周知度	62
問 18-1	デモ等を知ったきっかけ	64
問 18-2	ヘイトスピーチを伴う活動を見聞きして思ったこと	66
問 19	ハンセン病患者・回復者とその家族に関する人権上の問題点	68
問 20	H I V感染者等に関する人権上の問題点	70
問 21	H I V感染者等の人権が守られるために必要なこと	73
問 22	インターネットによる人権侵害に関する人権上の問題点	76
問 23	犯罪被害者等に関する人権上の問題点	79
問 24	性同一性障害、性的指向等に関する人権上の問題点	82
問 25	ホームレスに関する人権上の問題点	85
問 26	東日本大震災等の被災者に関する人権上の問題点	88
問 27	セクシュアル・ハラスメントに関する人権上の問題点	91
問 28	様々なハラスメントに関する人権上の問題点	93

3 人権課題の解決のための方策について

問 29	人権啓発を推進するために効果的だと思う啓発活動	95
問 30	人権課題の解決のための方策	99
	自由記入欄	102

第3章 資料編

人権問題に関する県民意識調査票	106
-----------------	-----

第1章 調査の概要

1 調査目的

岡山県では、前回平成26年に人権問題に関する県民意識調査を実施したが、以来5年経過し、その間の社会状況の急速な変化に伴って新たな人権課題が生まれ、また県民の人権意識も変化していると考えられる。そのため、人権問題に関する県民の意識について状況を把握し、今後の人権施策を効果的に推進するための参考資料とする。

2 調査項目

- (1) 人権問題について（5問）
- (2) 主な人権課題に関する意識について（28問）
- (3) 人権課題の解決のための方策について（2問）

3 調査方法

- (1) 調査地域 岡山県全域
- (2) 調査対象 県内全市町村から無作為に抽出した18歳以上の男女 3,000人
- (3) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (4) 実施時期 令和元年8月1日～令和元年8月31日

4 回収結果

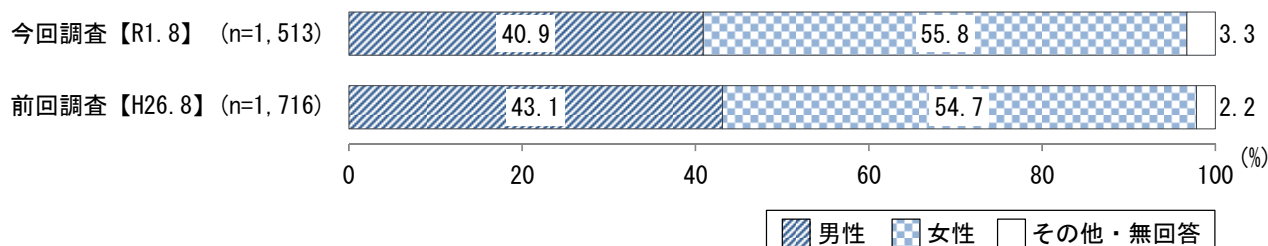
有効回収数（率） 1,513人（50.6%）

	調査票 発送数 (A)	転居等による返却 (B)	実調査 対象者数 (C) A-B	回収数 (D)	回収率 (D/C)	有効回収数 (E)	有効回収率 (E/C)
今回調査 (R1.8)	3,000人	9人	2,991人	1,518人	50.8%	1,513人	50.6%
前回調査 (H26.8)	3,000人	17人	2,983人	1,721人	57.7%	1,716人	57.5%

5 回収の属性

性別割合

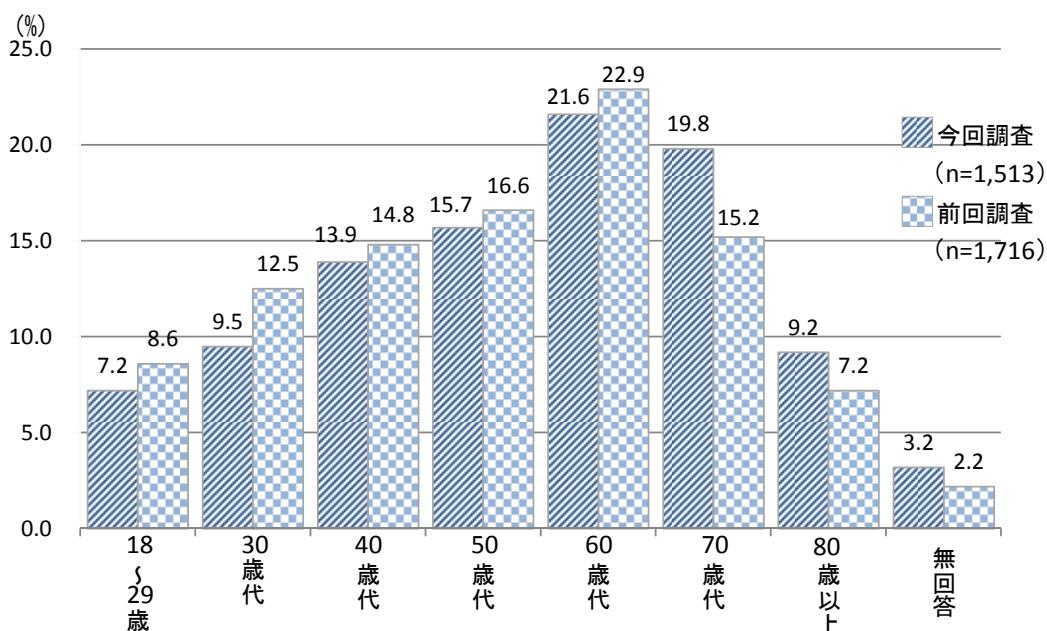
	今回調査 (R1.8)		前回調査 (H26.8)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
総数	1,513	(100.0)	1,716	(100.0)
男性	619	(40.9)	740	(43.1)
女性	844	(55.8)	939	(54.7)
その他・無回答	50	(3.3)	37	(2.2)



年代別割合

	今回調査 (R1. 8)		前回調査 (H26. 8)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
総数	1,513	(100.0)	1,716	(100.0)
18～29 歳	109	(7.2)	148	(8.6)
30 歳代	143	(9.5)	215	(12.5)
40 歳代	210	(13.9)	254	(14.8)
50 歳代	237	(15.7)	284	(16.6)
60 歳代	327	(21.6)	393	(22.9)
70 歳代	299	(19.8)	261	(15.2)
80 歳以上	139	(9.2)	123	(7.2)
無回答	49	(3.2)	38	(2.2)

※前回調査は 20 歳以上が対象



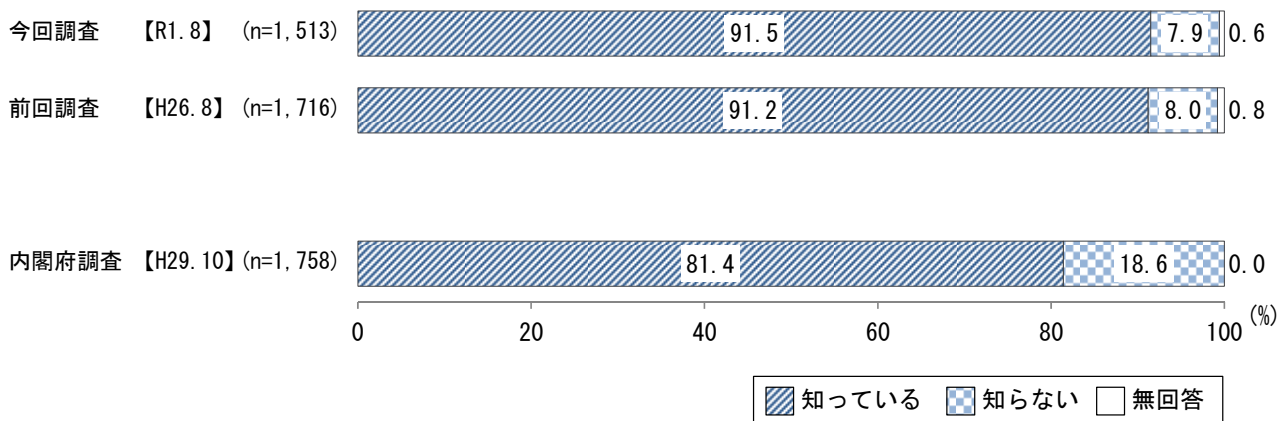
6 報告書を見る際の注意点

- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比 (%) で示してある。これらの数値は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0% とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0% を超えることがある。
- (3) 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- (4) 報告書中の図表について、複数回答の設問については、その設問に回答する資格を有する者の数を「全体 n= ()」で示している。
- (5) 報告書における「内閣府調査」とは、内閣府が平成 29 年 10 月に実施した「人権擁護に関する世論調査」の調査結果であり、あくまで参考資料として掲載している。
- (6) 今回調査では、性別を男性、女性、その他 (体と心の性別に違和感のある人等) で調査したが、その他 (体と心の性別に違和感のある人等) の回答者が極少数であったため無回答と併せ、「その他・無回答」として集計している。
- (7) 前回調査では 20 歳以上を対象としていたが、今回調査では 18 歳以上を対象としている。

第2章 調査結果

1 人権問題について

問1 あなたは、法の下での平等、自由権、社会権(生存権、教育を受ける権利、労働の権利等)等の基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。(✓は1つ)

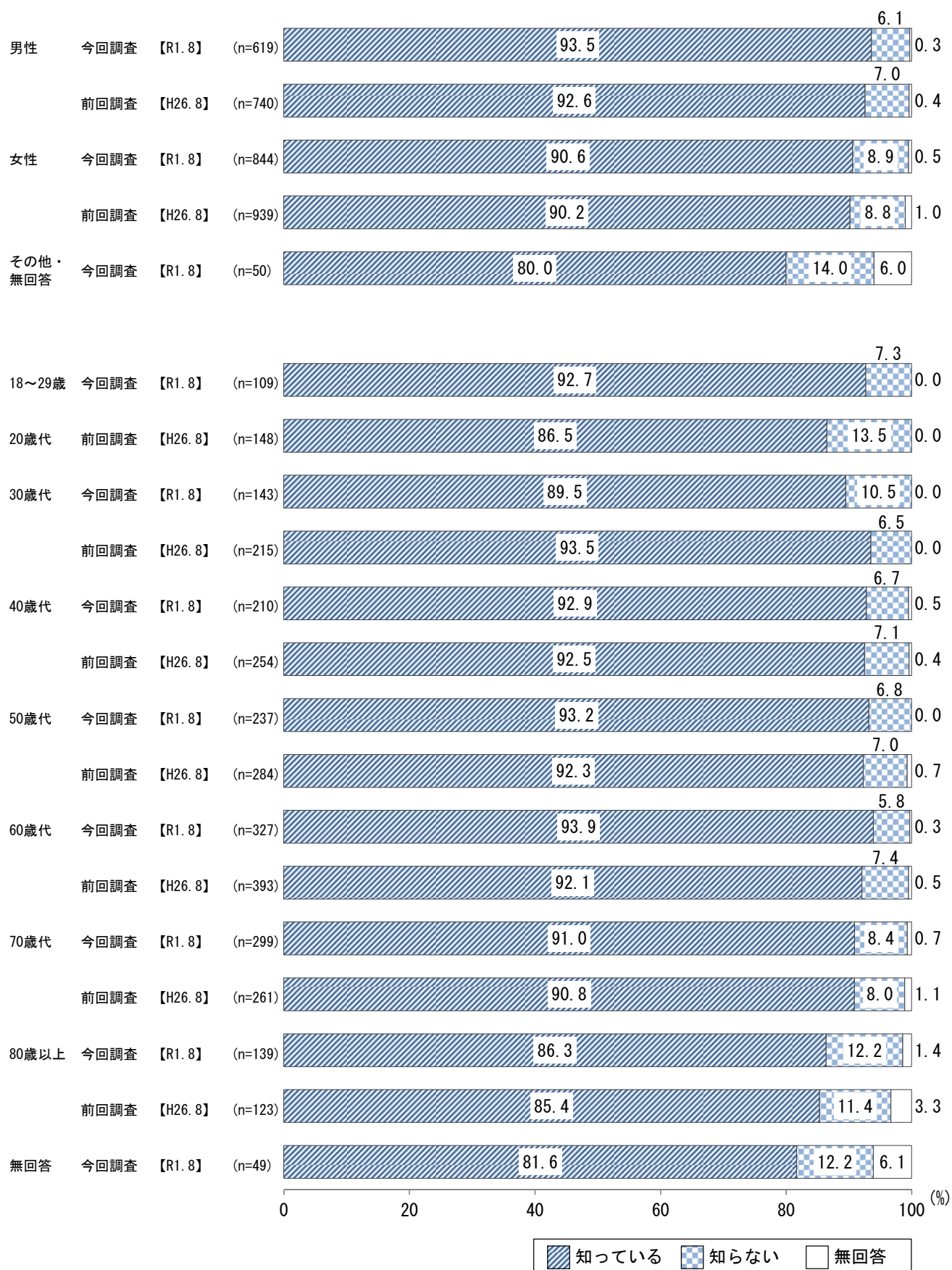


基本的人権についての周知度は9割と、前回調査時とほぼ同水準

基本的人権の周知度について、「知っている」は91.5%、「知らない」は7.9%となっている。

前回調査及び内閣府調査と比較すると、「知っている」は、前回調査より0.3ポイント、内閣府調査より10.1ポイント高くなっている。

図表 基本的人権の周知度【性・年代別】



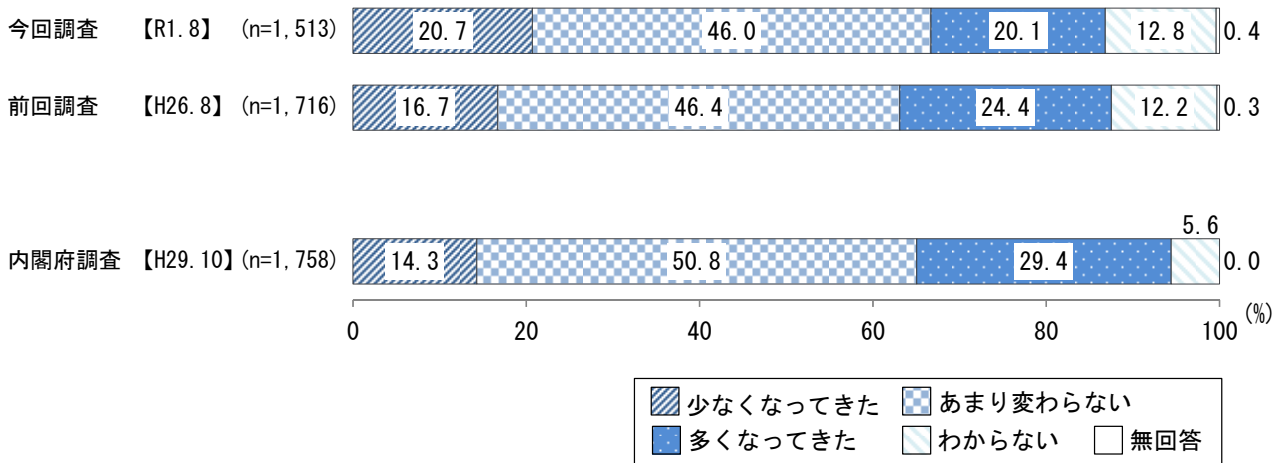
性別で見ると、「知っている」は男性で93.5%、女性で90.6%と男性がやや上回っている。

性別について前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

年代別で見ると、「知っている」は30歳代と80歳以上が他の年代に比べてやや低くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「知っている」は18～29歳で前回調査の20歳代に比べ6.2ポイント増となっている。

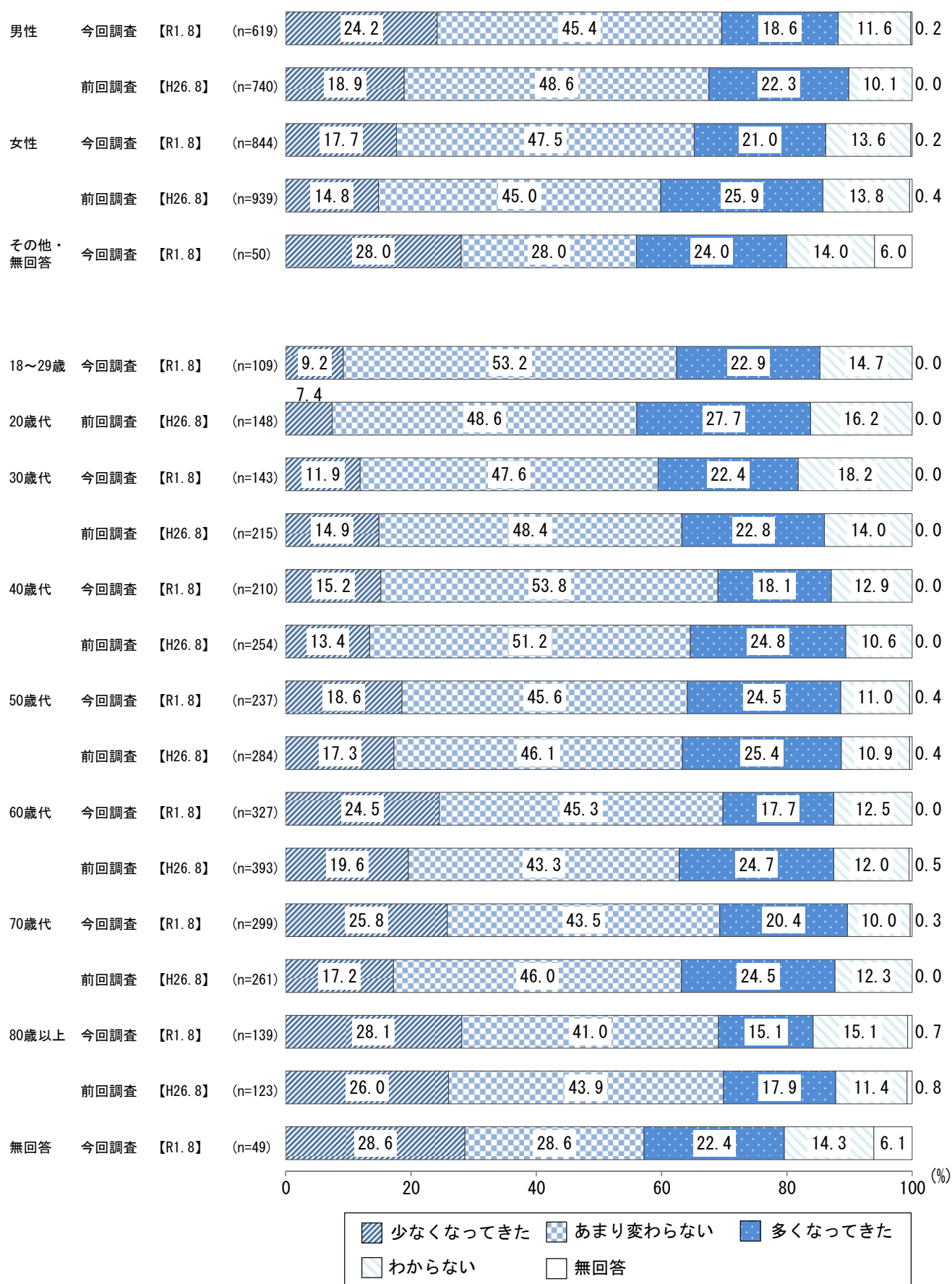
問2 新聞やテレビなどで「人権問題」とか「人権が侵害された」というニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5年の間に、日本で人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。(✓は1つ)



「あまり変わらない」との回答が約5割

人権侵害の推移について、「少なくなってきた」は20.7%、「あまり変わらない」は46.0%、「多くなってきた」は20.1%となっている。また、「わからない」は12.8%となっている。
 前回調査と比較すると、「少なくなってきた」は4.0ポイント増となっている。
 内閣府調査と比較すると、「多くなってきた」は9.3ポイント低くなっている。

図表 人権侵害の推移【性・年代別】

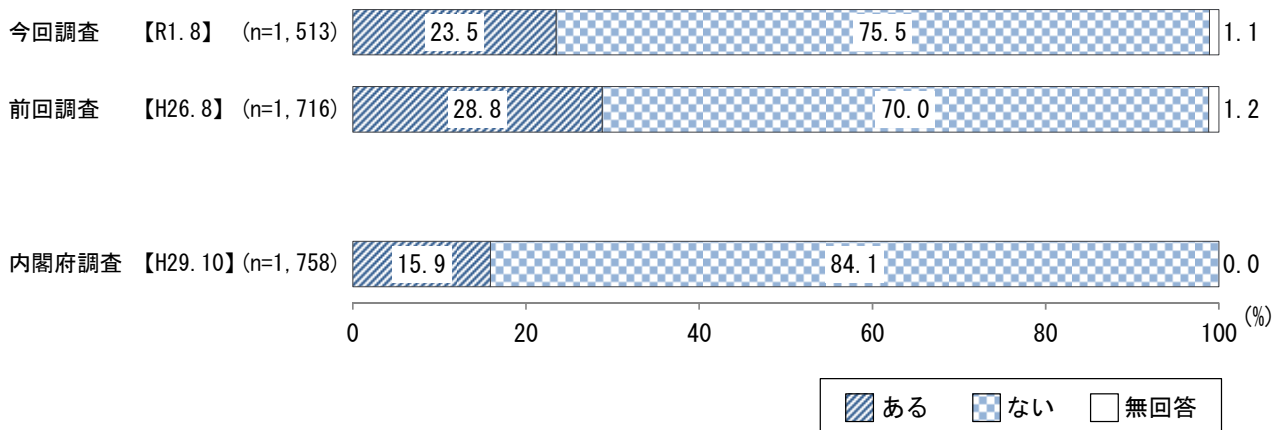


性別で見ると、「少なくなってきた」は男性（24.2%）が女性（17.7%）を6.5ポイント上回っている。
性別について前回調査と比較すると、「少なくなってきた」は男性で5.3ポイント増、女性で2.9ポイント増となっている。

年代別で見ると、「少なくなってきた」と回答した割合は年代が上がるにつれ高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「少なくなってきた」は70歳代で8.6ポイント増となっている。

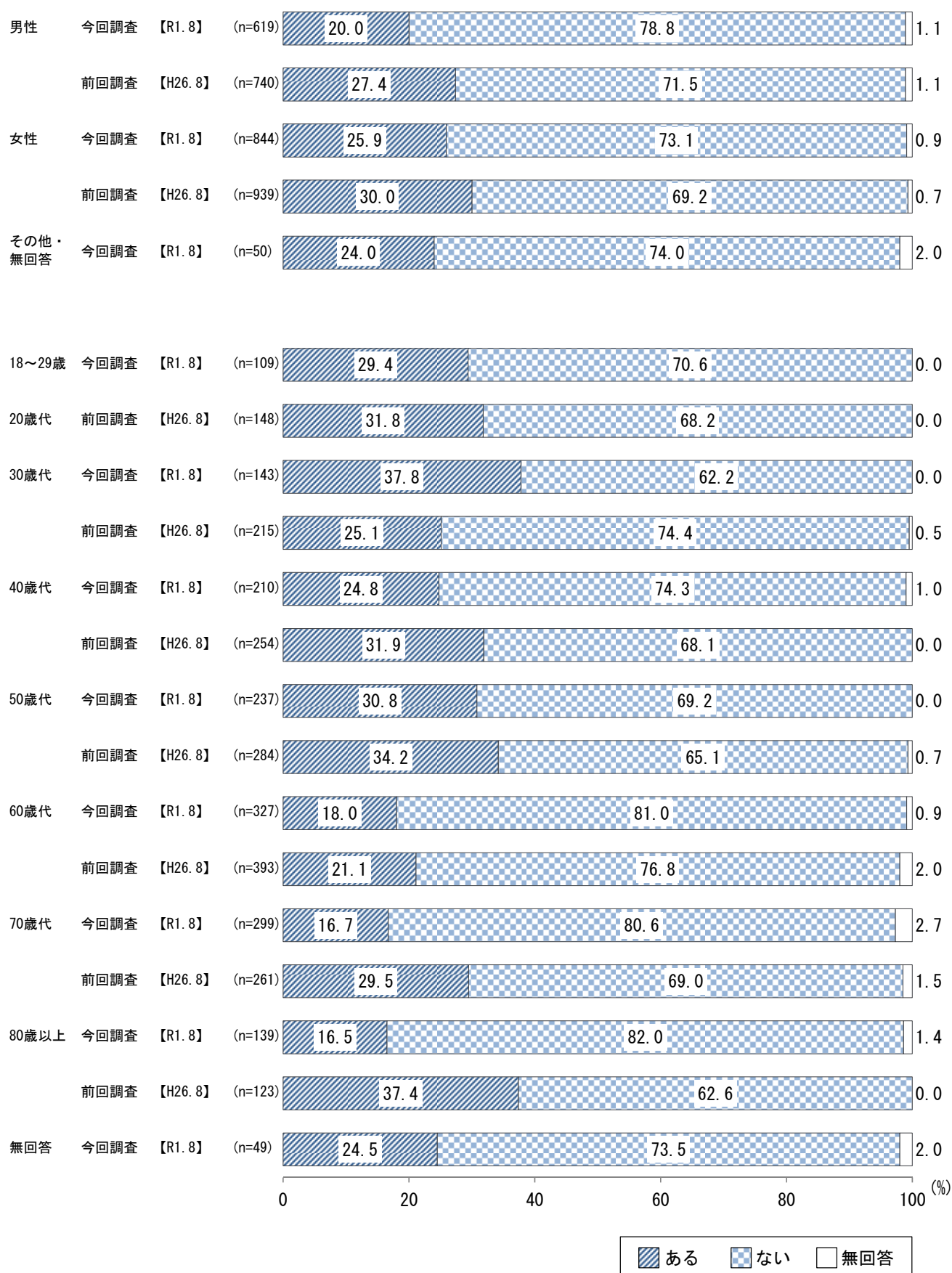
問3 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。(✓は1つ)



人権侵害の経験の割合は2割台半ばで、わずかに減少

人権侵害の経験について、「ある」は23.5%、「ない」は75.5%となっている。
前回調査と比較すると、「ある」は5.3ポイント減となっている。
内閣府調査と比較すると、「ある」は7.6ポイント高くなっている。

図表 人権侵害の経験【性・年代別】



性別で見ると、「ある」は女性（25.9%）が男性（20.0%）を5.9ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「ある」は男性で7.4ポイント減、女性で4.1ポイント減となっている。

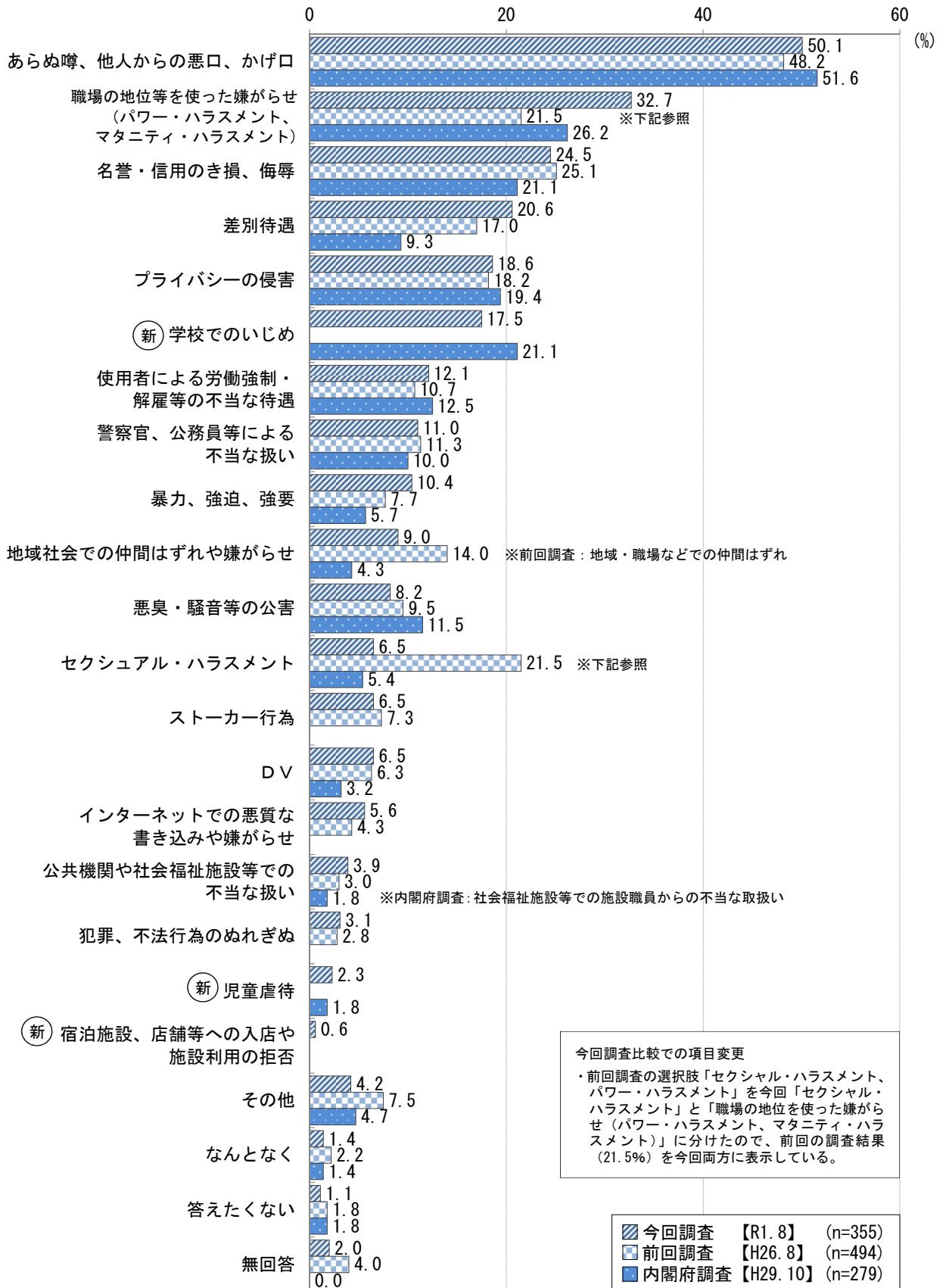
年代別で見ると、「ある」は30歳代が37.8%と一番高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「ある」は30歳代で12.7ポイント増となっており、70歳代で12.8ポイント減、80歳以上で20.9ポイント減となっている。

(問3で「ある」と答えた方にお聞きします。)

問3-1 それは、どのような場合ですか。差し支えなければこの中からあげてください。

(✓はいくつでも)



「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が約5割

人権侵害の内容について、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が50.1%と最も高く、次いで「職場の地位等を使った嫌がらせ」(32.7%)、「名誉・信用のき損、侮辱」(24.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「職場の地位等を使った嫌がらせ」は前回調査の選択肢「セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント」から変更したこともあるが、11.2ポイント増となっている。

内閣府調査と比較すると、「差別待遇」は11.3ポイント高くなっている。

図表 人権侵害の内容【性・年代別】

		件数		のあらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	職場の地位等を使った嫌がらせ	名誉・信用のき損、侮辱	差別待遇	プライバシーの侵害	学校でのいじめ	待制使用者による労働不安	よる警察官、公務員等に不当な扱い	暴力、強迫、強要									
		n																			
全体		n= 355		50.1	32.7	24.5	20.6	18.6	17.5	12.1	11.0	10.4									
性別	男性	今回調査	n= 124	52.4	31.5	29.8	17.7	16.9	11.3	14.5	14.5	15.3									
		前回調査	n= 203	44.8	16.3	25.6	18.7	13.3	-	10.3	16.3	11.3									
	女性	今回調査	n= 219	50.2	34.2	21.0	22.4	19.2	21.0	11.0	8.7	7.8									
		前回調査	n= 282	50.4	25.2	24.8	15.2	21.3	-	10.6	8.2	5.0									
	その他・無回答	今回調査	n= 12	25.0	16.7	33.3	16.7	25.0	16.7	8.3	16.7	8.3									
年代別	18～29歳	今回調査	n= 32	56.3	28.1	34.4	9.4	34.4	31.3	15.6	6.3	12.5									
	20歳代	前回調査	n= 47	51.1	29.8	21.3	12.8	23.4	-	12.8	12.8	6.4									
	30歳代	今回調査	n= 54	64.8	35.2	13.0	14.8	20.4	33.3	14.8	11.1	7.4									
		前回調査	n= 54	63.0	31.5	25.9	14.8	16.7	-	11.1	18.5	9.3									
	40歳代	今回調査	n= 52	44.2	34.6	13.5	11.5	19.2	19.2	13.5	7.7	13.5									
		前回調査	n= 81	44.4	34.6	33.3	16.0	17.3	-	8.6	8.6	8.6									
	50歳代	今回調査	n= 73	50.7	49.3	20.5	28.8	17.8	16.4	15.1	20.5	15.1									
		前回調査	n= 97	45.4	21.6	25.8	11.3	24.7	-	7.2	6.2	5.2									
	60歳代	今回調査	n= 59	44.1	28.8	30.5	22.0	11.9	10.2	5.1	6.8	6.8									
		前回調査	n= 83	41.0	19.3	21.7	24.1	18.1	-	16.9	16.9	9.6									
	70歳代	今回調査	n= 50	48.0	24.0	36.0	22.0	14.0	6.0	12.0	8.0	8.0									
		前回調査	n= 77	51.9	6.5	16.9	18.2	11.7	-	10.4	11.7	2.6									
	80歳以上	今回調査	n= 23	56.5	8.7	34.8	39.1	17.4	4.3	4.3	13.0	8.7									
		前回調査	n= 46	45.7	6.5	32.6	19.6	13.0	-	6.5	8.7	15.2									
	無回答	今回調査	n= 12	16.7	25.0	25.0	16.7	25.0	16.7	16.7	8.3	8.3									

新 (%)

		件数	地域社会での仲間はずれや嫌がらせ	悪臭・騒音等の公害	セクシュアル・ハラメント	ストーカー行為	DV	インターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ	公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い	犯罪、不法行為のぬれぎぬ	児童虐待	
全体		n= 355	9.0	8.2	6.5	6.5	6.5	5.6	3.9	3.1	2.3	
性別	男性	今回調査	n= 124	8.9	9.7	0.8	2.4	0.8	7.3	6.5	3.2	0.8
		前回調査	n= 203	10.3	10.8	16.3	3.0	1.0	3.4	3.9	4.4	-
	女性	今回調査	n= 219	9.1	7.3	10.0	8.7	10.0	5.0	2.3	3.2	3.2
		前回調査	n= 282	16.7	8.9	25.2	10.6	10.3	5.0	2.5	1.8	-
その他・無回答		今回調査	n= 12	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 32	15.6	6.3	9.4	6.3	3.1	15.6	3.1	6.3	6.3
		前回調査	n= 47	17.0	8.5	29.8	10.6	4.3	12.8	0.0	2.1	-
	20歳代	今回調査	n= 54	9.3	9.3	9.3	9.3	3.7	7.4	1.9	3.7	1.9
		前回調査	n= 54	22.2	7.4	31.5	5.6	9.3	9.3	5.6	1.9	-
	40歳代	今回調査	n= 52	3.8	3.8	1.9	5.8	5.8	5.8	3.8	0.0	0.0
		前回調査	n= 81	9.9	6.2	34.6	6.2	6.2	3.7	1.2	2.5	-
	50歳代	今回調査	n= 73	12.3	12.3	8.2	8.2	12.3	8.2	2.7	6.8	4.1
		前回調査	n= 97	15.5	8.2	21.6	9.3	4.1	3.1	3.1	3.1	-
	60歳代	今回調査	n= 59	6.8	10.2	8.5	8.5	8.5	0.0	5.1	1.7	3.4
		前回調査	n= 83	14.5	12.0	19.3	6.0	7.2	2.4	4.8	2.4	-
	70歳代	今回調査	n= 50	6.0	8.0	6.0	4.0	2.0	2.0	4.0	2.0	0.0
		前回調査	n= 77	13.0	14.3	6.5	7.8	7.8	1.3	0.0	3.9	-
	80歳以上	今回調査	n= 23	17.4	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	8.7	0.0	0.0
		前回調査	n= 46	8.7	10.9	6.5	6.5	6.5	2.2	8.7	4.3	-
	無回答		今回調査	n= 12	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0

新

(%)

		件数	拒否	宿泊施設、店舗利用等への入店や施設利用等への安全にたすめるもの	水道・ガス等を止める	小売・サービス業での不当な扱い	その他	なんとなく	答えたくない	無回答	
全体		n= 355	0.6	-	-	4.2	1.4	1.1	2.0		
性別	男性	今回調査	n= 124	0.8	-	-	2.4	0.8	0.0	3.2	
		前回調査	n= 203	-	2.5	3.4	4.9	2.5	3.4	5.4	
	女性	今回調査	n= 219	0.5	-	-	5.0	1.8	1.4	1.4	
		前回調査	n= 282	-	1.8	4.3	9.2	2.1	0.7	2.5	
その他・無回答		今回調査	n= 12	0.0	-	-	8.3	0.0	8.3	0.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 32	3.1	-	-	3.1	3.1	0.0	3.1	
		前回調査	n= 47	-	2.1	6.4	6.4	2.1	2.1	4.3	
	20歳代	今回調査	n= 54	1.9	-	-	1.9	0.0	1.9	0.0	
		前回調査	n= 54	-	3.7	9.3	5.6	0.0	3.7	3.7	
	40歳代	今回調査	n= 52	0.0	-	-	3.8	3.8	0.0	1.9	
		前回調査	n= 81	-	2.5	3.7	11.1	2.5	0.0	2.5	
	50歳代	今回調査	n= 73	0.0	-	-	9.6	0.0	1.4	1.4	
		前回調査	n= 97	-	1.0	1.0	8.2	2.1	2.1	3.1	
	60歳代	今回調査	n= 59	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	1.7	
		前回調査	n= 83	-	1.2	6.0	7.2	3.6	2.4	2.4	
	70歳代	今回調査	n= 50	0.0	-	-	4.0	2.0	2.0	4.0	
		前回調査	n= 77	-	1.3	2.6	3.9	3.9	1.3	2.6	
	80歳以上	今回調査	n= 23	0.0	-	-	4.3	4.3	0.0	4.3	
		前回調査	n= 46	-	4.3	2.2	8.7	0.0	2.2	10.9	
	無回答		今回調査	n= 12	0.0	-	-	8.3	0.0	8.3	0.0

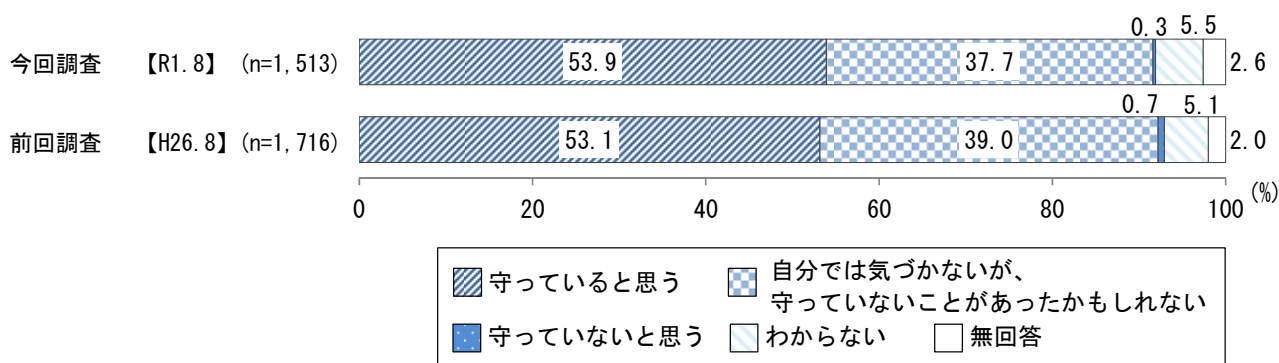
性別でみると、「名誉・信用のき損、侮辱」は男性（29.8%）が女性（21.0%）を8.8ポイント上回っている。一方、「学校でのいじめ」は女性（21.0%）が男性（11.3%）を9.7ポイント、「DV」は女性（10.0%）が男性（0.8%）を9.2ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」は男性で7.6ポイント増、「差別待遇」は女性で7.2ポイント増となっている。「地域社会での仲間はずれや嫌がらせ」は女性で7.6ポイント減となっている。

年代別で見ると、「職場の地位等を使った嫌がらせ」は50歳代で約5割、「差別待遇」は80歳以上で約4割と高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「名誉・信用のき損、侮辱」は40歳代で19.8ポイント減、70歳代では19.1ポイント増となっている。

問4 あなたは、他人の人権を守っていますか。(✓は1つ)

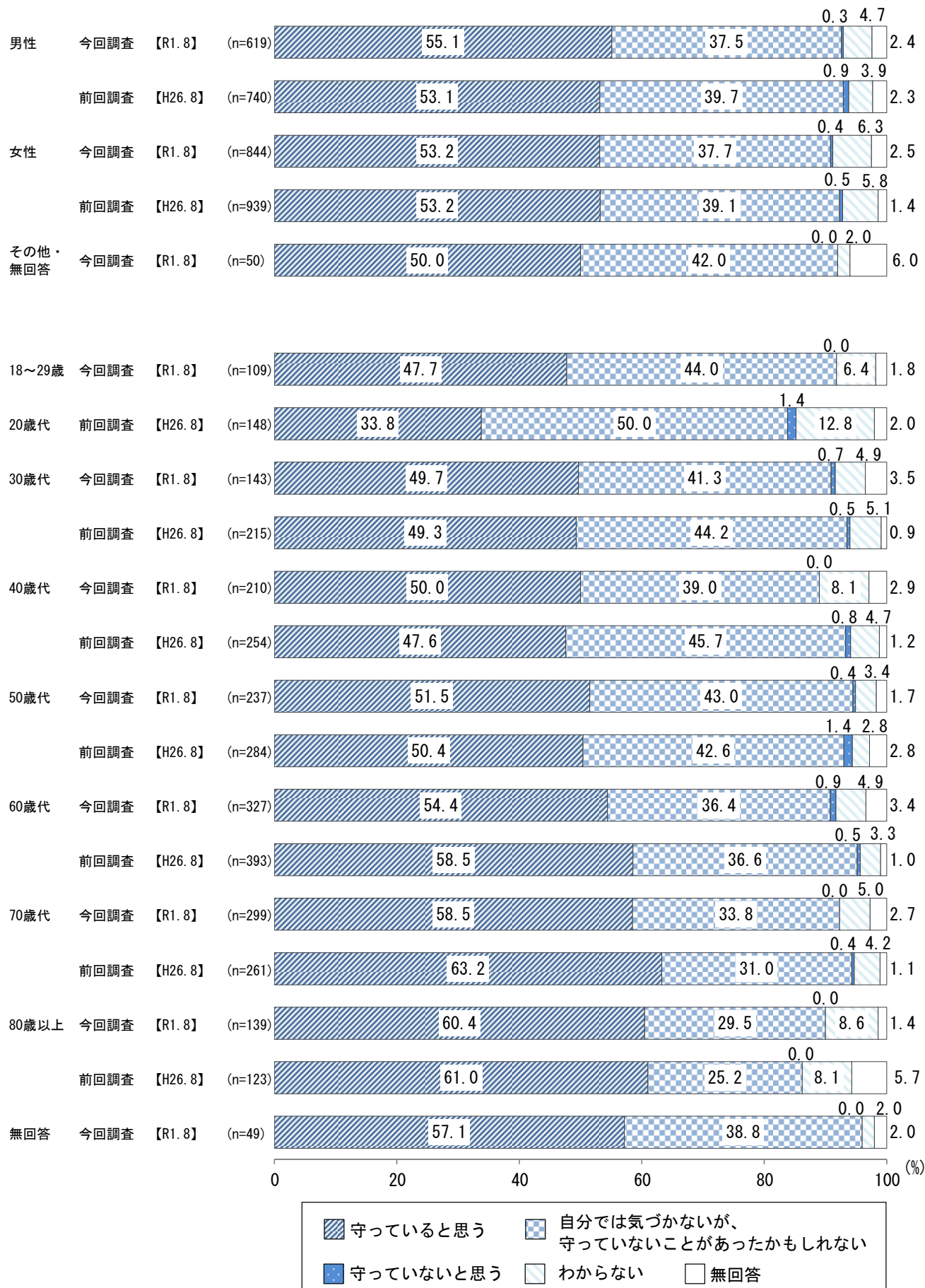


「守っていると思う」は5割台半ばで、前回調査とほぼ同水準

他人の人権の尊重について、「守っていると思う」は53.9%、「自分では気づかないが、守っていないことがあったかもしれない」は37.7%、「守っていないと思う」は0.3%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 他人の人権の尊重【性・年代別】



性別で見ると、大きな差はみられない。

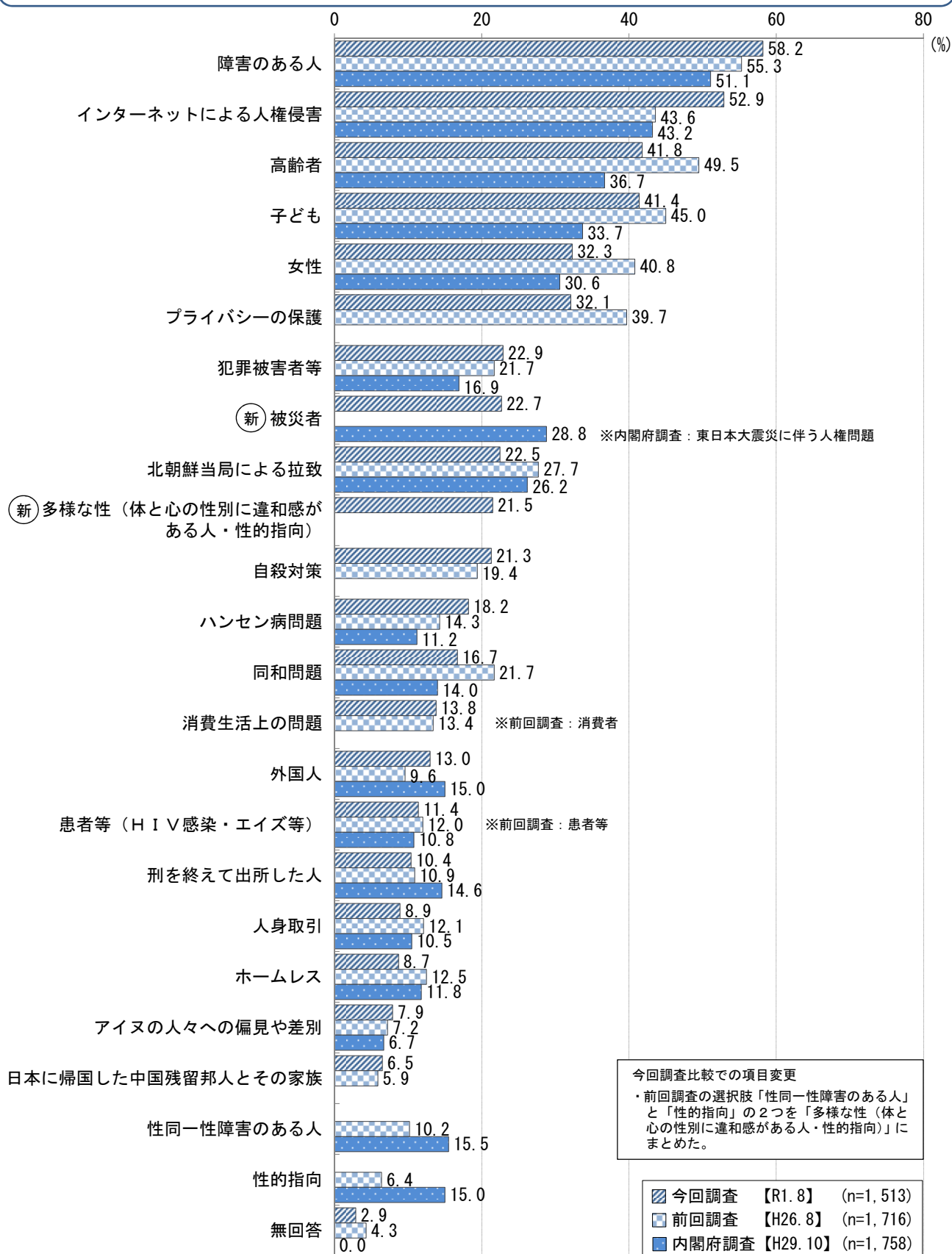
性別について前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

年代別で見ると、「守っていると思う」は年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられる。

年代別について前回調査と比較すると、「守っていると思う」は18～29歳では47.7%と前回調査の20歳代（38.8%）と比べて13.9ポイント増となっている。

2 主な人権課題に関する意識について

問5 「第4次岡山県人権政策推進指針」に掲げている次の人権課題について、あなたは現在、どのような課題が重要だと思いますか。(✓はいくつでも)



「障害のある人」が約6割。「インターネットによる人権侵害」は大きく増加

重要だと思う人権課題について、「障害のある人」が58.2%と最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」(52.9%)、「高齢者」(41.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」は9.3ポイント増となっており、「女性」は8.5ポイント減、「高齢者」は7.7ポイント減、「プライバシーの保護」は7.6ポイント減となっている。

また今回、新規の「多様な性(体と心の性別に違和感がある人・性的指向)」(21.5%)は、前回調査の「性同一性障害のある人」(10.2%)と「性的指向」(6.4%)と比べて高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」は9.7ポイント高くなっている。

図表 重要だと思う人権課題【性・年代別】

		件数	障害のある人	インターネットによる人権侵害	高齢者	子ども	女性	プライバシーの保護	犯罪被害者等	被災者	
全体		n= 1,513	58.2	52.9	41.8	41.4	32.3	32.1	22.9	22.7	
性別	男性	今回調査	n= 619	59.0	52.7	39.1	40.9	26.5	32.1	25.2	20.5
		前回調査	n= 740	53.6	42.4	43.9	39.3	29.6	37.3	21.9	-
	女性	今回調査	n= 844	57.3	54.0	43.5	41.7	36.6	32.3	21.6	24.3
		前回調査	n= 939	56.9	45.4	54.1	49.9	49.8	42.1	21.8	-
その他・無回答	今回調査	n= 50	62.0	38.0	48.0	44.0	30.0	28.0	16.0	24.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	49.5	63.3	16.5	33.9	33.9	41.3	27.5	25.7
	20歳代	前回調査	n= 148	60.1	50.0	35.1	45.9	52.7	33.8	18.2	-
	30歳代	今回調査	n= 143	57.3	53.8	33.6	57.3	45.5	28.0	26.6	29.4
		前回調査	n= 215	54.0	54.4	34.9	56.7	46.0	42.3	27.9	-
	40歳代	今回調査	n= 210	55.7	63.3	28.6	44.3	34.3	34.8	22.9	17.6
		前回調査	n= 254	61.4	55.9	42.9	52.4	50.0	49.2	28.0	-
	50歳代	今回調査	n= 237	62.0	65.8	41.8	42.6	36.3	37.1	36.3	27.8
		前回調査	n= 284	56.7	53.2	50.7	50.7	47.5	47.2	25.7	-
	60歳代	今回調査	n= 327	60.9	52.9	45.6	39.1	30.0	30.9	21.1	20.2
		前回調査	n= 393	55.2	43.0	54.7	41.7	34.1	39.2	19.6	-
	70歳代	今回調査	n= 299	59.2	44.5	55.2	39.8	28.1	27.1	17.7	21.7
		前回調査	n= 261	52.5	25.7	60.2	37.2	31.0	31.4	16.9	-
	80歳以上	今回調査	n= 139	54.7	28.8	51.1	32.4	23.7	30.2	10.8	19.4
		前回調査	n= 123	45.5	13.8	65.0	26.8	26.8	27.6	11.4	-
	無回答	今回調査	n= 49	57.1	40.8	46.9	44.9	26.5	32.7	14.3	26.5

新 (%)

(新)

件数				致北朝鮮当局による拉	人性多様な性(体と心の性別に違和感がある人・性的指向)	自殺対策	ハンセン病問題	同和問題	消費生活上の問題	外国人	患者等(HIV感染・エイズ等)	(%)	
全体 n= 1,513				22.5	21.5	21.3	18.2	16.7	13.8	13.0	11.4		
性別	男性	今回調査	n= 619	26.7	15.8	22.1	18.6	17.9	12.0	13.9	10.3		
		前回調査	n= 740	28.9	-	18.2	15.0	26.2	12.8	10.1	11.9		
	女性	今回調査	n= 844	18.8	26.1	20.6	17.9	15.5	14.7	12.3	12.0		
		前回調査	n= 939	26.7	-	20.1	13.4	18.0	13.7	9.2	12.1		
その他・無回答		今回調査	n= 50	34.0	16.0	22.0	18.0	22.0	22.0	14.0	16.0		
年代別	18~29歳	今回調査	n= 109	11.9	40.4	19.3	11.0	6.4	9.2	15.6	15.6		
		前回調査	n= 148	10.8	-	20.3	15.5	14.9	14.9	20.3	12.2		
	30歳代	今回調査	n= 143	11.2	33.6	21.7	11.9	18.2	11.9	16.8	13.3		
		前回調査	n= 215	15.3	-	20.5	8.4	14.9	16.7	9.3	13.0		
	40歳代	今回調査	n= 210	13.3	31.4	23.8	14.8	11.9	11.9	13.8	11.0		
		前回調査	n= 254	22.4	-	20.9	12.6	21.3	15.0	12.6	13.4		
	50歳代	今回調査	n= 237	15.6	27.0	24.5	21.5	16.5	15.6	16.9	17.3		
		前回調査	n= 284	31.0	-	20.8	14.4	25.0	11.3	10.2	14.4		
	60歳代	今回調査	n= 327	26.0	16.8	19.9	21.1	19.6	11.6	12.8	11.3		
		前回調査	n= 393	36.1	-	21.1	16.0	23.7	13.5	8.4	11.2		
	70歳代	今回調査	n= 299	31.4	10.7	20.7	19.1	18.7	16.1	8.4	5.4		
		前回調査	n= 261	35.6	-	16.1	16.1	23.4	11.9	4.6	9.2		
	80歳以上	今回調査	n= 139	37.4	5.8	18.0	23.0	19.4	15.1	10.1	10.1		
		前回調査	n= 123	27.6	-	10.6	13.8	24.4	9.8	4.1	9.8		
	無回答		今回調査	n= 49	32.7	18.4	20.4	12.2	18.4	26.5	12.2	12.2	

件数				人を終えて出所した	人身取引	ホームレス	アイヌの人々への偏見や差別	残留日本に帰国したその家族	人性同一性障害のある	性的指向	無回答	(%)	
全体 n= 1,513				10.4	8.9	8.7	7.9	6.5	-	-	2.9		
性別	男性	今回調査	n= 619	10.5	8.7	7.6	7.8	5.7	-	-	2.3		
		前回調査	n= 740	10.8	11.5	13.2	8.2	6.9	7.4	6.5	4.7		
	女性	今回調査	n= 844	9.8	8.8	8.9	7.6	7.1	-	-	3.2		
		前回調査	n= 939	10.8	12.8	11.8	6.4	5.3	12.6	6.3	3.5		
その他・無回答		今回調査	n= 50	20.0	12.0	18.0	14.0	8.0	-	-	6.0		
年代別	18~29歳	今回調査	n= 109	6.4	7.3	13.8	8.3	5.5	-	-	0.9		
		前回調査	n= 148	10.8	14.2	16.9	8.1	7.4	20.3	16.9	4.7		
	30歳代	今回調査	n= 143	7.0	9.1	7.0	5.6	5.6	-	-	2.8		
		前回調査	n= 215	12.6	12.1	8.8	7.0	1.9	12.6	6.0	1.9		
	40歳代	今回調査	n= 210	7.6	10.5	7.6	5.7	7.6	-	-	1.4		
		前回調査	n= 254	9.8	11.4	6.7	8.3	7.5	15.0	10.2	3.5		
	50歳代	今回調査	n= 237	12.2	13.1	10.1	7.6	5.5	-	-	0.8		
		前回調査	n= 284	9.2	12.7	11.6	6.0	5.6	9.5	5.3	2.1		
	60歳代	今回調査	n= 327	10.4	8.3	8.3	8.6	6.4	-	-	2.8		
		前回調査	n= 393	11.7	13.7	15.3	7.9	5.9	7.9	4.3	3.1		
	70歳代	今回調査	n= 299	11.4	6.0	7.0	8.0	5.7	-	-	3.3		
		前回調査	n= 261	11.1	9.2	15.3	6.5	7.3	5.0	2.7	6.1		
	80歳以上	今回調査	n= 139	13.7	7.2	7.2	9.4	10.1	-	-	8.6		
		前回調査	n= 123	8.9	11.4	13.0	6.5	6.5	5.7	3.3	11.4		
	無回答		今回調査	n= 49	18.4	10.2	16.3	14.3	8.2	-	-	6.1	

性別でみると、「女性」と回答した割合は女性（36.6%）が男性（26.5%）を10.1ポイント、「多様な性（体と心の性別に違和感がある人・性的指向）」は女性（26.1%）が男性（15.8%）を10.3ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」は男性で10.3ポイント増、女性で8.6ポイント増となっている。「女性」と回答した割合は女性で13.2ポイント減となっている。

年代別でみると、「子ども」は30歳代で約6割、「多様な性（体と心の性別に違和感がある人・性的指向）」は18~29歳で約4割と他の年代に比べて高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」は70歳代で18.8ポイント増、80歳以上で15.0ポイント増となっている。また、「北朝鮮当局による拉致」は50歳代で15.4ポイント減となっている。

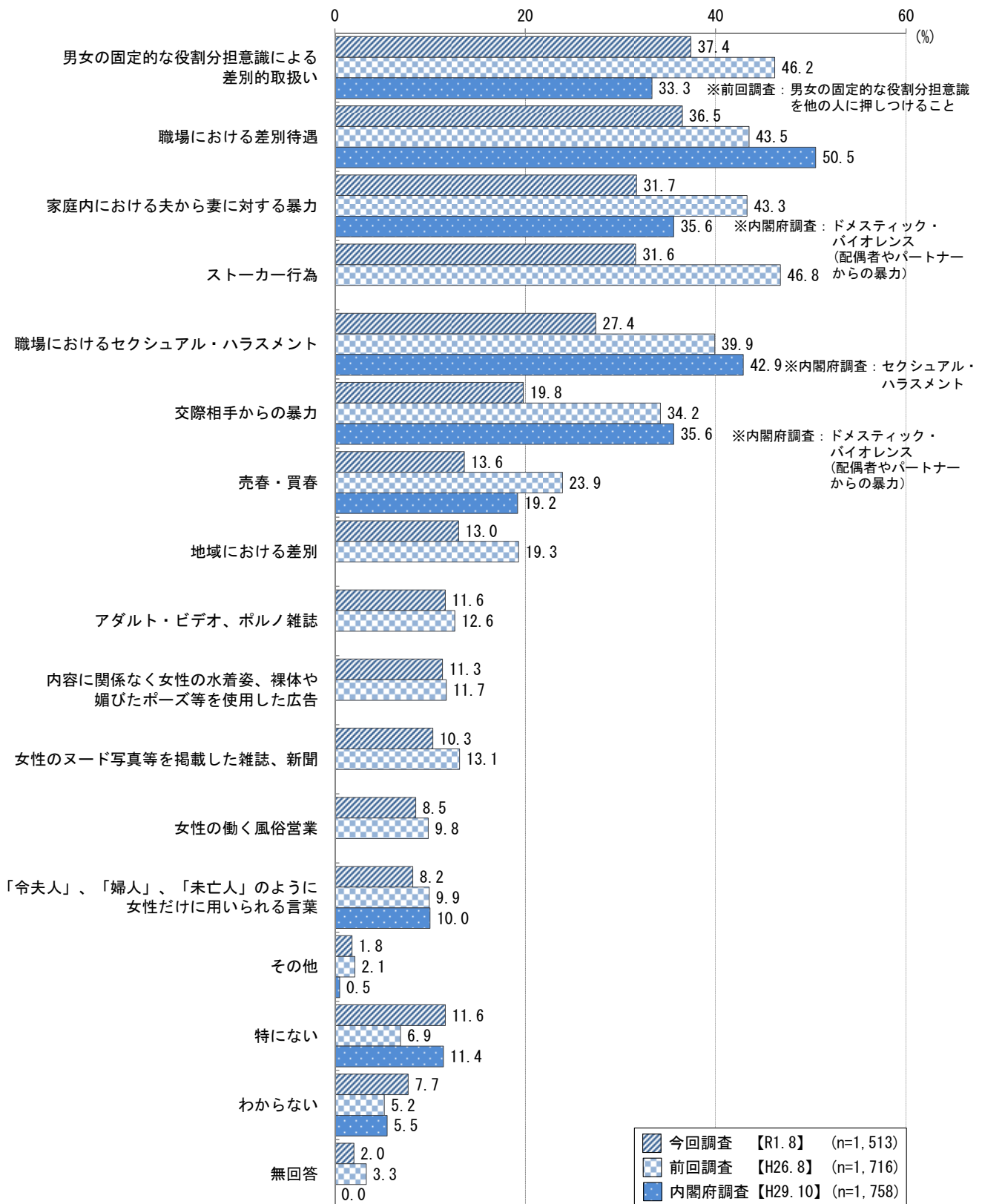
問6 「次回改訂する指針」に新たに加えたらよいと思う人権課題があればご記入ください。

(※) 総数 130 件のご意見をいただきました。「内容等」の欄は、いただいたご意見の趣旨を記載しています。また、ご意見の内訳はひとつの意見につき複数の項目に振り分けられることもあるため、総数と一致しません。

図表 「次回改訂する指針」に新たに加えたらよいと思う人権課題

内 容 等	件 数
「貧困・所得格差」に関するもの	12
「男性」に関するもの	9
「パワーハラスメント」に関するもの	6
「犯罪加害者とその家族」に関するもの	6
「職業・雇用形態」に関するもの	6
「家族・夫婦間での人権」に関するもの	5
「ひきこもり」に関するもの	3
「ニート」に関するもの	2
その他(年齢、終末期医療、地域における人権 等)	70
既存人権課題と重複している課題等	23
計	142

問7 あなたは、女性に関する事柄で、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)



「男女の固定的な役割分担意識による差別的取扱い」が約4割

質問を前回調査の「あなたは、女性に関する事柄で、人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓はいくつでも)」から、変更している。

女性に関する人権上の問題点について、「男女の固定的な役割分担意識による差別的取扱い」が37.4%と最も高く、次いで「職場における差別待遇」(36.5%)、「家庭内における夫から妻に対する暴力」(31.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「ストーカー行為」は15.2ポイント減、「交際相手からの暴力」は14.4ポイント減となっている。

内閣府調査と比較すると、「職場における差別待遇」は14.0ポイント低くなっている。

図表 女性に関する人権上の問題点【性・年代別】

				(%)									
件数				的分男 取担女 扱意の い識固 による 差役割 別割	遇職 場 に お け る 差 別 待	ら家 妻庭 内 に お け る 暴 力 夫 か	ス ト ー カ ー 行 為	ンシ職 トユ場 アに ルお け る ハ ラ セ ク メ	交 際 相 手 か ら の 暴 力	売 春 ・ 買 春	地 域 に お け る 差 別	ポ ア ダ ル ト ・ ビ デ オ、	
全体 n= 1,513				37.4	36.5	31.7	31.6	27.4	19.8	13.6	13.0	11.6	
性別	男性	今回調査	n= 619	31.7	34.7	30.2	34.9	29.6	20.0	14.5	10.7	11.0	
		前回調査	n= 740	43.0	40.4	38.1	49.2	37.6	31.6	21.1	18.4	10.5	
	女性	今回調査	n= 844	41.9	37.9	32.7	29.6	26.7	19.7	12.8	14.1	11.6	
		前回調査	n= 939	49.3	46.2	47.8	45.6	42.0	37.0	26.4	19.9	14.4	
	その他・無回答	今回調査	n= 50	32.0	36.0	32.0	24.0	14.0	20.0	16.0	24.0	20.0	
年代別	18～29歳		今回調査	n= 109	43.1	43.1	22.0	33.0	36.7	21.1	11.0	6.4	2.8
	20歳代		前回調査	n= 148	52.0	51.4	46.6	52.7	48.6	43.2	28.4	22.3	7.4
	30歳代		今回調査	n= 143	47.6	43.4	32.2	32.2	36.4	22.4	16.1	12.6	10.5
			前回調査	n= 215	47.4	49.8	48.4	54.9	48.8	46.0	20.0	19.1	5.6
	40歳代		今回調査	n= 210	41.0	32.4	31.4	32.9	27.1	27.1	11.9	13.3	8.1
			前回調査	n= 254	49.6	49.6	50.0	52.0	46.5	42.5	24.4	16.1	5.9
	50歳代		今回調査	n= 237	44.7	40.5	39.2	34.2	31.6	25.7	16.0	13.5	13.9
			前回調査	n= 284	52.5	48.6	51.1	47.9	41.9	40.8	23.6	21.5	11.6
	60歳代		今回調査	n= 327	36.7	38.8	33.0	37.6	29.4	20.5	14.4	12.8	12.2
			前回調査	n= 393	45.8	40.7	41.0	49.4	38.4	31.0	26.2	20.6	19.6
	70歳代		今回調査	n= 299	29.4	32.4	31.1	27.4	22.4	13.0	12.4	13.7	14.0
			前回調査	n= 261	42.5	35.2	35.2	37.9	28.0	20.7	26.1	16.5	17.2
	80歳以上		今回調査	n= 139	25.9	28.1	24.5	20.9	14.4	8.6	11.5	12.9	12.2
			前回調査	n= 123	29.3	27.6	26.8	27.6	26.0	14.6	14.6	19.5	14.6
	無回答	今回調査	n= 49	30.6	34.7	30.6	24.5	16.3	18.4	16.3	22.4	18.4	

(%)

			事件数	びの内の内容に した水着姿関係 広告ポーズ等裸 体や使用や女性 間を掲載した雑 誌、写真等	女性の働く風 俗営業	女性「采亡夫人」 の言葉だけに用 いられる「婦人」	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体			n= 1,513	11.3	10.3	8.5	8.2	1.8	11.6	7.7	2.0
性別	男性	今回調査	n= 619	7.9	9.0	8.2	5.8	1.8	12.0	7.6	1.5
		前回調査	n= 740	7.7	10.8	8.6	8.0	1.6	7.7	6.2	3.8
	女性	今回調査	n= 844	13.4	10.5	8.3	9.5	1.7	11.3	7.9	2.0
		前回調査	n= 939	14.7	14.7	10.6	11.6	2.4	6.3	4.4	2.3
	その他・ 無回答	今回調査	n= 50	18.0	22.0	14.0	16.0	4.0	12.0	6.0	8.0
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	2.8	3.7	7.3	6.4	1.8	4.6	8.3	0.9
	20歳代	前回調査	n= 148	10.8	8.1	6.8	13.5	0.7	7.4	4.7	0.7
	30歳代	今回調査	n= 143	11.2	7.0	4.9	7.7	2.1	7.0	7.0	1.4
		前回調査	n= 215	7.9	6.0	6.0	7.4	3.3	4.2	6.0	0.9
	40歳代	今回調査	n= 210	9.0	7.6	7.6	7.1	1.0	11.0	5.7	1.0
		前回調査	n= 254	9.1	5.1	4.7	8.3	2.8	2.8	5.5	1.2
	50歳代	今回調査	n= 237	16.0	13.5	10.5	10.1	3.4	12.2	4.2	0.4
		前回調査	n= 284	8.5	9.5	7.4	9.5	1.8	4.9	3.9	3.2
	60歳代	今回調査	n= 327	10.7	8.9	8.9	7.3	1.5	10.4	7.0	2.4
		前回調査	n= 393	14.5	17.6	15.3	9.2	1.5	7.1	5.9	1.8
	70歳代	今回調査	n= 299	11.7	12.7	8.7	9.4	0.0	15.4	8.7	1.7
		前回調査	n= 261	15.3	21.8	13.4	11.9	2.7	10.7	4.6	5.7
	80歳以上	今回調査	n= 139	10.8	12.2	7.2	6.5	2.9	15.8	17.3	5.0
		前回調査	n= 123	13.8	20.3	9.8	13.8	1.6	15.4	5.7	11.4
	無回答	今回調査	n= 49	20.4	20.4	14.3	12.2	6.1	12.2	6.1	8.2

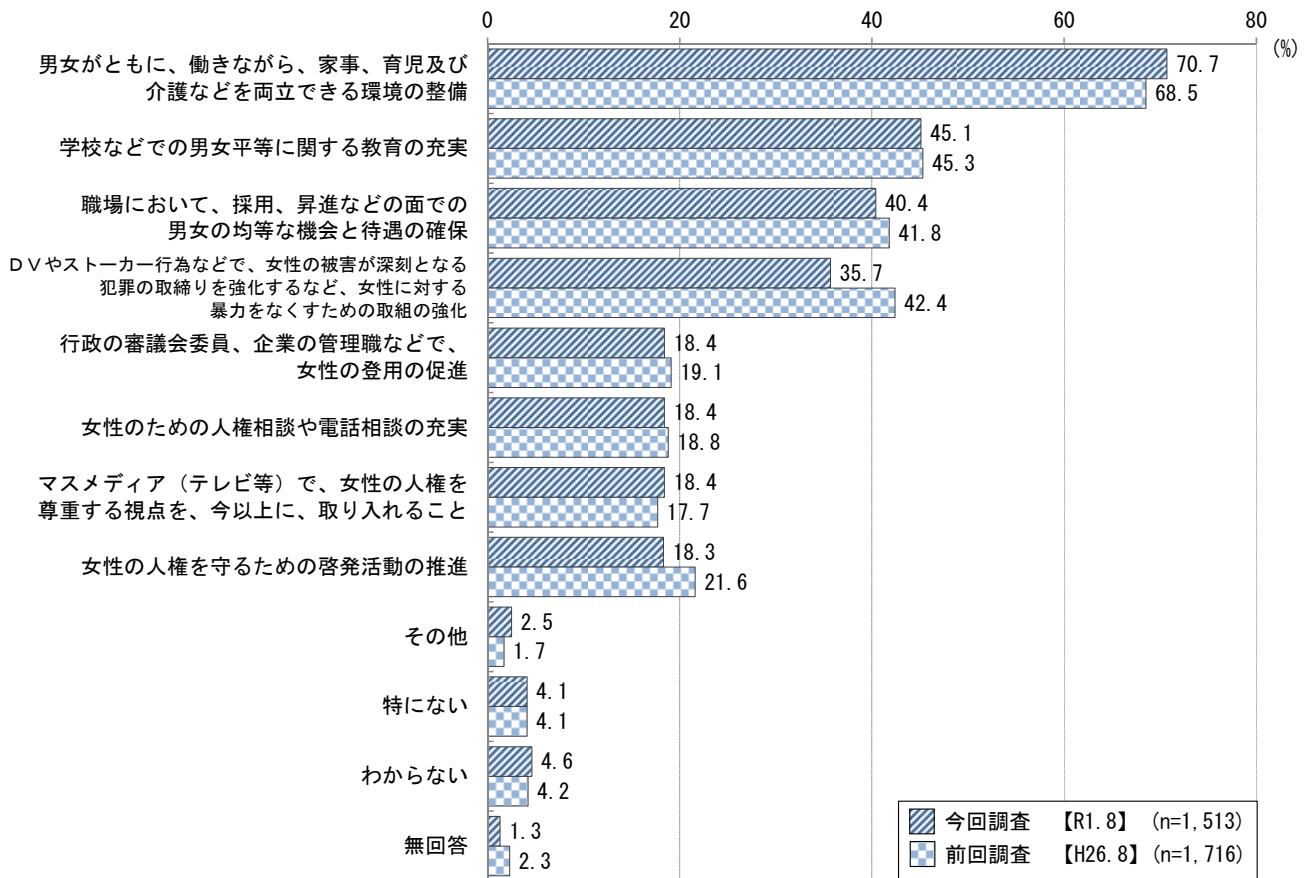
性別でみると、「男女の固定的な役割分担意識による差別的取扱い」は女性（41.9%）が男性（31.7%）を10.2ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「ストーカー行為」は女性で16.0ポイント減、「職場におけるセクシュアル・ハラスメント」は女性で15.3ポイント減となっている。

年代別でみると、大きな差はみられない。

年代別について前回調査と比較すると、「ストーカー行為」は30歳代で22.7ポイント減、「交際相手からの暴力」は23.6ポイント減となっている。

問8 女性の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(✓は5つまで)



「男女がともに、働きながら、家事、育児及び介護などを両立できる環境の整備」が約7割

女性の人権が守られるために必要なことについて、「男女がともに、働きながら、家事、育児及び介護などを両立できる環境の整備」が70.7%と最も高く、次いで「学校などでの男女平等に関する教育の充実」(45.1%)、「職場において、採用、昇進などの面での男女の均等な機会と待遇の確保」(40.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「DVやストーカー行為などで、女性の被害が深刻となる犯罪の取締りを強化するなど、女性に対する暴力をなくすための取組の強化」は6.7ポイント減となっている。

図表 女性の人権が守られるために必要なこと【性・年代別】

(%)

		件数	できる環境の整備を両立	男女がともに、働きながら、家事、育児及び介護などを両立	学校などでの男女充実に関する教育の充実	実等に関する教育の男女充	と待遇の確保	職場において、採用の均等な機会	DVやストーカー行為など、女性の被害が深刻となる犯罪の取締りを強化するなど、女性に対する暴力をなくすための取組の強化	行政の審議会委員、企業の管理職などの登用の促進	女性のための人権相談の充実
全体		n= 1,513	70.7	45.1	40.4	35.7	18.4	18.4			
性別	男性	今回調査	n= 619	64.1	47.2	36.3	36.7	18.3	16.2		
		前回調査	n= 740	61.5	42.3	39.1	40.5	17.7	17.0		
	女性	今回調査	n= 844	76.2	44.2	43.5	34.7	18.6	19.8		
前回調査		n= 939	74.2	48.2	44.1	44.1	20.1	20.3			
その他・無回答		今回調査	n= 50	60.0	34.0	40.0	40.0	16.0	22.0		
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	76.1	38.5	45.0	33.9	15.6	13.8		
	20歳代	前回調査	n= 148	64.2	37.2	48.0	39.2	16.2	18.9		
	30歳代	今回調査	n= 143	76.9	47.6	51.0	35.0	17.5	7.0		
		前回調査	n= 215	73.5	41.4	49.3	47.0	21.9	18.6		
	40歳代	今回調査	n= 210	70.5	37.1	38.1	30.5	12.9	15.2		
		前回調査	n= 254	67.3	44.9	46.1	42.9	15.4	14.6		
	50歳代	今回調査	n= 237	70.5	44.3	46.8	44.3	15.2	15.6		
		前回調査	n= 284	74.3	49.3	45.8	47.5	18.3	17.6		
	60歳代	今回調査	n= 327	72.2	52.6	38.2	37.9	19.0	21.4		
		前回調査	n= 393	73.3	47.8	39.2	44.8	22.6	21.4		
	70歳代	今回調査	n= 299	71.6	45.8	35.5	33.4	24.1	24.4		
		前回調査	n= 261	62.8	47.9	31.4	36.8	16.5	18.4		
	80歳以上	今回調査	n= 139	58.3	46.0	36.7	29.5	23.7	21.6		
		前回調査	n= 123	52.0	44.7	33.3	30.1	21.1	23.6		
	無回答		今回調査	n= 49	63.3	32.7	34.7	38.8	12.2	22.4	

(%)

		件数	取り入れること	視点の人権を尊重し、女性の啓発活動の推進	女性の啓発活動の推進	その他	特にな	わからない	無回答
全体		n= 1,513	18.4	18.3	2.5	4.1	4.6	1.3	
性別	男性	今回調査	n= 619	17.6	20.7	3.2	5.5	0.8	
		前回調査	n= 740	16.6	23.2	1.5	5.7	2.8	
	女性	今回調査	n= 844	19.1	16.6	2.0	3.0	1.1	
前回調査		n= 939	18.8	20.9	1.9	2.9	1.4		
その他・無回答		今回調査	n= 50	16.0	18.0	2.0	6.0	10.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	15.6	9.2	2.8	3.7	0.9	
	20歳代	前回調査	n= 148	11.5	18.2	2.0	6.1	0.7	
	30歳代	今回調査	n= 143	11.9	9.8	3.5	4.2	0.0	
		前回調査	n= 215	17.7	15.8	0.9	3.3	0.9	
	40歳代	今回調査	n= 210	13.3	11.9	3.8	4.3	0.5	
		前回調査	n= 254	15.7	20.1	2.8	3.1	0.8	
	50歳代	今回調査	n= 237	20.3	19.4	4.6	3.8	0.4	
		前回調査	n= 284	17.3	27.5	1.1	3.2	2.1	
	60歳代	今回調査	n= 327	19.6	19.9	1.2	3.7	1.5	
		前回調査	n= 393	19.3	20.9	1.8	2.3	1.3	
	70歳代	今回調査	n= 299	22.1	24.4	1.3	2.3	1.3	
		前回調査	n= 261	21.1	26.1	2.7	6.1	4.2	
	80歳以上	今回調査	n= 139	22.3	25.2	0.0	8.6	1.4	
		前回調査	n= 123	19.5	22.0	0.0	8.9	7.3	
	無回答		今回調査	n= 49	14.3	18.4	6.1	6.1	10.2

性別で見ると、「男女がともに、働きながら、家事、育児及び介護などを両立できる環境の整備」は女性(76.2%)が男性(64.1%)を12.1ポイント上回っている。

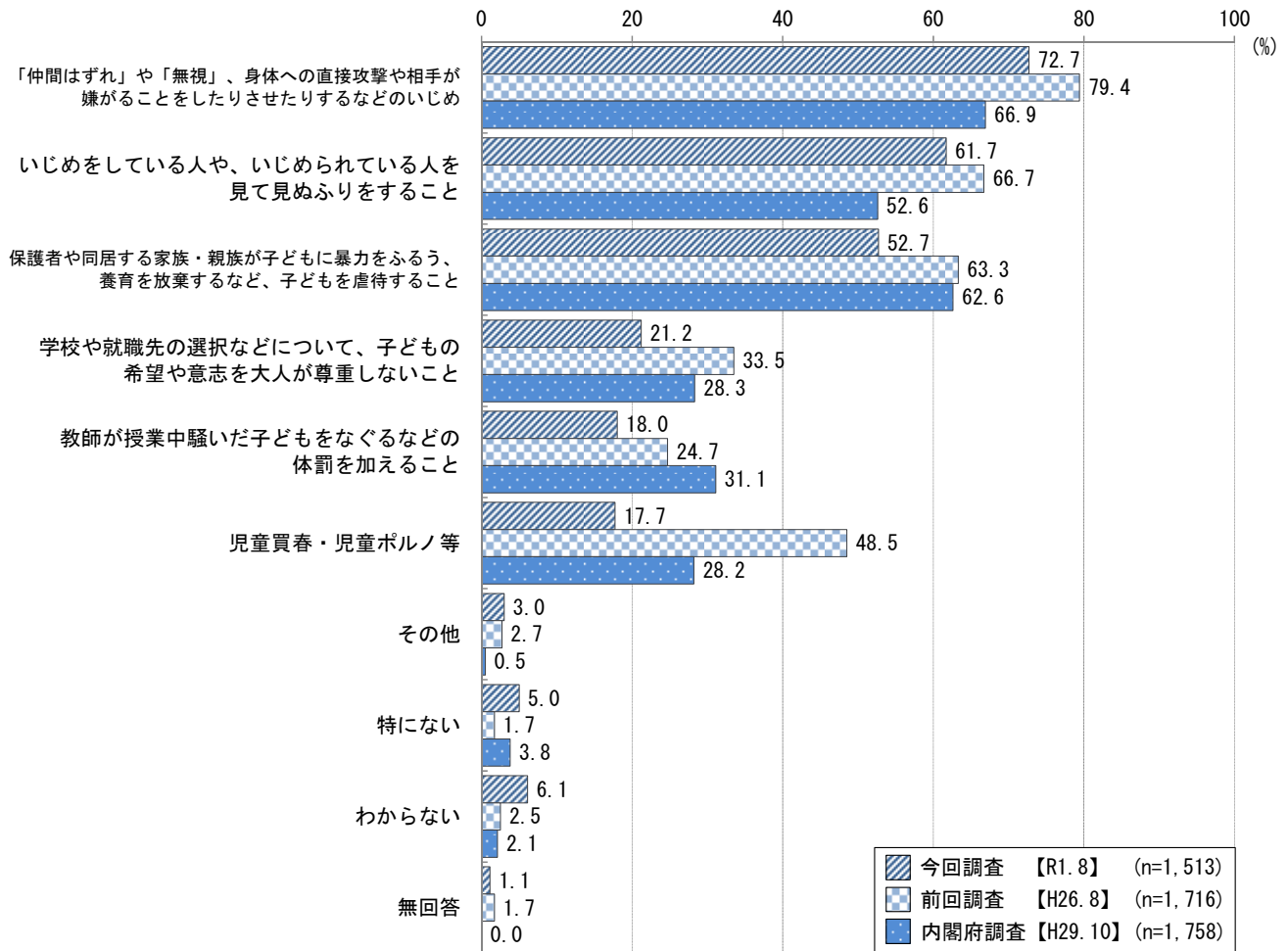
性別について前回調査と比較すると、「DVやストーカー行為などで、女性の被害が深刻となる犯罪の取締りを強化するなど、女性に対する暴力をなくすための取組の強化」は女性で9.4ポイント減となっ

ている。

年代別で見ると、「学校などでの男女平等に関する教育の充実」は60歳代で5割超と他の年代に比べて高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「職場において、採用、昇進などの面での男女の均等な機会と待遇の確保」は40歳代で8.0ポイント減となっている。また、「女性のための人権相談や電話相談の充実」は30歳代で11.6ポイント減となっている。

問9 あなたは、子どもに関する事柄で、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
 あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。
 (✓はいくつでも)



「「仲間はずれ」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりするなどのいじめ」が7割超

質問を前回調査の「あなたは、子どもに関する事柄で、人権上問題があると思われるのはどのようなことですか(✓はいくつでも)」から変更している。

子どもに関する人権上の問題点について、「「仲間はずれ」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりするなどのいじめ」が72.7%と最も高く、次いで「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」(61.7%)、「保護者や同居する家族・親族が子どもに暴力をふるう、養育を放棄するなど、子どもを虐待すること」(52.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「児童買春・児童ポルノ等」は30.8ポイント減となっている。

内閣府調査と比較すると、「教師が授業中騒いだ子どもをなぐるなどの体罰を加えること」は13.1ポイント低くなっている。

図表 子どもに関する人権上の問題点【性・年代別】

			(%)									
件数			「仲間はずれ」や「無視」や「身体への直接攻撃」や「相手が嫌がること」など、いじめ	「いじめをしていない人を見つけて見ぬふりをする」こと	「いじめをしていない人を見つけて見ぬふりをする」こと	虐待すること	力をつけるなど、子どもを虐待すること	保護者や同居する家族・親族が子どもに暴力をふるう、養育を放棄すること	人が尊重しないこと	学校の就職先の選択などについて、子どもが希望や意志を大々的に主張すること	教師が授業中騒いだ子どもをなぐるなどの体罰を加えること	児童買春・児童ポルノ等
全体			n= 1,513	72.7	61.7	52.7	21.2	18.0	17.7			
性別	男性	今回調査	n= 619	72.2	59.9	50.7	19.9	15.0	16.2			
		前回調査	n= 740	76.2	63.9	59.5	31.1	22.0	44.2			
	女性	今回調査	n= 844	74.2	63.6	55.2	22.2	20.4	18.4			
		前回調査	n= 939	82.2	69.0	66.9	35.4	26.7	52.7			
その他・無回答		今回調査	n= 50	54.0	50.0	36.0	20.0	14.0	26.0			
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	79.8	62.4	55.0	31.2	15.6	13.8			
	20歳代	前回調査	n= 148	79.1	55.4	70.9	41.9	32.4	46.6			
	30歳代	今回調査	n= 143	79.7	63.6	60.8	26.6	22.4	25.2			
		前回調査	n= 215	78.6	64.2	72.1	35.8	25.6	45.6			
	40歳代	今回調査	n= 210	80.0	63.3	57.1	23.3	15.7	17.1			
		前回調査	n= 254	81.5	62.2	63.8	35.0	22.0	50.0			
	50歳代	今回調査	n= 237	77.2	72.6	55.3	21.1	21.1	17.3			
		前回調査	n= 284	82.4	73.2	62.0	31.7	20.1	48.9			
	60歳代	今回調査	n= 327	72.2	61.8	54.7	19.9	16.8	19.6			
		前回調査	n= 393	84.0	70.7	67.7	29.8	25.2	53.2			
	70歳代	今回調査	n= 299	68.2	58.5	49.5	14.0	17.1	15.1			
		前回調査	n= 261	72.8	69.3	55.9	36.0	24.1	48.3			
	80歳以上	今回調査	n= 139	58.3	48.9	38.8	23.0	19.4	14.4			
		前回調査	n= 123	69.9	61.0	46.3	26.0	28.5	41.5			
	無回答		今回調査	n= 49	55.1	49.0	38.8	20.4	14.3	22.4		

			(%)					
件数			その他	特にない	わからない	無回答		
全体			n= 1,513	3.0	5.0	6.1	1.1	
性別	男性	今回調査	n= 619	3.6	5.3	5.0	1.1	
		前回調査	n= 740	2.8	2.3	3.0	1.6	
	女性	今回調査	n= 844	2.4	4.5	6.9	0.8	
		前回調査	n= 939	2.4	1.4	2.2	1.2	
その他・無回答		今回調査	n= 50	6.0	8.0	8.0	6.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	3.7	0.0	7.3	0.9	
	20歳代	前回調査	n= 148	1.4	2.0	2.7	0.0	
	30歳代	今回調査	n= 143	4.2	1.4	4.2	0.7	
		前回調査	n= 215	3.7	0.0	3.7	0.5	
	40歳代	今回調査	n= 210	2.9	2.9	2.4	0.5	
		前回調査	n= 254	4.3	0.8	1.6	0.8	
	50歳代	今回調査	n= 237	5.1	3.8	3.8	0.4	
		前回調査	n= 284	2.5	1.1	2.1	1.1	
	60歳代	今回調査	n= 327	1.5	5.8	5.2	1.2	
		前回調査	n= 393	2.5	1.5	2.3	0.5	
	70歳代	今回調査	n= 299	2.7	6.4	9.0	0.7	
		前回調査	n= 261	2.3	3.4	2.3	2.3	
	80歳以上	今回調査	n= 139	0.7	10.8	12.2	4.3	
		前回調査	n= 123	0.0	5.7	4.9	8.9	
	無回答		今回調査	n= 49	6.1	10.2	8.2	2.0

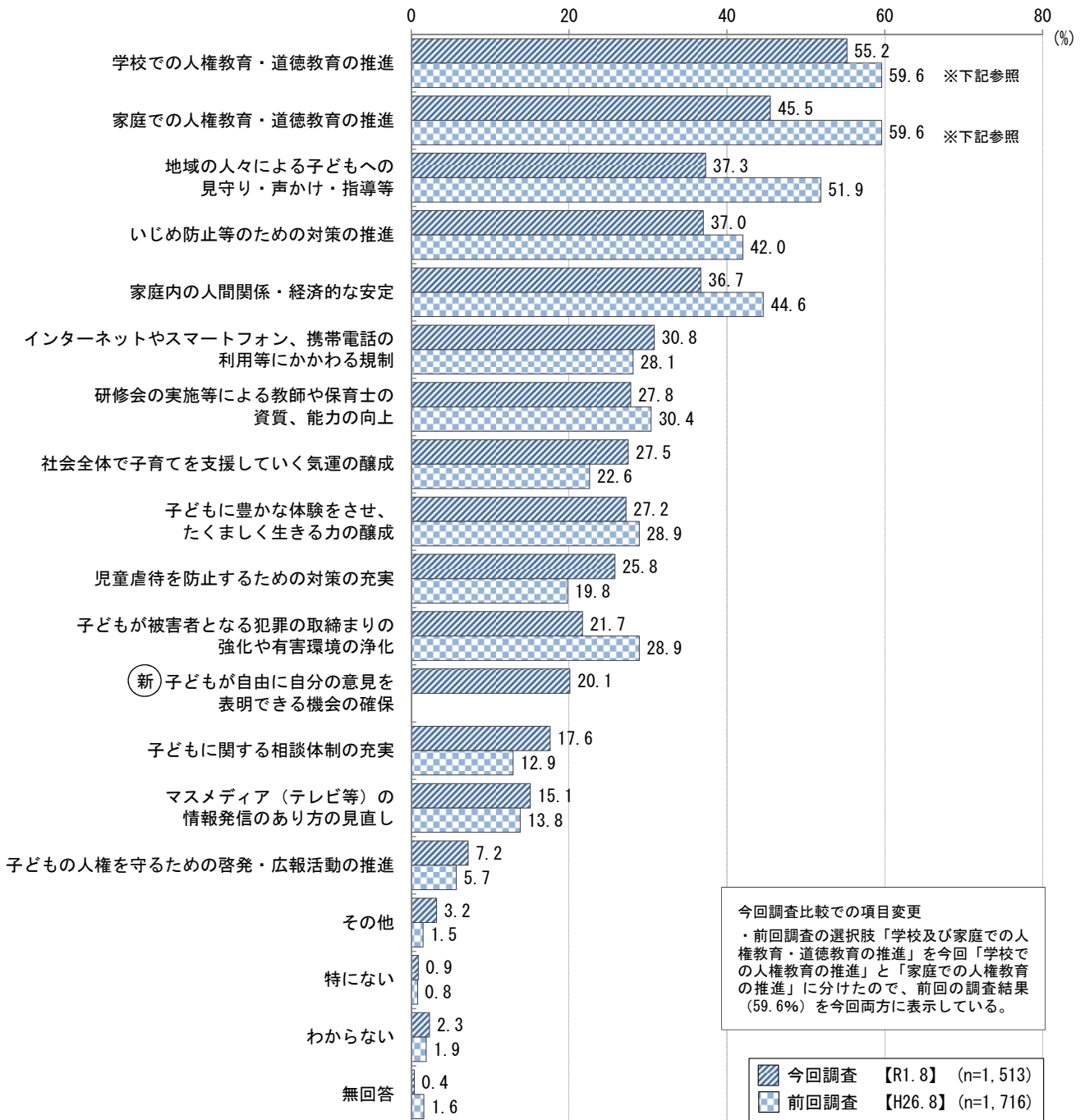
性別でみると、「教師が授業中騒いだ子どもをなぐるなどの体罰を加えること」は女性（20.4%）が男性（15.0%）を5.4ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「児童買春・児童ポルノ等」は男女ともに25.0ポイント以上、大きく減少している。

年代別でみると、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」は 50 歳代で 7 割超と他の年代に比べて高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「児童買春・児童ポルノ等」は、すべての年代で 20.0 ポイント以上、大きく減少している。

問10 子どもの人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(✓は5つまで)



「学校での人権教育・道徳教育の推進」が5割台半ば、「家庭での人権教育・道徳教育の推進」が4割台半ば

子どもの人権が守られるために必要なことについて、「学校での人権教育・道徳教育の推進」が55.2%と最も高く、次いで「家庭での人権教育・道徳教育の推進」(45.5%)、「地域の人々による子どもへの見守り・声かけ・指導等」(37.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「地域の人々による子どもへの見守り・声かけ・指導等」は14.6ポイント減、「家庭内の人間関係・経済的な安定」は7.9ポイント減となっている。

図表 子どもの人権が守られるために必要なこと【性・年代別】

(%)

		件数	道徳教育の推進	家庭教育の推進	地域の人々への見守り・声かけ・指導等	いじめ防止等のための対策の推進	家庭内の人間関係・経済的な安定	電話の利用等にかかわる規制	インターネット・スマートフォン、携帯電話	研修会の実施等による教師の向上に資する能力の向上
全体		n=1,513	55.2	45.5	37.3	37.0	36.7	30.8	27.8	
性別	男性	今回調査	n=619	55.4	45.7	39.7	35.7	34.2	28.3	25.4
		前回調査	n=740	59.5	59.5	48.9	42.0	39.6	24.3	30.5
	女性	今回調査	n=844	55.2	45.3	35.2	38.3	39.0	32.7	29.7
		前回調査	n=939	60.0	60.0	54.3	41.5	49.2	31.5	30.4
その他・無回答		今回調査	n=50	52.0	48.0	44.0	32.0	30.0	26.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n=109	43.1	33.0	30.3	42.2	52.3	26.6	16.5
	20歳代	前回調査	n=148	50.0	50.0	57.4	43.2	57.4	20.3	22.3
	30歳代	今回調査	n=143	58.0	44.1	42.7	42.7	48.3	38.5	28.7
		前回調査	n=215	54.9	54.9	51.6	46.0	49.8	28.4	27.9
	40歳代	今回調査	n=210	51.4	41.9	32.9	37.1	37.6	36.2	24.3
		前回調査	n=254	58.3	58.3	45.7	44.1	52.0	31.5	30.7
	50歳代	今回調査	n=237	45.6	46.8	35.9	40.5	38.4	34.2	24.9
		前回調査	n=284	61.3	61.3	52.1	44.4	46.5	31.3	33.1
	60歳代	今回調査	n=327	57.5	49.2	37.3	32.7	37.0	28.7	29.1
		前回調査	n=393	61.6	61.6	51.4	42.0	42.2	31.0	32.8
	70歳代	今回調査	n=299	60.2	46.8	40.8	37.5	26.8	28.8	35.5
		前回調査	n=261	60.9	60.9	60.2	35.6	34.1	27.2	29.5
	80歳以上	今回調査	n=139	66.9	48.9	37.4	32.4	30.2	20.1	25.2
		前回調査	n=123	69.9	69.9	42.3	34.1	35.0	17.1	30.9
	無回答		今回調査	n=49	57.1	44.9	42.9	30.6	34.7	32.7

(新)

(%)

		件数	社会支援としていく気運の醸成	子どもに豊かな体験をさせる力の醸成	児童虐待の防止のための対策の充実	子どもが被害者とならないよう、有害環境の浄化	子どもの見守りが自由に行きわたるよう、機会意の確保	子どもに関する相談体制の充実	マスコミ等による情報の直撃を防止し、発信	
全体		n=1,513	27.5	27.2	25.8	21.7	20.1	17.6	15.1	
性別	男性	今回調査	n=619	26.0	22.3	22.8	22.6	16.5	16.2	13.7
		前回調査	n=740	24.5	27.2	18.0	25.3	-	12.6	13.9
	女性	今回調査	n=844	28.0	30.8	28.1	21.7	22.6	18.6	15.4
		前回調査	n=939	21.5	30.4	21.2	31.9	-	13.1	13.5
その他・無回答		今回調査	n=50	38.0	28.0	24.0	12.0	22.0	18.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n=109	24.8	22.9	24.8	22.0	28.4	18.3	11.9
	20歳代	前回調査	n=148	13.5	33.8	14.9	23.6	-	18.2	12.8
	30歳代	今回調査	n=143	22.4	25.9	32.2	27.3	21.7	18.2	14.0
		前回調査	n=215	27.0	31.2	20.5	29.3	-	13.0	12.1
	40歳代	今回調査	n=210	21.9	26.7	24.8	22.4	21.4	19.5	14.8
		前回調査	n=254	15.4	25.6	19.7	35.4	-	13.0	16.1
	50歳代	今回調査	n=237	24.1	27.8	24.1	26.2	16.0	21.5	18.6
		前回調査	n=284	20.8	25.7	25.0	28.5	-	14.8	12.3
	60歳代	今回調査	n=327	29.4	25.7	26.6	21.4	15.9	18.3	13.8
		前回調査	n=393	27.5	30.8	20.9	32.1	-	10.4	14.0
	70歳代	今回調査	n=299	31.8	33.1	27.8	18.4	22.1	12.7	16.4
		前回調査	n=261	26.4	29.5	14.9	25.3	-	12.6	17.2
	80歳以上	今回調査	n=139	33.8	23.0	19.4	17.3	21.6	16.5	9.4
		前回調査	n=123	24.4	27.6	18.7	20.3	-	9.8	7.3
	無回答		今回調査	n=49	32.7	26.5	22.4	16.3	22.4	14.3

(%)

		件数	子どもの権利を守るための啓発・広報活動の推進	その他	特にない	わからない	無回答		
全体		n= 1,513	7.2	3.2	0.9	2.3	0.4		
性別	男性	今回調査	n= 619	6.9	4.5	1.5	2.1	0.6	
		前回調査	n= 740	6.2	2.2	0.7	2.6	1.5	
	女性	今回調査	n= 844	7.6	2.3	0.6	2.4	0.0	
		前回調査	n= 939	5.1	0.9	0.9	1.4	1.2	
	その他・無回答	今回調査	n= 50	4.0	4.0	0.0	4.0	4.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	5.5	4.6	0.0	2.8	0.9	
		前回調査	n= 148	4.7	2.0	0.0	4.1	0.0	
	20歳代	今回調査	n= 143	3.5	1.4	0.7	0.7	0.0	
		前回調査	n= 215	5.6	0.0	0.0	3.7	0.0	
	40歳代	今回調査	n= 210	5.2	5.7	0.5	1.0	0.0	
		前回調査	n= 254	2.8	2.0	0.8	0.4	0.8	
	50歳代	今回調査	n= 237	5.5	5.5	0.0	1.3	0.0	
		前回調査	n= 284	5.3	2.1	1.1	0.7	1.4	
	60歳代	今回調査	n= 327	10.7	1.8	1.2	1.5	0.6	
		前回調査	n= 393	5.3	1.8	0.3	2.0	0.8	
	70歳代	今回調査	n= 299	9.4	1.7	0.7	3.3	0.7	
		前回調査	n= 261	8.8	1.1	1.1	1.1	1.9	
	80歳以上	今回調査	n= 139	5.8	2.9	4.3	6.5	0.0	
		前回調査	n= 123	7.3	0.0	3.3	3.3	7.3	
		無回答	今回調査	n= 49	6.1	4.1	0.0	4.1	2.0

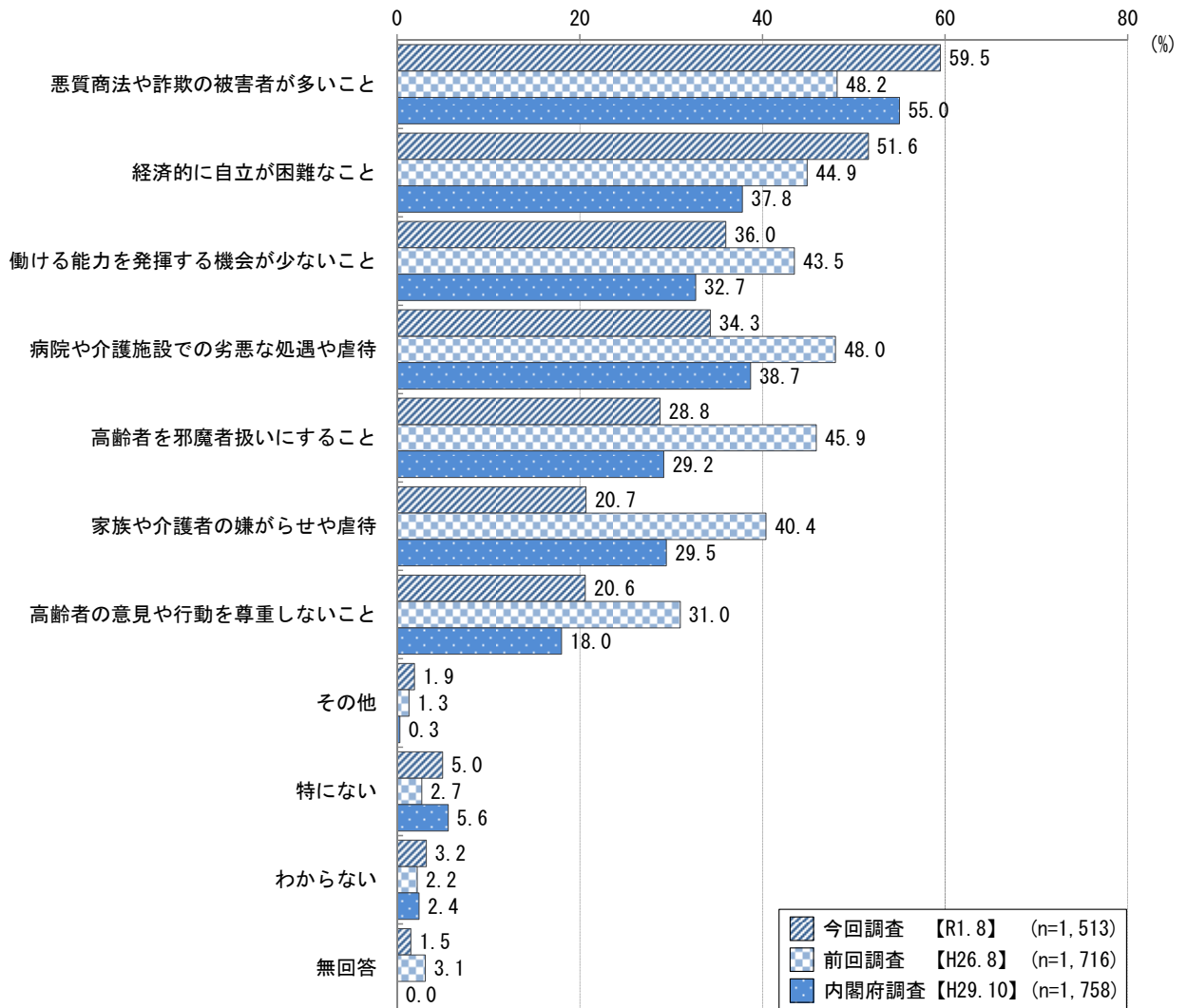
性別で見ると、「子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きる力の醸成」は女性（30.8%）が男性（22.3%）を8.5ポイント、「児童虐待を防止するための対策の充実」は女性（28.1%）が男性（22.8%）を5.3ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「地域の人々による子どもへの見守り・声かけ・指導等」は女性で19.1ポイント減となっている。

年代別で見ると、「学校での人権教育・道徳教育の推進」は80歳以上で6割台半ば、「研修会の実施等による教師や保育士の資質、能力の向上」は70歳代で3割台半ばと、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「地域の人々による子どもへの見守り・声かけ・指導等」は、すべての年代で減少しており、特に、18～29歳では30.3%と、前回調査の20歳代（57.4%）と比べて27.1ポイント減となっている。

問11 あなたは高齢者に関する事柄で、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。
(✓はいくつでも)



「悪質商法や詐欺の被害者が多いこと」が約6割

質問を前回調査の「あなたは、高齢者に関する事柄で、人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓はいくつでも)」から変更している。

高齢者に関する人権上の問題点について、「悪質商法や詐欺の被害者が多いこと」が59.5%と最も高く、次いで「経済的に自立が困難なこと」(51.6%)、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(36.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「悪質商法や詐欺の被害者が多いこと」は11.3ポイント増、「経済的に自立が困難なこと」は6.7ポイント増となっている。

内閣府調査と比較すると、「経済的に自立が困難なこと」は13.8ポイント高くなっている。また、「家族や介護者の嫌がらせや虐待」は8.8ポイント低くなっている。

図表 高齢者に関する人権上の問題点【性・年代別】

			(%)								
件数			害悪 者が 多い こと	経済 的に 自立 が 困難 な こと	働 ける 能 力 が 少 な い こ と	劣 病 院 や 介 護 施 設 で の 悪 悪 な 処 遇 や 虐 待	に 高 齢 者 を 邪 魔 者 扱 い す る こ と	家 族 や 介 護 者 の 嫌 が ら せ や 虐 待	高 齢 者 の 意 見 や 行 動 を 尊 重 し な い こ と		
全 体			n= 1,513	59.5	51.6	36.0	34.3	28.8	20.7	20.6	
性 別	男 性	今回調査	n= 619	55.6	50.1	37.5	29.6	27.6	16.8	20.2	
		前回調査	n= 740	45.0	43.1	41.4	42.4	44.1	35.0	28.0	
	女 性	今回調査	n= 844	63.5	53.6	35.5	37.9	30.5	23.8	20.6	
		前回調査	n= 939	50.9	46.3	45.3	53.0	47.9	45.0	33.8	
その他・無回答		今回調査	n= 50	40.0	38.0	26.0	32.0	16.0	16.0	24.0	
年 代 別	18～29歳	今回調査	n= 109	59.6	47.7	33.9	39.4	24.8	24.8	5.5	
	20歳代	前回調査	n= 148	50.7	34.5	35.1	56.8	48.0	49.3	28.4	
	30歳代	今回調査	n= 143	58.7	46.2	36.4	40.6	37.8	28.0	23.1	
		前回調査	n= 215	50.7	39.1	48.4	53.5	47.4	43.7	27.4	
	40歳代	今回調査	n= 210	59.0	51.9	42.4	30.5	21.0	23.8	12.4	
		前回調査	n= 254	52.4	52.0	51.2	49.6	46.1	44.5	27.6	
	50歳代	今回調査	n= 237	65.0	55.7	36.3	39.2	28.3	20.7	16.0	
		前回調査	n= 284	49.3	47.2	45.1	55.3	46.5	44.7	26.1	
	60歳代	今回調査	n= 327	59.9	55.7	37.9	34.3	28.4	20.2	21.1	
		前回調査	n= 393	44.5	47.1	46.8	50.1	49.6	39.2	35.9	
	70歳代	今回調査	n= 299	60.2	51.2	33.8	32.1	32.8	16.4	25.4	
		前回調査	n= 261	47.1	42.1	39.1	36.4	42.1	34.1	34.9	
	80歳以上	今回調査	n= 139	54.0	47.5	29.5	25.2	32.4	18.0	36.0	
		前回調査	n= 123	43.9	48.0	24.4	30.1	39.0	26.0	37.4	
	無回答		今回調査	n= 49	44.9	42.9	30.6	36.7	16.3	14.3	26.5

			(%)					
件数			そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答		
全 体			n= 1,513	1.9	5.0	3.2	1.5	
性 別	男 性	今回調査	n= 619	2.9	6.0	2.7	0.8	
		前回調査	n= 740	1.5	4.1	2.8	1.8	
	女 性	今回調査	n= 844	1.1	4.1	3.6	0.9	
		前回調査	n= 939	1.2	1.7	1.7	3.6	
その他・無回答		今回調査	n= 50	4.0	6.0	2.0	18.0	
年 代 別	18～29歳	今回調査	n= 109	1.8	2.8	3.7	0.0	
	20歳代	前回調査	n= 148	1.4	4.7	4.1	4.1	
	30歳代	今回調査	n= 143	1.4	7.0	3.5	0.0	
		前回調査	n= 215	0.9	2.8	5.1	1.4	
	40歳代	今回調査	n= 210	1.9	1.9	2.9	0.0	
		前回調査	n= 254	2.0	0.4	1.6	2.8	
	50歳代	今回調査	n= 237	4.2	4.6	3.0	0.8	
		前回調査	n= 284	1.1	1.8	1.8	2.1	
	60歳代	今回調査	n= 327	1.2	4.9	2.4	0.6	
		前回調査	n= 393	2.0	0.8	1.3	2.3	
	70歳代	今回調査	n= 299	1.3	4.7	3.0	1.0	
		前回調査	n= 261	0.4	5.4	1.1	2.7	
	80歳以上	今回調査	n= 139	0.7	10.1	6.5	5.0	
		前回調査	n= 123	0.8	8.1	2.4	7.3	
	無回答		今回調査	n= 49	4.1	6.1	0.0	16.3

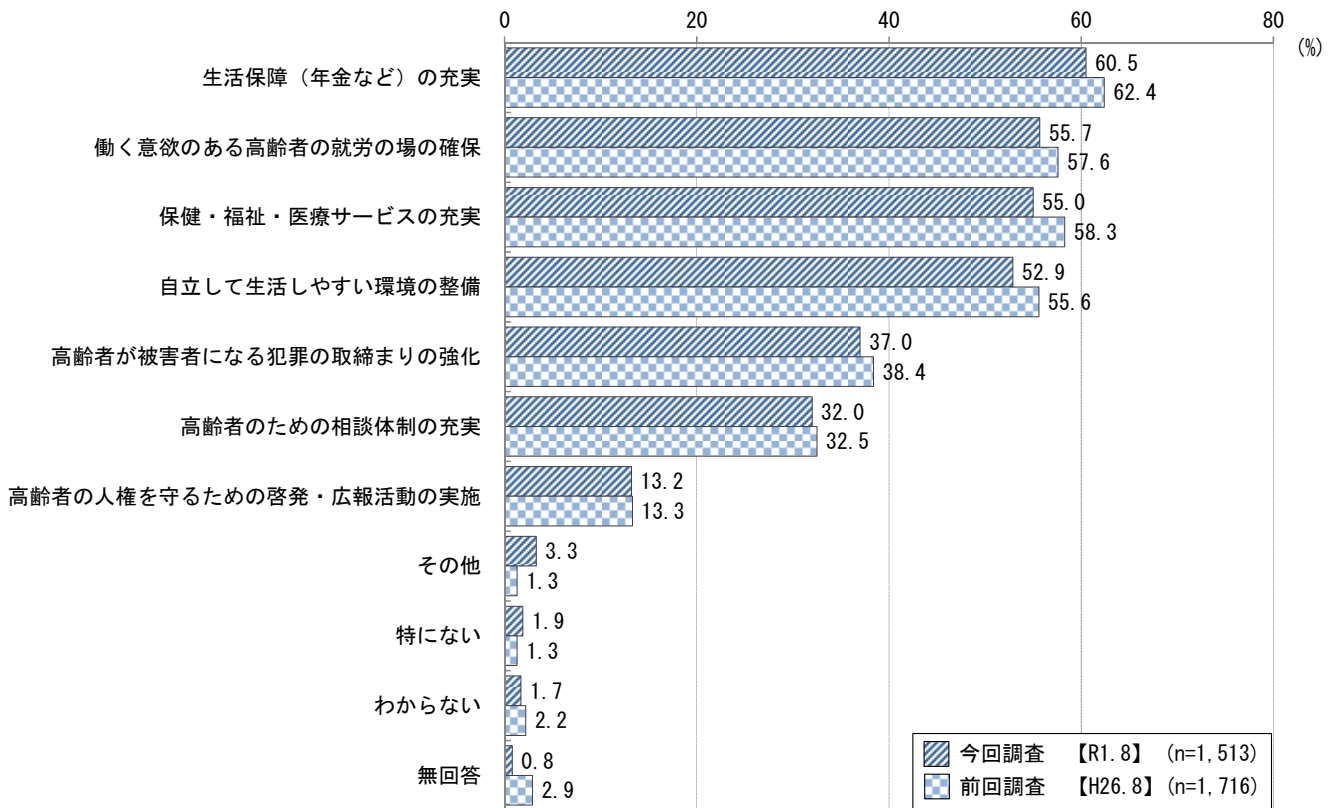
性別でみると、「病院や介護施設での劣悪な処遇や虐待」は女性（37.9%）が男性（29.6%）を8.3ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「家族や介護者の嫌がらせや虐待」は女性で21.2ポイント減、男性で18.2ポイント減となっている。

年代別でみると、「高齢者を邪魔者扱いにすること」は30歳代で約4割、「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」は80歳以上で3割台半ばと、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「悪質商法や詐欺の被害者が多いこと」はすべての年代で増加している。また、「高齢者を邪魔者扱いにすること」、「家族や介護者の嫌がらせや虐待」はすべての年代で減少している。「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」も、すべての年代で減少しており、特に、18～29歳では5.5%と、前回調査の20歳代（28.4%）と比べて22.9ポイント減となっている。

問12 高齢者の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(✓は5つまで)



「生活保障（年金など）の充実」が約6割

高齢者の人権が守られるために必要なことについて、「生活保障（年金など）の充実」が60.5%と最も高く、次いで「働く意欲のある高齢者の就労の場の確保」（55.7%）、「保健・福祉・医療サービスの充実」（55.0%）、「自立して生活しやすい環境の整備」（52.9%）となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 高齢者の人権が守られるために必要なこと【性・年代別】

			(%)							
件数			生活保障（年金など）の充実	働く意欲のある高齢者の確保	保健・福祉・医療サービスの充実	自立して生活しやすい環境の整備	高齢者が被害者にならない強化	高齢者のための相談体制の充実	高齢者の人権啓発・広報活動の実施	
全体 n= 1,513			60.5	55.7	55.0	52.9	37.0	32.0	13.2	
性別	男性	今回調査 n= 619	58.3	54.0	50.4	48.5	35.9	31.8	13.4	
		前回調査 n= 740	62.3	57.6	54.5	51.2	36.4	28.6	13.8	
	女性	今回調査 n= 844	62.0	56.8	58.8	57.5	38.3	31.5	13.2	
		前回調査 n= 939	63.0	57.9	61.6	59.6	40.5	35.9	13.0	
その他・無回答		今回調査 n= 50	64.0	58.0	48.0	32.0	30.0	42.0	10.0	
年代別	18～29歳	今回調査 n= 109	45.0	49.5	45.9	50.5	39.4	17.4	7.3	
	20歳代	前回調査 n= 148	54.1	45.3	55.4	43.2	37.2	25.0	17.6	
	30歳代	今回調査 n= 143	47.6	56.6	54.5	58.0	34.3	27.3	8.4	
		前回調査 n= 215	54.4	62.3	57.2	54.9	41.9	28.4	7.9	
	40歳代	今回調査 n= 210	56.2	60.5	48.1	54.3	32.9	26.2	8.1	
		前回調査 n= 254	62.6	61.4	60.2	62.2	40.2	27.2	11.8	
	50歳代	今回調査 n= 237	61.2	57.8	59.9	56.1	38.4	35.4	11.0	
		前回調査 n= 284	64.4	59.2	59.5	60.2	37.7	34.2	12.3	
	60歳代	今回調査 n= 327	65.7	56.3	58.1	52.3	35.5	29.4	11.9	
		前回調査 n= 393	68.7	60.1	59.5	58.5	36.4	35.4	15.3	
	70歳代	今回調査 n= 299	66.6	55.2	56.9	50.5	38.5	40.1	21.4	
		前回調査 n= 261	63.2	59.4	54.0	54.0	38.7	39.8	13.0	
	80歳以上	今回調査 n= 139	64.7	48.2	54.7	54.7	43.2	38.1	20.1	
		前回調査 n= 123	62.6	43.1	62.6	46.3	39.8	34.1	18.7	
	無回答		今回調査 n= 49	65.3	55.1	51.0	36.7	34.7	36.7	10.2

			(%)				
件数			その他	特にない	わからない	無回答	
全体 n= 1,513			3.3	1.9	1.7	0.8	
性別	男性	今回調査 n= 619	3.4	2.1	2.1	0.6	
		前回調査 n= 740	0.9	1.9	3.1	1.9	
	女性	今回調査 n= 844	3.1	1.8	1.4	0.5	
		前回調査 n= 939	1.7	1.0	1.4	3.0	
その他・無回答		今回調査 n= 50	6.0	2.0	0.0	8.0	
年代別	18～29歳	今回調査 n= 109	5.5	2.8	2.8	0.0	
	20歳代	前回調査 n= 148	1.4	4.1	4.7	4.1	
	30歳代	今回調査 n= 143	3.5	3.5	1.4	0.0	
		前回調査 n= 215	1.4	1.9	4.7	1.4	
	40歳代	今回調査 n= 210	4.8	1.4	1.9	0.0	
		前回調査 n= 254	1.6	0.0	1.2	2.4	
	50歳代	今回調査 n= 237	4.6	0.8	1.3	1.3	
		前回調査 n= 284	2.1	1.8	1.1	1.8	
	60歳代	今回調査 n= 327	1.5	1.2	1.8	0.6	
		前回調査 n= 393	1.5	0.3	1.8	2.3	
	70歳代	今回調査 n= 299	3.0	1.0	1.3	0.3	
		前回調査 n= 261	0.8	1.1	0.8	3.1	
	80歳以上	今回調査 n= 139	0.7	5.8	2.2	2.2	
		前回調査 n= 123	0.0	3.3	3.3	4.1	
	無回答		今回調査 n= 49	6.1	2.0	0.0	6.1

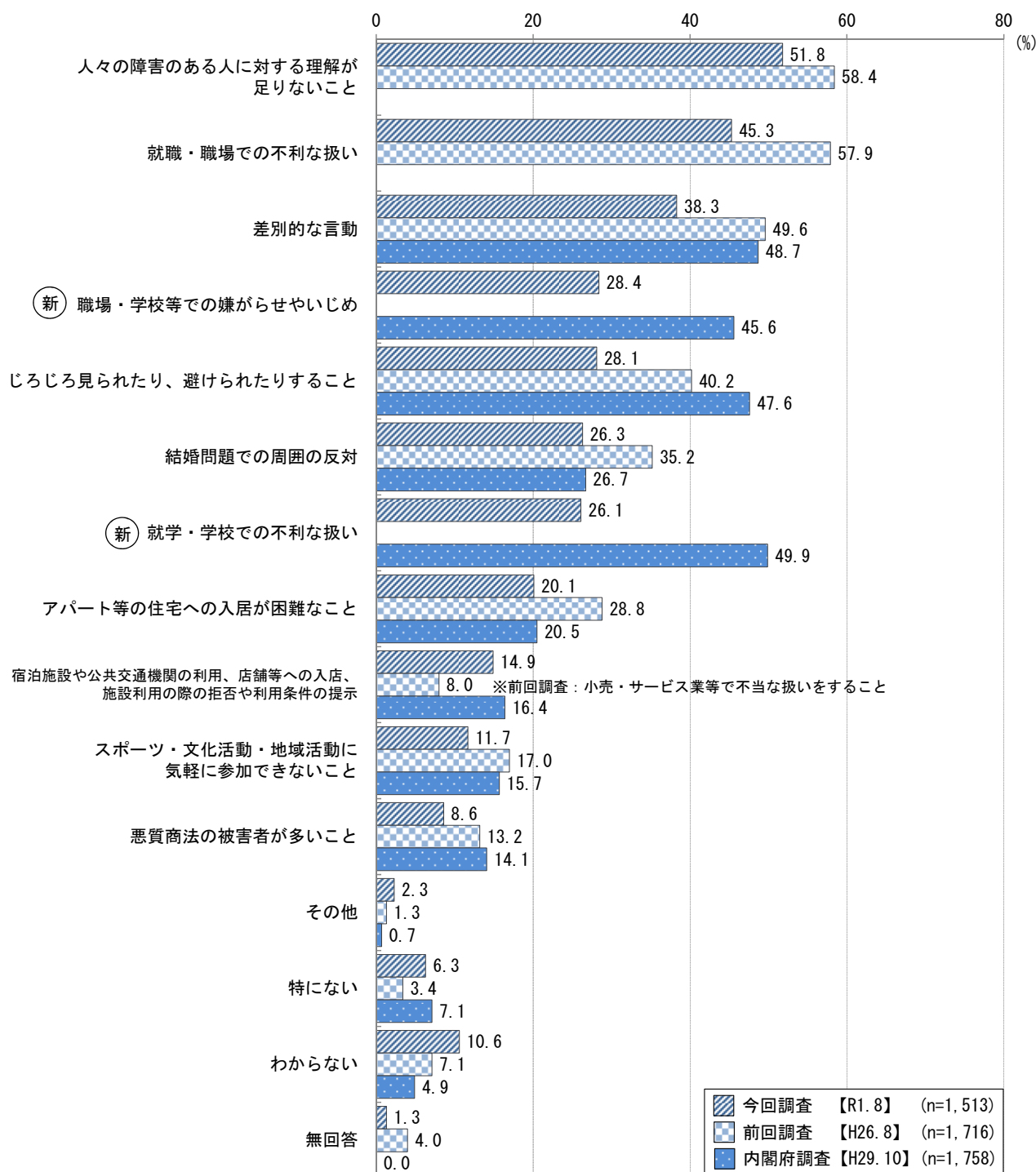
性別で見ると、「自立して生活しやすい環境の整備」は女性（57.5%）が男性（48.5%）を9.0ポイント上回っている。

性別を前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

年代別で見ると、「高齢者の人権を守るための啓発・広報活動の実施」は70歳代、80歳以上で2割以上

と他の年代に比べて高くなっており、特に、70歳代では21.4%と、前回調査13.0%の8.4ポイント増となっている。

問13 あなたは、障害のある人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
 あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。
 (✓はいくつでも)



「人々の障害のある人に対する理解が足りないこと」が5割超

質問を前回調査の「あなたは、障害のある人に関し、現在、どのような人権上問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)」から変更している。

障害のある人に起きていると思う人権上の問題点について、「人々の障害のある人に対する理解が足りないこと」が51.8%と最も高く、次いで「就職・職場での不利な扱い」(45.3%)、「差別的な言動」(38.3%)となっている。

前回調査と比較すると「就職・職場での不利な扱い」は12.6ポイント減、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は12.1ポイント減、「差別的な言動」は11.3ポイント減となっている。

内閣府調査と比較すると「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は19.5ポイント低くなっている。

図表 障害のある人に起きていると思う人権上の問題点【性・年代別】

			新		新		新			(%)	
件数			な に 対 す る 理 解 が 足 り 人	な 就 職 い ・ 職 場 で の 不 利	差 別 的 な 言 動	が 職 場 せ や い じ め の 嫌	る じ ろ じ ろ 見 ら れ た り す こ と	反 結 婚 問 題 で の 周 圍 の	な 就 学 い ・ 学 校 で の 不 利	の ア パ ー ト 等 の 住 宅 へ の 困 難 な こ と	
全体			n= 1,513	51.8	45.3	38.3	28.4	28.1	26.3	20.1	
性別	男性	今回調査	n= 619	50.6	48.8	37.2	27.5	27.5	25.8	19.1	
		前回調査	n= 740	56.9	56.1	47.8	-	37.4	34.3	23.8	
	女性	今回調査	n= 844	52.8	43.6	40.2	29.0	29.0	27.3	24.6	
		前回調査	n= 939	60.5	59.9	52.1	-	42.8	36.2	33.1	
	その他・無回答	今回調査	n= 50	48.0	32.0	20.0	30.0	20.0	16.0	18.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	46.8	57.8	50.5	42.2	44.0	22.9	40.4	18.3
		前回調査	n= 148	64.2	57.4	60.8	-	48.6	31.1	-	23.6
	20歳代	今回調査	n= 143	58.0	50.3	44.8	38.5	44.1	23.8	36.4	16.1
		前回調査	n= 215	62.3	59.1	58.1	-	45.6	33.0	-	26.5
	30歳代	今回調査	n= 210	46.2	44.3	38.1	30.0	29.0	30.0	29.0	20.0
		前回調査	n= 254	61.8	62.6	57.1	-	46.5	42.5	-	32.3
	40歳代	今回調査	n= 237	57.0	46.8	41.4	27.4	28.7	30.8	26.2	24.1
		前回調査	n= 284	65.5	61.6	53.2	-	46.5	38.7	-	32.0
	50歳代	今回調査	n= 327	54.4	46.2	37.0	30.3	26.6	28.4	25.4	19.9
		前回調査	n= 393	56.0	61.6	46.1	-	40.2	32.6	-	32.6
	60歳代	今回調査	n= 299	51.8	41.5	36.1	20.1	20.1	21.7	19.4	19.4
		前回調査	n= 261	52.1	51.0	39.1	-	26.8	31.4	-	23.8
	70歳代	今回調査	n= 139	42.4	40.3	29.5	18.0	18.0	26.6	18.7	19.4
		前回調査	n= 123	48.0	45.5	39.8	-	26.0	39.0	-	26.0
	80歳以上	今回調査	n= 49	51.0	32.7	24.5	34.7	26.5	16.3	18.4	24.5
		前回調査	n= 49	51.0	32.7	24.5	34.7	26.5	16.3	18.4	24.5

			件数	拒入宿泊関 否店施設 や利用、 施設、店 舗等への 利用条件 の際の提 示	に動ス 参加ポ できツ ない・地 こと活 に動・文 気化活	多悪 い質 こと商 法の 被害 者が	そ 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体			n= 1,513	14.9	11.7	8.6	2.3	6.3	10.6	1.3	
性別	男性	今回調査	n= 619	15.3	11.6	9.5	2.3	7.6	7.8	1.0	
		前回調査	n= 740	7.0	15.8	12.3	0.7	4.1	7.8	2.0	
	女性	今回調査	n= 844	14.5	12.2	7.8	2.4	5.1	12.6	1.1	
		前回調査	n= 939	8.8	17.9	14.0	1.7	3.0	6.3	4.7	
	その他・無回答	今回調査	n= 50	16.0	4.0	10.0	2.0	12.0	14.0	8.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	9.2	11.9	8.3	3.7	2.8	7.3	0.0	
		前回調査	n= 148	14.9	20.9	12.8	4.1	1.4	8.1	3.4	
	30歳代	今回調査	n= 143	15.4	10.5	4.2	2.1	6.3	7.7	1.4	
		前回調査	n= 215	8.8	13.5	13.5	0.5	1.9	7.9	1.9	
	40歳代	今回調査	n= 210	13.8	11.0	6.2	1.4	3.8	11.0	0.0	
		前回調査	n= 254	11.0	13.8	15.4	1.6	2.4	3.5	2.4	
	50歳代	今回調査	n= 237	18.6	8.9	8.0	3.4	3.8	10.1	1.3	
		前回調査	n= 284	8.1	16.9	12.3	1.4	2.8	4.9	2.8	
	60歳代	今回調査	n= 327	18.7	12.8	8.3	2.1	7.6	8.3	0.3	
		前回調査	n= 393	5.9	19.1	10.9	1.0	2.3	7.9	3.6	
	70歳代	今回調査	n= 299	13.7	13.7	11.0	1.3	7.0	13.7	1.7	
		前回調査	n= 261	4.6	18.0	11.9	0.8	6.5	9.2	5.0	
	80歳以上	今回調査	n= 139	6.5	13.7	12.2	2.9	10.8	15.8	2.9	
		前回調査	n= 123	6.5	15.4	20.3	0.0	9.8	8.9	7.3	
		無回答	今回調査	n= 49	18.4	6.1	12.2	4.1	12.2	10.2	8.2

性別でみると、「就職・職場での不利な扱い」は男性（48.8%）が女性（43.6%）を5.2ポイント上回っている。

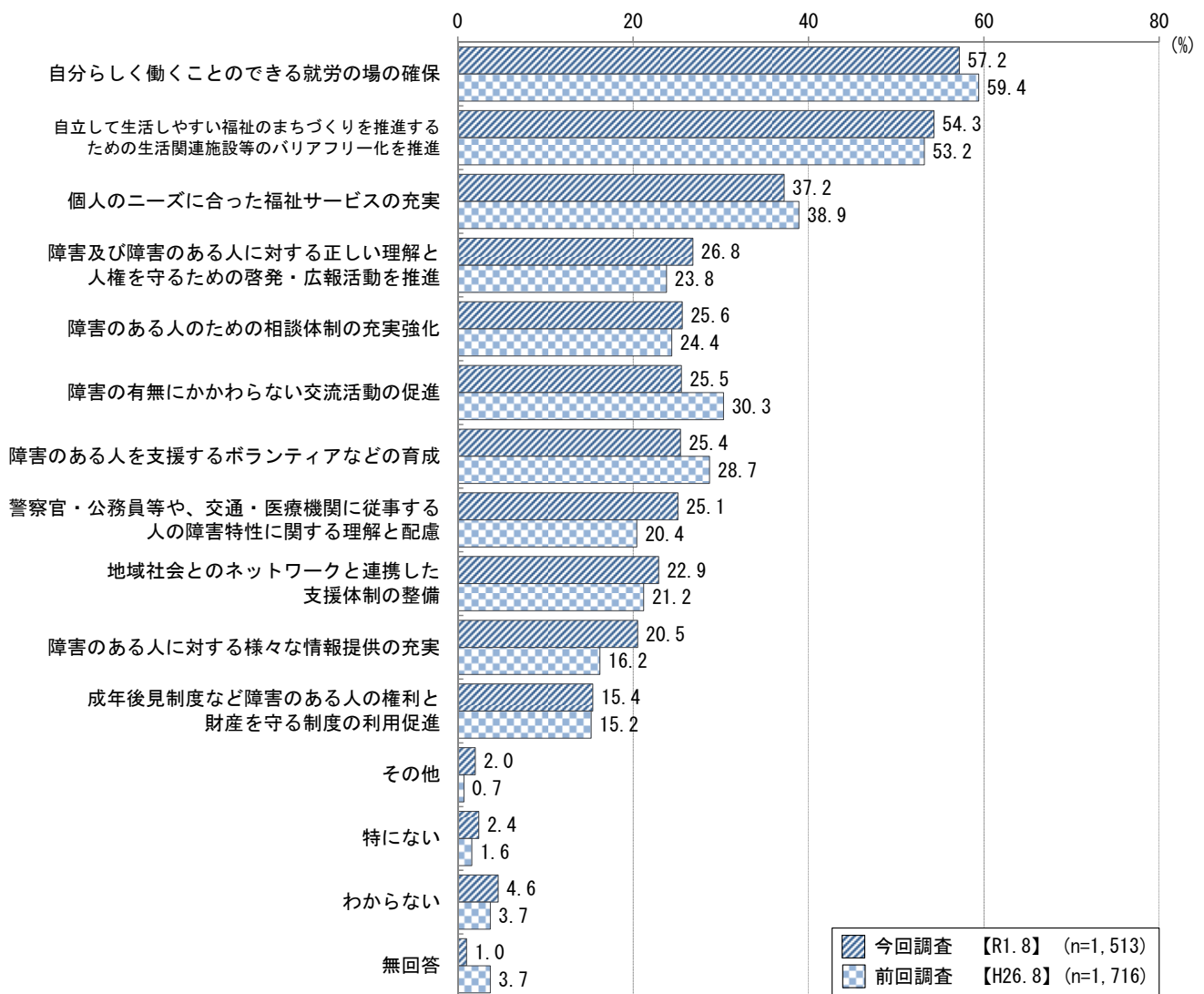
性別について前回調査と比較すると、「就職・職場での不利な扱い」は女性で16.3ポイント減、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は女性で13.8ポイント減となっている。

年代別でみると、「差別的な言動」は18～29歳で約5割と最も高く、年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられる。

年代別について前回調査と比較すると、「就職・職場での不利な扱い」は40歳代、60歳代、「差別的な言動」は40歳代、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は40歳代、50歳代で15.0ポイント以上減となっている。

問14 障害のある人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(✓は5つまで)



「自分らしく働くことのできる就労の場の確保」が約6割

障害のある人の人権が守られるために必要なことについて、「自分らしく働くことのできる就労の場の確保」が57.2%と最も高く、次いで「自立して生活しやすい福祉のまちづくりを推進するための生活関連施設等のバリアフリー化を推進」(54.3%)、「個人のニーズに合った福祉サービスの充実」(37.2%)となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 障害のある人の人権が守られるために必要なこと【性・年代別】

			(%)										
件数			自分らしく働くことのできる就労の場の確保	福祉施設等のバリアフリー化を推進	福祉のまちづくりを推進するための生活関連	自立して生活しやすいために福祉サービスの充実	個人のニーズに合った福祉サービスの充実	障害者に対する正しい理解と人権を守るための啓発・広報活動を推進	障害者及び障害のある人に対する正しい理解と人権を守るための啓発・広報活動を推進	障害のある人のための強化の相談体制の充実	障害のない交流活動の促進	障害のある人に対する支援	警察官・公務員等や、交通・医療機関に障害特性に関する理解と配慮
全体			n= 1,513	57.2	54.3	37.2	26.8	25.6	25.5	25.4	25.1		
性別	男性	今回調査	n= 619	53.0	54.4	35.4	27.3	24.4	26.0	22.9	25.0		
		前回調査	n= 740	53.6	52.0	34.9	24.2	26.5	28.1	26.9	21.2		
	女性	今回調査	n= 844	60.3	54.5	39.6	26.3	26.5	24.9	27.3	24.8		
前回調査		n= 939	64.4	54.4	42.4	24.1	22.6	32.3	29.9	20.1			
	その他・無回答	今回調査	n= 50	58.0	48.0	20.0	30.0	26.0	30.0	24.0	32.0		
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	54.1	56.9	29.4	28.4	14.7	31.2	12.8	27.5		
		前回調査	n= 148	54.7	54.1	34.5	23.6	24.3	33.8	25.7	20.9		
	20歳代	今回調査	n= 143	55.9	56.6	39.2	29.4	30.8	29.4	18.2	20.3		
		前回調査	n= 215	60.0	51.6	35.3	25.1	16.3	33.5	22.3	23.7		
	30歳代	今回調査	n= 210	61.9	49.0	31.9	22.9	23.8	30.0	21.0	20.0		
		前回調査	n= 254	59.8	52.4	44.9	22.0	20.5	30.7	27.2	20.9		
	40歳代	今回調査	n= 237	63.3	54.0	41.4	25.7	28.7	22.8	23.6	24.5		
		前回調査	n= 284	64.8	54.2	49.6	23.9	27.8	30.3	29.2	17.6		
	50歳代	今回調査	n= 327	56.0	56.6	38.8	26.0	24.5	23.2	24.8	26.6		
		前回調査	n= 393	60.6	54.7	35.9	21.4	24.7	28.8	30.3	21.9		
	60歳代	今回調査	n= 299	54.5	55.9	42.1	27.8	26.1	22.4	32.8	25.4		
		前回調査	n= 261	57.5	54.4	36.0	29.5	30.3	30.3	31.0	19.9		
	70歳代	今回調査	n= 139	51.8	53.2	31.7	27.3	28.1	25.9	38.1	30.9		
		前回調査	n= 123	54.5	50.4	30.9	23.6	24.4	26.0	34.1	18.7		
80歳以上	今回調査	n= 49	59.2	42.9	26.5	36.7	26.5	28.6	24.5	30.6			
	前回調査	n= 49	59.2	42.9	26.5	36.7	26.5	28.6	24.5	30.6			

			(%)							
件数			地域社会との連携の強化	障害者に対する様々な情報提供の充実	成年後見制度など障害者に対する権利と財産の保護	その他	特になし	わからない	無回答	
全体			n= 1,513	22.9	20.5	15.4	2.0	2.4	4.6	1.0
性別	男性	今回調査	n= 619	25.2	17.9	15.3	2.1	3.2	4.7	0.3
		前回調査	n= 740	21.6	16.1	14.1	0.9	2.0	4.6	2.3
	女性	今回調査	n= 844	21.8	22.5	15.5	1.8	1.8	4.7	0.9
前回調査		n= 939	20.7	16.6	16.3	0.5	1.4	3.0	3.9	
	その他・無回答	今回調査	n= 50	14.0	18.0	14.0	4.0	2.0	2.0	10.0
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	21.1	20.2	14.7	3.7	0.9	8.3	0.9
		前回調査	n= 148	17.6	19.6	15.5	0.7	0.7	6.8	4.1
	20歳代	今回調査	n= 143	20.3	24.5	14.7	3.5	2.8	3.5	0.0
		前回調査	n= 215	27.9	18.1	16.3	0.5	1.9	5.1	1.4
	30歳代	今回調査	n= 210	24.8	22.4	16.7	3.3	2.4	1.9	0.0
		前回調査	n= 254	22.8	17.3	15.7	1.2	0.8	2.4	2.4
	40歳代	今回調査	n= 237	26.2	21.1	14.8	3.0	2.5	3.0	0.4
		前回調査	n= 284	25.4	15.5	14.8	0.7	1.4	1.8	2.5
	50歳代	今回調査	n= 327	24.2	16.8	16.5	0.0	1.8	5.2	1.2
		前回調査	n= 393	21.9	14.8	16.8	0.5	0.8	3.8	3.6
	60歳代	今回調査	n= 299	21.7	20.4	13.7	0.7	2.3	6.4	1.3
		前回調査	n= 261	14.6	16.1	12.6	1.1	2.7	3.8	3.8
	70歳代	今回調査	n= 139	20.9	21.6	17.3	2.2	5.0	5.8	0.7
		前回調査	n= 123	12.2	14.6	14.6	0.0	5.7	4.1	6.5
80歳以上	今回調査	n= 49	16.3	20.4	14.3	4.1	0.0	2.0	8.2	
	前回調査	n= 49	16.3	20.4	14.3	4.1	0.0	2.0	8.2	

性別でみると、「自分らしく働くことのできる就労の場の確保」は女性（60.3%）が男性（53.0%）を7.3ポイント上回っている。

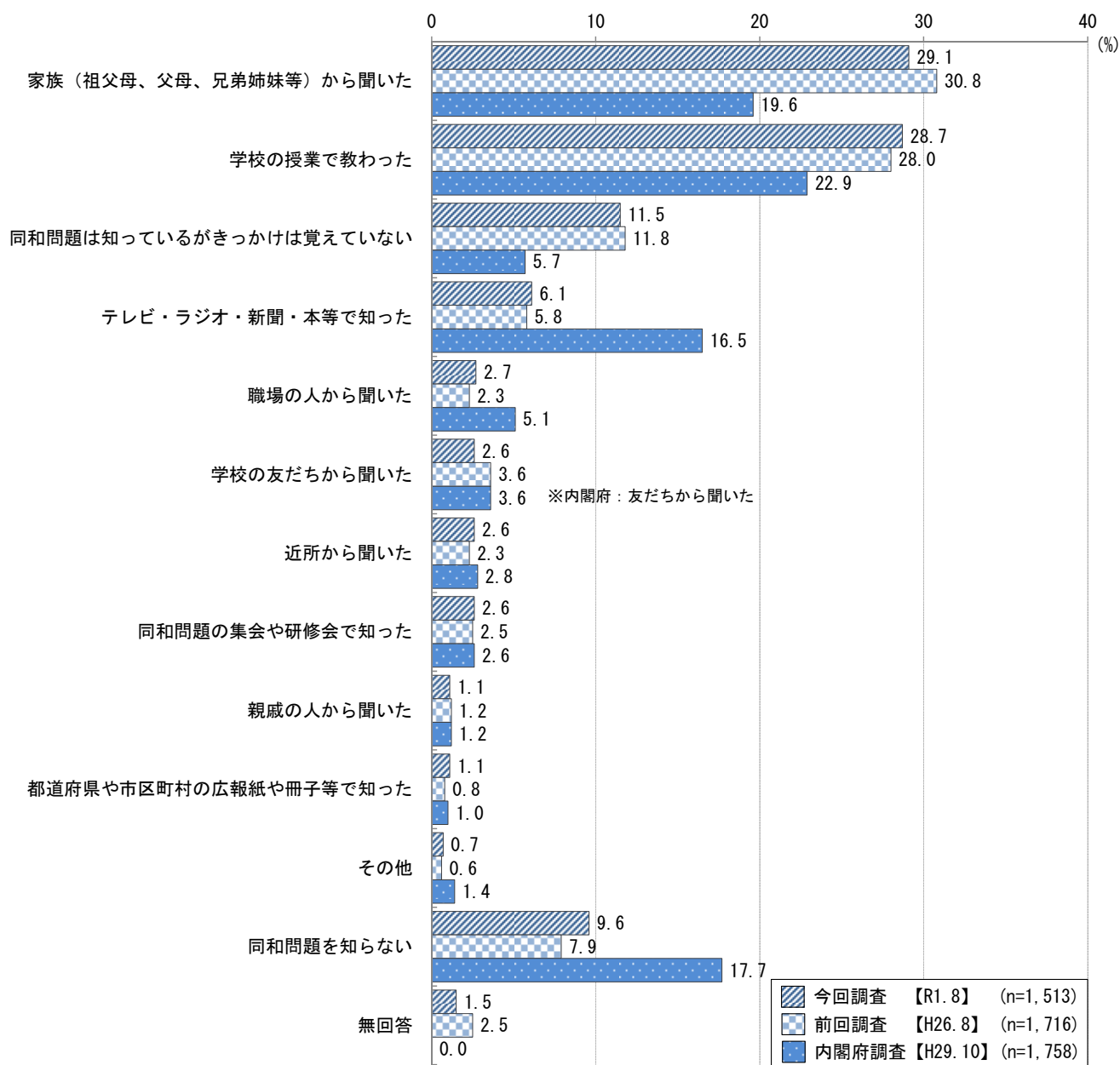
性別について前回調査と比較すると、「障害の有無にかかわらず交流活動の促進」は女性が7.4ポイント減となっている。また、「障害のある人に対する様々な情報提供の充実」は女性で5.9ポイント増と

なっている。

年代別で見ると、「障害のある人を支援するボランティアなどの育成」は年代が上がるにつれ高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「障害のある人のための相談体制の充実強化」は30歳代で14.5ポイント増となっている。

問15 あなたは、同和問題について、初めて知ったきっかけは、何からですか。(✓は1つ)



「家族から聞いた」、「学校の授業で教わった」がそれぞれ約3割

同和問題を知ったきっかけについて、「家族から聞いた」が29.1%と最も高く、次いで「学校の授業で教わった」(28.7%)、「同和問題は知っているがきっかけは覚えていない」(11.5%)となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

内閣府調査と比較すると「家族から聞いた」は9.5ポイント、「学校の授業で教わった」は5.8ポイントと高くなっており、「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」は10.4ポイント低くなっている。

図表 同和問題を知ったきっかけ【性・年代別】

(%)

			件数	家族から聞いた	学校の授業で教わった	同和問題を知っていないがきっかけは覚えていない	テレビ・本等で知った	職場の人から聞いた	学校の友だちから聞いた	近所から聞いた	
全体			n= 1,513	29.1	28.7	11.5	6.1	2.7	2.6	2.6	
性別	男性	今回調査	n= 619	27.6	26.2	12.9	6.6	4.5	2.6	2.1	
		前回調査	n= 740	28.6	22.4	14.2	8.0	3.6	4.1	2.0	
	女性	今回調査	n= 844	30.2	31.4	10.7	5.7	1.2	2.7	3.1	
前回調査		n= 939	32.3	32.9	9.8	3.9	1.3	3.4	2.6		
	その他・無回答	今回調査	n= 50	28.0	14.0	8.0	8.0	6.0	2.0	0.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	11.9	26.6	7.3	10.1	1.8	0.9	0.0	
		前回調査	n= 148	23.0	23.6	6.1	6.1	0.7	1.4	0.7	
	30歳代	今回調査	n= 143	23.1	32.2	7.0	9.8	1.4	0.7	0.7	
		前回調査	n= 215	20.5	45.1	7.0	8.4	1.4	0.9	0.0	
	40歳代	今回調査	n= 210	24.8	47.6	8.1	2.9	1.4	3.8	0.5	
		前回調査	n= 254	27.2	49.6	4.7	4.3	2.4	2.8	0.4	
	50歳代	今回調査	n= 237	26.6	47.7	6.8	5.1	3.0	3.4	0.0	
		前回調査	n= 284	31.0	41.9	9.2	2.8	3.2	5.3	0.7	
	60歳代	今回調査	n= 327	35.5	30.6	10.1	4.3	2.4	2.1	0.9	
		前回調査	n= 393	34.9	18.6	16.8	5.3	2.8	4.8	3.8	
	70歳代	今回調査	n= 299	34.8	10.0	18.7	7.7	4.0	2.7	8.4	
		前回調査	n= 261	38.3	8.0	15.3	8.4	3.4	4.2	5.4	
	80歳以上	今回調査	n= 139	33.8	5.0	20.1	6.5	2.9	4.3	6.5	
		前回調査	n= 123	35.0	3.3	22.0	6.5	0.0	4.9	4.9	
		無回答	今回調査	n= 49	24.5	18.4	12.2	8.2	6.1	2.0	0.0

(%)

			件数	同和問題を知った修会や研究会で知った	親戚の人から聞いた	都道府県や市区町村で知った	その他	同和問題を知らない	無回答	
全体			n= 1,513	2.6	1.1	1.1	0.7	9.6	1.5	
性別	男性	今回調査	n= 619	3.1	0.8	1.5	0.8	9.9	1.5	
		前回調査	n= 740	3.0	0.8	1.6	1.1	8.1	2.4	
	女性	今回調査	n= 844	2.1	1.2	0.6	0.6	9.4	1.2	
前回調査		n= 939	2.1	1.6	0.2	0.2	7.7	2.0		
	その他・無回答	今回調査	n= 50	4.0	4.0	4.0	2.0	12.0	8.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	0.0	0.9	0.0	0.9	39.4	0.0	
		前回調査	n= 148	0.0	0.0	1.4	0.7	36.5	0.0	
	30歳代	今回調査	n= 143	0.0	0.0	0.0	0.0	23.8	1.4	
		前回調査	n= 215	0.9	0.0	0.5	0.5	13.5	1.4	
	40歳代	今回調査	n= 210	1.4	0.0	0.0	1.4	7.6	0.5	
		前回調査	n= 254	0.8	0.4	0.4	0.4	4.7	2.0	
	50歳代	今回調査	n= 237	1.7	0.8	0.8	0.4	3.8	0.0	
		前回調査	n= 284	0.4	0.7	0.7	0.4	1.4	2.5	
	60歳代	今回調査	n= 327	3.4	1.2	2.1	0.9	4.6	1.8	
		前回調査	n= 393	5.3	2.0	1.0	0.0	2.5	2.0	
	70歳代	今回調査	n= 299	3.3	1.7	1.7	0.3	4.7	2.0	
		前回調査	n= 261	5.7	1.5	0.8	1.1	4.2	3.4	
	80歳以上	今回調査	n= 139	6.5	2.2	0.0	1.4	7.2	3.6	
		前回調査	n= 123	0.8	4.9	1.6	2.4	9.8	4.1	
		無回答	今回調査	n= 49	4.1	4.1	4.1	0.0	10.2	6.1

性別でみると、「学校の授業で教わった」は女性（31.4%）が男性（26.2%）を上回っている。性別について前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

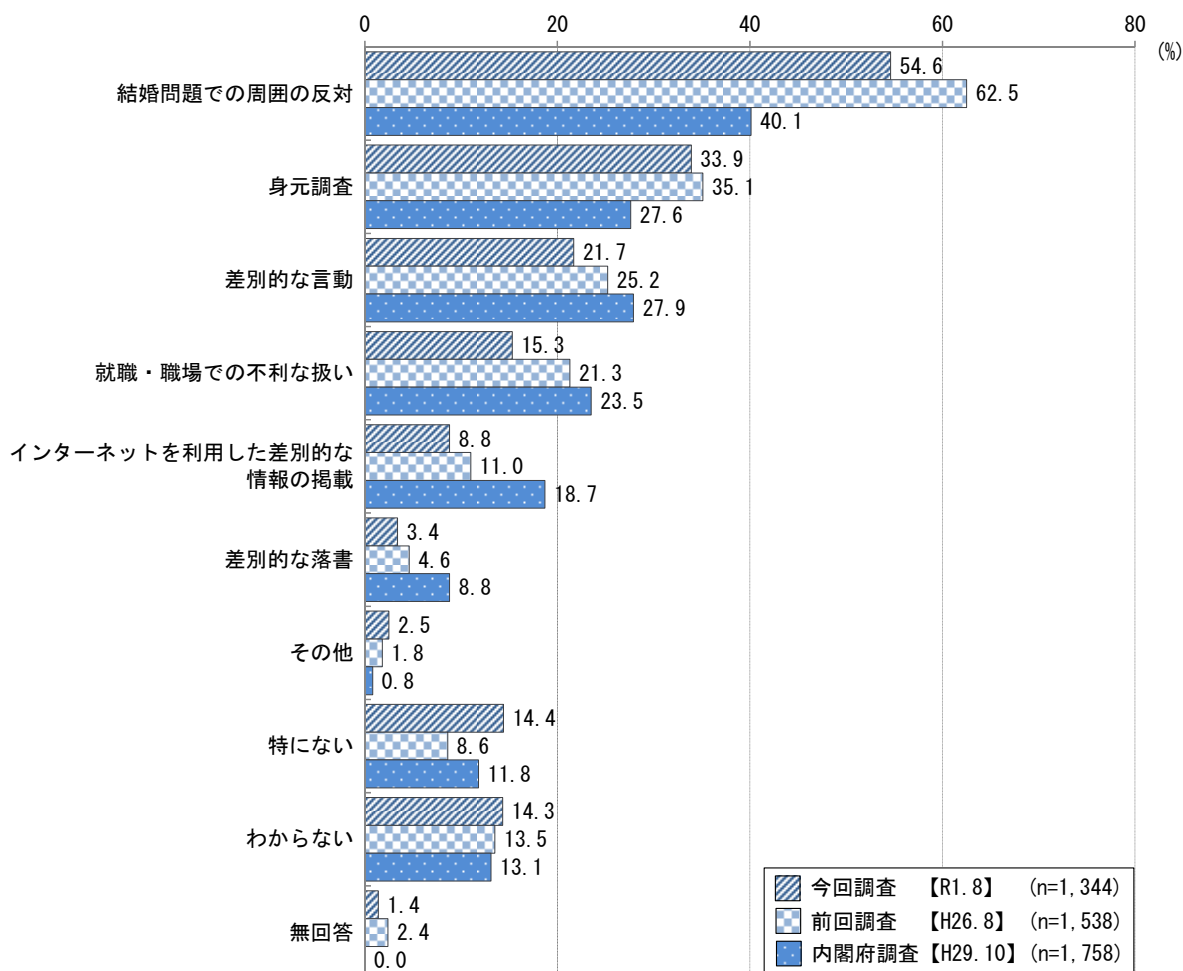
年代別でみると、「同和問題を知らない」と回答した割合は18～29歳で約4割、30歳代で2割台半ばと若年層が高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「家族から聞いた」は18～29歳で11.1ポイント減、「学校の授業で教わった」は30歳代で12.9ポイント減となっている。また、「同和問題を知らない」は30歳代で10.3ポイント増となっている。

(問15で「1～11」と答えた方にお聞きします。)

問15-1 あなたは、同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。

(✓はいくつでも)



「結婚問題での周囲の反対」が5割台半ば

質問を前回調査の「あなたは、同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)」から変更している。

同和問題に関し、起きていると思う人権問題について、「結婚問題での周囲の反対」が54.6%と最も高く、次いで「身元調査」(33.9%)、「差別的な言動」(21.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「結婚問題での周囲の反対」は7.9ポイント減、「就職・職場での不利な扱い」は6.0ポイント減となっている。

内閣府調査と比較すると「結婚問題での周囲の反対」、「身元調査」が高くなっている。

図表 同和問題に関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

(%)

件数			結婚問題での周囲の反対	身元調査	差別的な言動	就職・職場での不利	インターネットの差別的な情報掲載	差別的な落書
全体 n= 1,344			54.6	33.9	21.7	15.3	8.8	3.4
性別	男性	今回調査 n= 549	51.7	34.4	23.1	17.3	12.4	3.8
		前回調査 n= 662	60.3	33.1	28.2	21.8	11.6	5.3
	女性	今回調査 n= 755	57.1	33.8	20.5	13.8	6.4	3.2
		前回調査 n= 848	64.6	36.9	23.2	21.3	10.7	4.1
その他・無回答	今回調査 n= 40	47.5	27.5	25.0	15.0	5.0	2.5	
年代別	18~29歳	今回調査 n= 66	47.0	21.2	33.3	30.3	12.1	4.5
	20歳代	前回調査 n= 94	58.5	22.3	29.8	33.0	20.2	9.6
	30歳代	今回調査 n= 107	48.6	23.4	30.8	18.7	15.9	2.8
		前回調査 n= 183	62.8	36.6	34.4	29.0	15.8	7.7
	40歳代	今回調査 n= 193	58.5	37.3	21.8	16.6	14.5	3.6
		前回調査 n= 237	68.8	39.7	29.1	27.4	16.5	5.1
	50歳代	今回調査 n= 228	58.3	40.4	27.6	16.2	11.0	4.8
		前回調査 n= 273	67.4	39.9	29.3	20.9	9.5	3.7
	60歳代	今回調査 n= 306	61.4	38.6	18.6	16.3	6.2	4.2
		前回調査 n= 375	62.1	37.3	19.7	18.1	10.1	4.0
	70歳代	今回調査 n= 279	48.7	30.5	17.9	9.0	5.7	1.8
		前回調査 n= 241	53.5	29.0	19.1	14.9	6.2	2.5
	80歳以上	今回調査 n= 124	51.6	32.3	13.7	12.1	3.2	3.2
		前回調査 n= 106	63.2	29.2	22.6	14.2	1.9	3.8
	無回答	今回調査 n= 41	41.5	22.0	19.5	14.6	2.4	0.0

(%)

件数			その他	特にな	わからない	無回答
全体 n= 1,344			2.5	14.4	14.3	1.4
性別	男性	今回調査 n= 549	3.3	16.6	11.5	1.1
		前回調査 n= 662	2.4	9.4	13.6	1.8
	女性	今回調査 n= 755	1.6	12.3	16.7	1.6
		前回調査 n= 848	1.1	7.9	13.4	2.5
その他・無回答	今回調査 n= 40	7.5	25.0	7.5	2.5	
年代別	18~29歳	今回調査 n= 66	0.0	12.1	16.7	0.0
	20歳代	前回調査 n= 94	0.0	3.2	20.2	1.1
	30歳代	今回調査 n= 107	0.9	11.2	23.4	0.0
		前回調査 n= 183	1.1	3.8	18.6	0.5
	40歳代	今回調査 n= 193	2.6	11.9	15.5	1.6
		前回調査 n= 237	1.7	5.1	10.1	1.3
	50歳代	今回調査 n= 228	2.6	13.2	11.4	0.9
		前回調査 n= 273	1.8	6.2	11.0	1.5
	60歳代	今回調査 n= 306	2.6	12.1	10.5	1.0
		前回調査 n= 375	1.6	10.7	15.2	1.3
	70歳代	今回調査 n= 279	2.5	19.7	16.1	1.8
		前回調査 n= 241	2.9	14.9	13.7	4.1
	80歳以上	今回調査 n= 124	2.4	12.9	16.9	4.0
		前回調査 n= 106	0.9	12.3	6.6	9.4
	無回答	今回調査 n= 41	7.3	31.7	4.9	2.4

性別で見ると、「結婚問題での周囲の反対」は女性（57.1%）が男性（51.7%）を5.4ポイント、「インターネットを利用した差別的な情報の掲載」は男性（12.4%）が女性（6.4%）を6.0ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「結婚問題での周囲の反対」は男女ともに7.5ポイント以上減

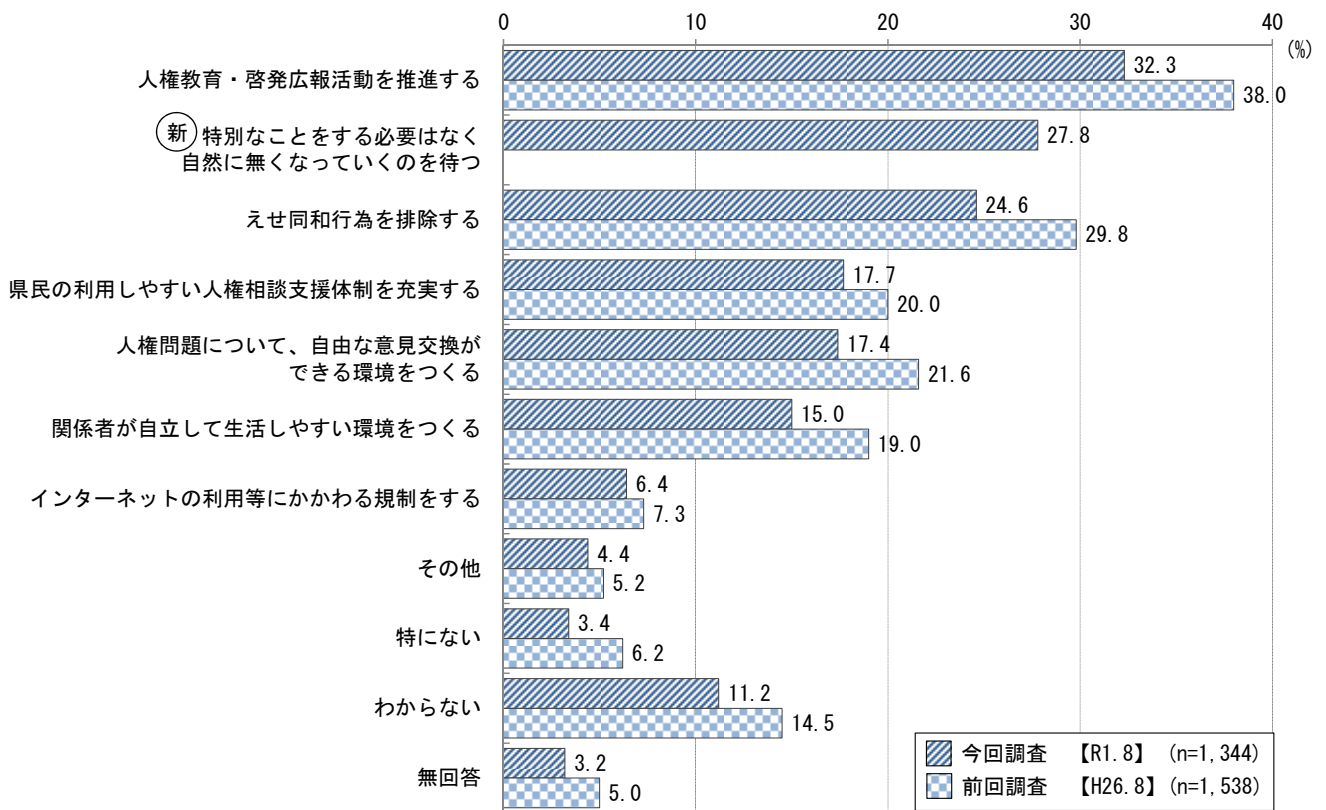
少している。

年代別で見ると、「就職・職場で不利な扱い」は18～29歳で約3割と他の年代に比べて高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「結婚問題での周囲の反対」が、すべての年代で減少しており、特に、30歳代では48.6%と、前回調査の62.8%と比べて14.2ポイント減となっている。

(問15で「1～11」と答えた方にお聞きします。)

問15-2 同和問題の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。(✓は3つまで)



「人権教育・啓発広報活動を推進する」が3割超

同和問題を解決するために必要なことについて、「人権教育・啓発広報活動を推進する」が32.3%と最も高く、次いで「特別なことをする必要はなく自然に無くなっていくのを待つ」(27.8%)、「えせ同和行為を排除する」(24.6%)となっている。

前回調査と比較すると、ほぼすべての選択肢で低くなっている。

図表 同和問題を解決するために必要なこと【性・年代別】

				新															
		件数		活動人権教育・啓発広報を推進する	必要特別なことをつくる	えせ同和行為を排除する	充実に相対する	県民の利用しやすい	自由な環境をつくる	人権問題について、意見を交換する	関係者が自立して生活する	インターネットの規制							
全体		n= 1,344		32.3	27.8	24.6	17.7	17.4	15.0	6.4									
性別	男性	今回調査	n= 549	32.8	29.0	33.3	15.3	17.7	14.0	6.7									
		前回調査	n= 662	40.2	-	37.0	21.3	22.5	18.4	7.4									
	女性	今回調査	n= 755	31.8	26.8	19.2	19.2	17.1	15.2	6.1									
		前回調査	n= 848	36.8	-	24.4	19.0	20.8	20.0	7.5									
	その他・無回答	今回調査	n= 40	35.0	30.0	7.5	22.5	20.0	25.0	7.5									
年代別	18~29歳	今回調査	n= 66	28.8	18.2	21.2	15.2	18.2	19.7	6.1									
	20歳代	前回調査	n= 94	39.4	-	29.8	18.1	25.5	25.5	8.5									
		今回調査	n= 107	28.0	22.4	23.4	13.1	13.1	15.9	7.5									
	30歳代	前回調査	n= 183	33.9	-	35.0	21.9	20.2	16.9	10.9									
		今回調査	n= 193	31.1	21.8	28.0	15.5	11.9	17.1	7.3									
	40歳代	前回調査	n= 237	40.9	-	34.6	16.9	13.9	19.4	9.7									
		今回調査	n= 228	29.8	28.9	29.4	23.2	12.3	14.0	6.1									
	50歳代	前回調査	n= 273	39.2	-	35.5	19.8	17.9	21.6	5.1									
		今回調査	n= 306	38.9	26.5	28.4	15.0	17.0	13.4	6.5									
	60歳代	前回調査	n= 375	40.5	-	28.5	21.1	21.6	16.8	7.7									
		今回調査	n= 279	29.7	35.8	20.8	19.4	25.4	14.7	5.4									
	70歳代	前回調査	n= 241	34.0	-	20.3	20.3	27.4	21.2	6.2									
		今回調査	n= 124	34.7	30.6	17.7	18.5	21.8	12.1	6.5									
	80歳以上	前回調査	n= 106	37.7	-	23.6	21.7	33.0	17.0	3.8									
		今回調査	n= 41	29.3	24.4	9.8	19.5	17.1	24.4	7.3									

		件数		その他	特にな	わからない	無回答
全体		n= 1,344		4.4	3.4	11.2	3.2
性別	男性	今回調査	n= 549	4.2	3.8	9.1	2.4
		前回調査	n= 662	4.7	6.5	12.7	3.9
	女性	今回調査	n= 755	4.5	3.0	12.8	3.6
		前回調査	n= 848	5.5	6.0	15.8	5.4
	その他・無回答	今回調査	n= 40	5.0	5.0	10.0	7.5
年代別	18~29歳	今回調査	n= 66	4.5	3.0	10.6	1.5
	20歳代	前回調査	n= 94	7.4	4.3	9.6	5.3
		今回調査	n= 107	9.3	0.9	17.8	0.0
	30歳代	前回調査	n= 183	6.0	4.9	20.2	2.7
		今回調査	n= 193	5.2	1.6	14.5	2.6
	40歳代	前回調査	n= 237	5.5	4.6	12.2	5.9
		今回調査	n= 228	5.3	3.5	11.0	2.2
	50歳代	前回調査	n= 273	6.2	5.5	12.1	3.7
		今回調査	n= 306	3.3	3.6	11.4	2.3
	60歳代	前回調査	n= 375	5.6	6.9	15.5	2.7
		今回調査	n= 279	2.5	3.9	7.9	4.3
	70歳代	前回調査	n= 241	3.3	9.1	14.5	7.5
		今回調査	n= 124	3.2	6.5	7.3	8.1
	80歳以上	前回調査	n= 106	0.9	6.6	16.0	9.4
		今回調査	n= 41	7.3	4.9	14.6	7.3

性別でみると、「えせ同和行為を排除する」は男性（33.3%）が女性（19.2%）を14.1ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「県民の利用しやすい人権相談支援体制を充実する」を除くすべての選択肢について、減少している。

年代別でみると、「人権教育・啓発広報活動を推進する」は60歳代で約4割と他の年代に比べて高くなっている。

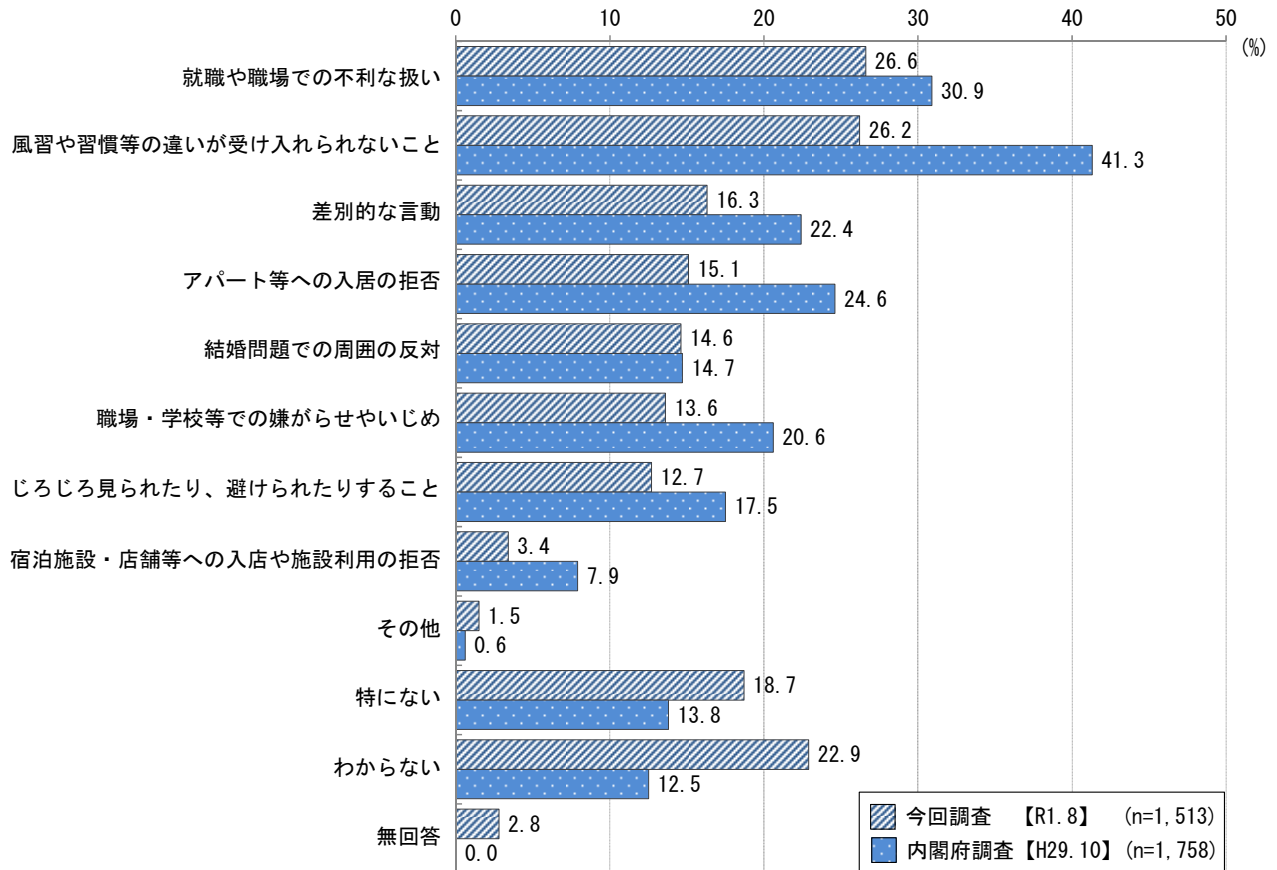
年代別について前回調査と比較すると、「えせ同和行為を排除する」が、ほぼすべての年代で低くなっており、特に、30歳代では23.4%と、前回調査の35.0%と比べて、11.6ポイント減となっている。

また、「人権教育・啓発広報活動を推進する」は18～29歳で28.8%と、前回調査の20歳代の39.4%と比べて、10.6ポイント減となっている。

新

問16 あなたは、在住外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。

(✓はいくつでも)



「就職や職場での不利な扱い」、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が2割台半ば

在住外国人に関する人権上の問題点について、「就職や職場での不利な扱い」が26.6%と最も高く、次いで「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」(26.2%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「その他」、「特にない」、「わからない」を除く選択肢で、低くなっている。

図表 在住外国人に関する人権上の問題点【性・年代別】

				(%)					
件数				な就職や職場での不利	ことが受け入れられない	差別的な言動	のアパート等への入居	反対結婚問題での周囲の	が職場・学校等での嫌
全体 n= 1,513				26.6	26.2	16.3	15.1	14.6	13.6
性別	男性	今回調査	n= 619	28.4	28.9	17.0	16.2	15.0	13.4
	女性	今回調査	n= 844	25.4	24.9	16.2	14.1	14.8	13.9
	その他・無回答	今回調査	n= 50	24.0	14.0	8.0	20.0	6.0	12.0
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	25.7	44.0	29.4	6.4	11.9	16.5
	30歳代	今回調査	n= 143	33.6	30.1	22.4	14.0	12.6	14.0
	40歳代	今回調査	n= 210	28.1	27.1	18.6	17.6	14.3	17.6
	50歳代	今回調査	n= 237	31.2	28.7	21.5	18.6	14.3	17.3
	60歳代	今回調査	n= 327	27.8	25.4	13.1	19.0	16.5	14.7
	70歳代	今回調査	n= 299	19.7	22.4	10.7	10.4	17.1	7.7
	80歳以上	今回調査	n= 139	21.6	16.5	9.4	12.9	12.9	8.6
	無回答	今回調査	n= 49	26.5	14.3	8.2	20.4	6.1	14.3

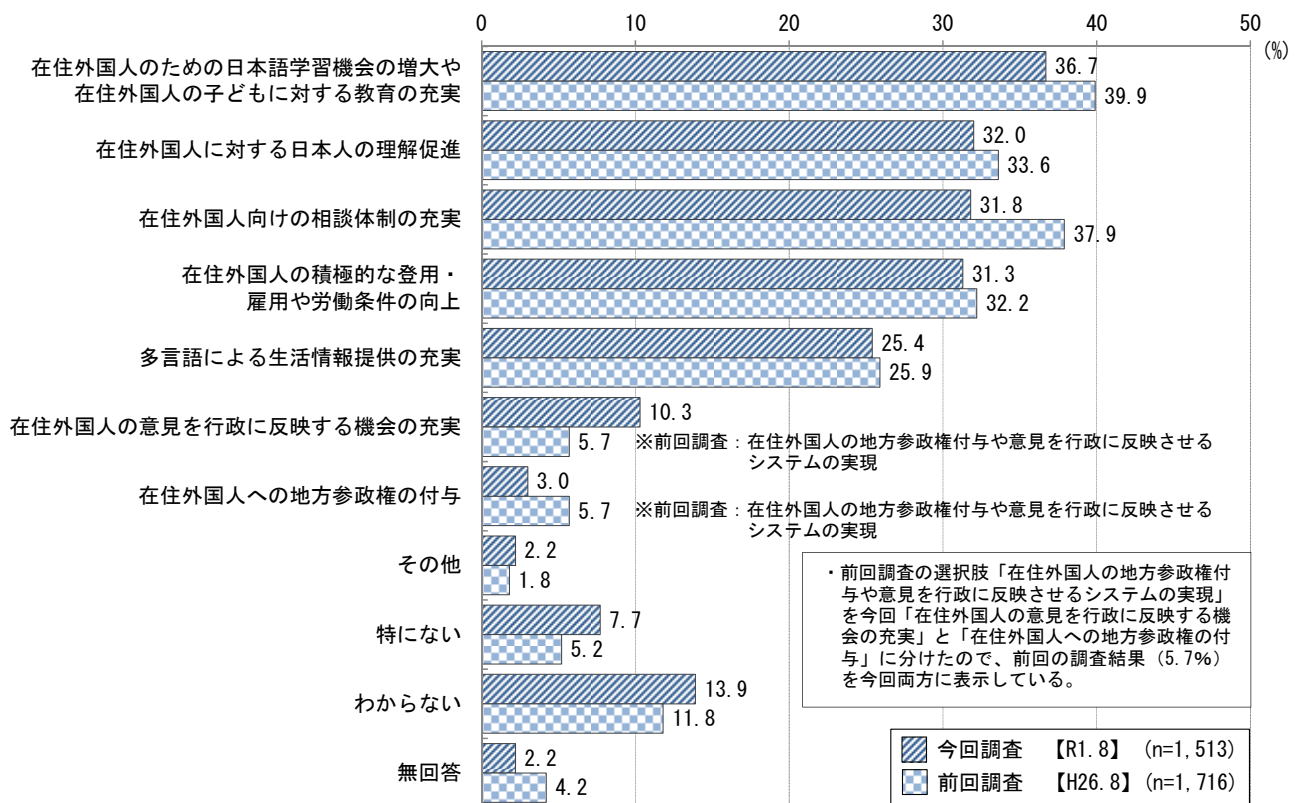
				(%)					
件数				るりじろこと避けられたりす	拒否の宿泊施設・店舗等への	その他	特にな	わからない	無回答
全体 n= 1,513				12.7	3.4	1.5	18.7	22.9	2.8
性別	男性	今回調査	n= 619	12.0	3.4	1.8	21.5	16.8	1.8
	女性	今回調査	n= 844	13.6	3.4	1.1	16.6	26.9	3.3
	その他・無回答	今回調査	n= 50	6.0	2.0	4.0	20.0	32.0	6.0
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	21.1	4.6	0.9	11.9	19.3	0.9
	30歳代	今回調査	n= 143	13.3	6.3	0.7	19.6	18.2	0.0
	40歳代	今回調査	n= 210	13.8	4.3	1.4	18.1	20.0	1.0
	50歳代	今回調査	n= 237	12.2	3.4	3.0	15.6	20.3	1.7
	60歳代	今回調査	n= 327	14.1	2.8	0.9	21.1	19.0	3.7
	70歳代	今回調査	n= 299	10.7	2.3	1.0	21.7	28.8	3.7
	80歳以上	今回調査	n= 139	7.2	2.2	1.4	16.5	33.8	6.5
	無回答	今回調査	n= 49	8.2	2.0	4.1	20.4	30.6	6.1

性別で見ると、大きな差はみられない。

年代別で見ると、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」と回答した割合は年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられる。

問17 在住外国人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(✓は3つまで)



「在住外国人のための日本語学習機会の増大や在住外国人の子どもに対する教育の充実」が3割台半ば

在住外国人の人権が守られるために必要なことについて、「在住外国人のための日本語学習機会の増大や在住外国人の子どもに対する教育の充実」が36.7%と最も高く、「在住外国人に対する日本人の理解促進」(32.0%)、「在住外国人向けの相談体制の充実」(31.8%)、「在住外国人の積極的な登用・雇用や労働条件の向上」(31.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「在住外国人向けの相談体制の充実」は6.1ポイント減となっている。

図表 在住外国人の人権が守られるために必要なこと【性・年代別】

(%)

		件数	在住外国人の増大や日本語学習機会の増大に対する教育の充実	在住外国人の理解促進	在住外国人向けの相談体制の充実	在住外国人の積極的な雇用・労働条件の向上	多言語による生活情報提供の充実	在住外国人の意見の反映する機会を行政に		
全体		n= 1,513	36.7	32.0	31.8	31.3	25.4	10.3		
性別	男性	今回調査	n= 619	36.3	34.1	32.1	30.4	24.1	12.1	
		前回調査	n= 740	38.0	36.1	37.2	32.4	22.8	7.0	
	女性	今回調査	n= 844	37.0	30.5	32.0	32.2	26.8	9.1	
前回調査		n= 939	42.0	31.7	39.0	32.4	28.9	4.7		
その他・無回答		今回調査	n= 50	36.0	32.0	24.0	26.0	20.0	8.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	31.2	35.8	25.7	32.1	33.0	11.0	
	20歳代	前回調査	n= 148	33.1	38.5	43.2	37.8	36.5	7.4	
	30歳代	今回調査	n= 143	32.2	32.9	39.9	30.8	30.8	9.8	
		前回調査	n= 215	35.8	32.1	40.0	30.2	34.0	4.7	
	40歳代	今回調査	n= 210	34.8	32.9	26.2	33.8	23.3	5.2	
		前回調査	n= 254	40.2	32.7	35.4	37.8	30.3	5.1	
	50歳代	今回調査	n= 237	35.9	30.0	37.1	34.2	27.8	8.9	
		前回調査	n= 284	41.2	32.0	43.3	27.8	28.2	8.5	
	60歳代	今回調査	n= 327	38.8	30.6	35.8	34.6	26.6	11.0	
		前回調査	n= 393	44.3	32.6	38.9	33.3	24.2	4.1	
	70歳代	今回調査	n= 299	41.5	32.8	28.1	27.8	23.4	11.4	
		前回調査	n= 261	39.8	36.8	31.8	30.3	16.1	5.4	
	80歳以上	今回調査	n= 139	34.5	30.2	29.5	23.7	15.8	16.5	
		前回調査	n= 123	41.5	32.5	33.3	30.9	15.4	6.5	
	無回答		今回調査	n= 49	36.7	36.7	22.4	26.5	22.4	10.2

(%)

		件数	在住外国人への地方参政権の付与	その他	特にな	わからない	無回答		
全体		n= 1,513	3.0	2.2	7.7	13.9	2.2		
性別	男性	今回調査	n= 619	3.9	2.3	10.8	11.0	1.3	
		前回調査	n= 740	-	3.0	6.9	10.4	4.1	
	女性	今回調査	n= 844	2.5	2.1	5.6	16.2	2.0	
前回調査		n= 939	-	0.9	4.0	12.9	3.5		
その他・無回答		今回調査	n= 50	2.0	2.0	6.0	12.0	16.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	2.8	1.8	2.8	18.3	0.0	
	20歳代	前回調査	n= 148	-	2.7	4.1	8.1	1.4	
	30歳代	今回調査	n= 143	2.1	2.1	8.4	11.9	0.0	
		前回調査	n= 215	-	2.3	4.7	12.1	1.9	
	40歳代	今回調査	n= 210	4.8	4.3	9.0	11.4	0.5	
		前回調査	n= 254	-	2.0	4.3	10.2	2.8	
	50歳代	今回調査	n= 237	5.5	3.0	6.8	10.1	0.8	
		前回調査	n= 284	-	1.8	3.9	9.9	3.2	
	60歳代	今回調査	n= 327	1.8	1.5	6.7	14.7	1.5	
		前回調査	n= 393	-	1.5	4.6	13.5	3.8	
	70歳代	今回調査	n= 299	2.3	1.3	9.0	14.4	4.0	
		前回調査	n= 261	-	1.5	8.4	13.4	6.1	
	80歳以上	今回調査	n= 139	2.2	0.7	10.8	21.6	5.0	
		前回調査	n= 123	-	0.8	8.1	14.6	8.9	
	無回答		今回調査	n= 49	2.0	4.1	6.1	10.2	12.2

性別でみると、大きな差はみられない。

性別を前回調査と比較すると、「在住外国人向けの相談体制の充実」は男女ともに 5.0 ポイント以上、下回っている。

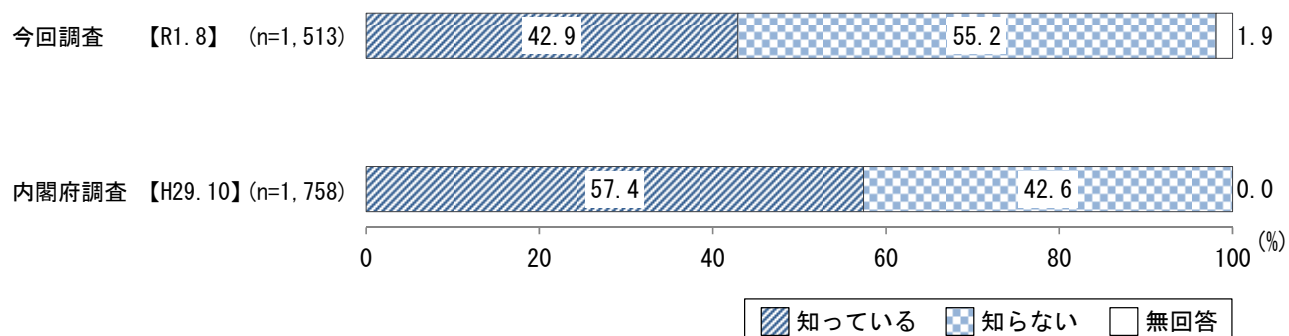
年代別でみると、「在住外国人のための日本語学習機会の増大や在住外国人の子どもに対する教育の充

実」は年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられる。

年代別について前回調査と比較すると、「在住外国人向けの相談体制の充実」は18～29歳では25.7%と前回調査の20歳代43.2%に比べて17.5ポイント低くなっている。

新

問18 あなたは、ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を知っていますか。(✓は1つ)

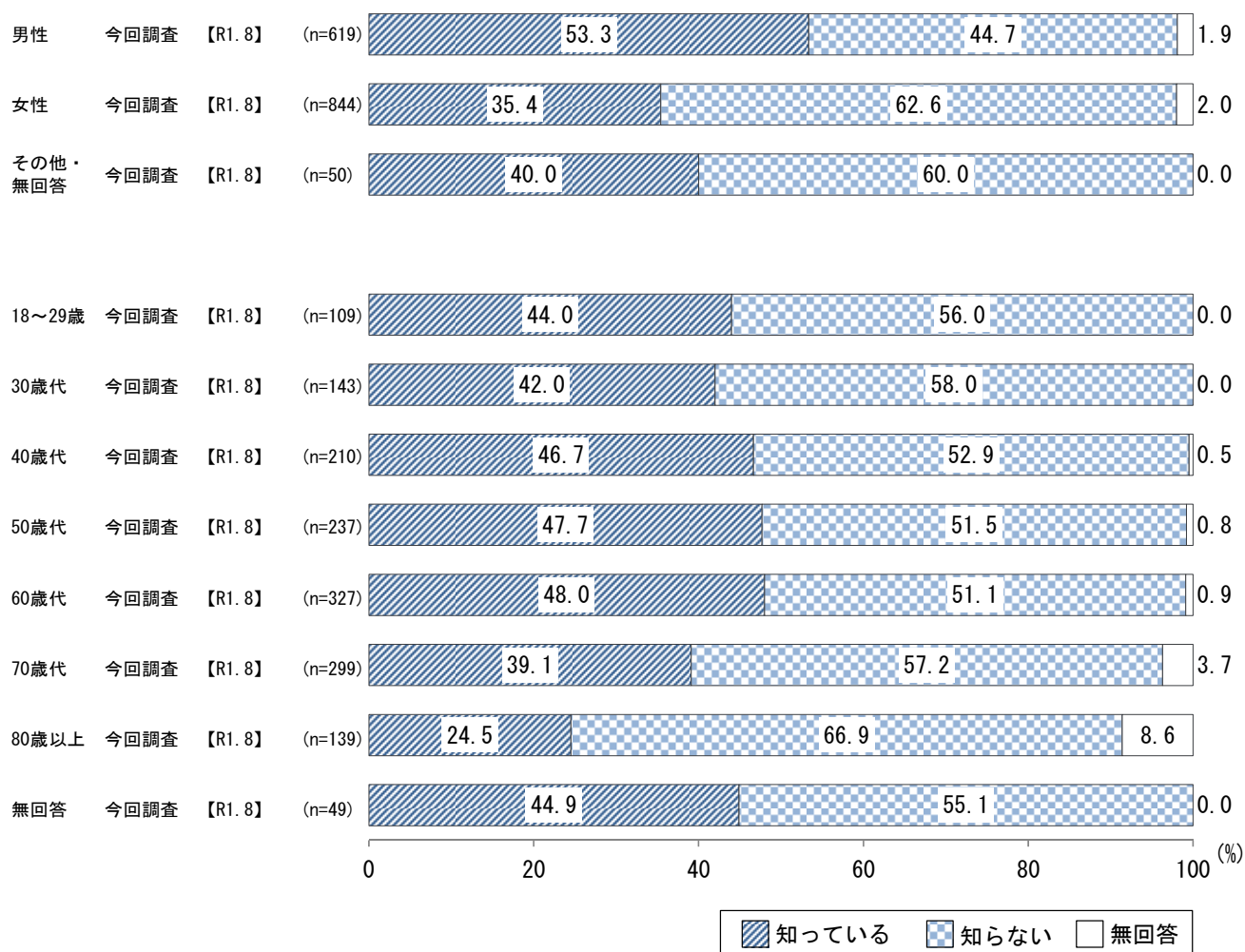


「知らない」が5割超

ヘイトスピーチを伴う活動の周知度について、「知っている」は42.9%、「知らない」は55.2%となっている。

内閣府調査と比較すると、「知っている」は14.5ポイント低くなっている。

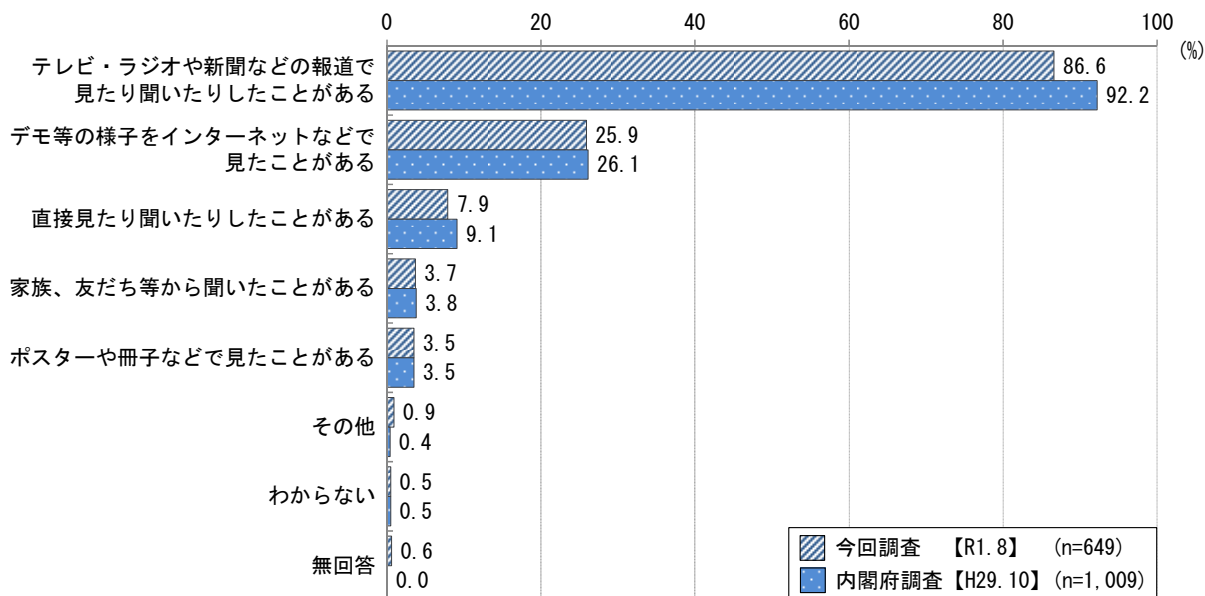
図表 ヘイトスピーチを伴う活動の周知度について【性・年代別】



性別で見ると、「知っている」は男性（53.3%）が女性（35.4%）を17.9ポイント上回っている。
 年代別で見ると、「知っている」は70歳代が39.1%、80歳以上は24.5%と他の年代に比べて低くなっている。

(問 18 で「知っている」と答えた方にお聞きします。)

問 18-1 あなたは、そのようなデモ等をどのようにして知りましたか。(✓はいくつでも)



「テレビ・ラジオや新聞などの報道で見たり聞いたりしたことがある」との回答が8割台半ばと高くなっている

デモ等を知ったきっかけについて、「テレビ・ラジオや新聞などの報道で見たり聞いたりしたことがある」が86.6%と最も高く、次いで「デモ等の様子をインターネットなどで見たことがある」(25.9%)、「直接見たり聞いたりしたことがある」(7.9%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「テレビ・ラジオや新聞などの報道で見たり聞いたりしたことがある」は5.6ポイント低くなっている。

図表 デモ等を知ったきっかけ【性・年代別】

				(%)									
件数				があり聞いたことがある	テレビなどの報道で見たこと	インターネットなどで見	たこと	直接見たり聞いたりしたことがある	家族、友だち等から聞いたことがある	ポスターや冊子などで見たことがある	その他	わからない	無回答
全体 n= 649				86.6	25.9	7.9	3.7	3.5	0.9	0.5	0.6		
性別	男性	今回調査	n= 330	83.3	32.7	8.5	2.4	3.9	0.6	0.3	0.3		
	女性	今回調査	n= 299	90.0	18.7	6.4	5.0	2.7	1.0	0.7	0.7		
	その他・無回答	今回調査	n= 20	90.0	20.0	20.0	5.0	10.0	5.0	0.0	5.0		
年代別	18～29歳	今回調査	n= 48	77.1	45.8	6.3	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0		
	30歳代	今回調査	n= 60	80.0	35.0	11.7	1.7	0.0	0.0	0.0	1.7		
	40歳代	今回調査	n= 98	80.6	26.5	12.2	3.1	2.0	2.0	0.0	1.0		
	50歳代	今回調査	n= 113	86.7	30.1	6.2	2.7	2.7	1.8	0.0	0.0		
	60歳代	今回調査	n= 157	92.4	22.3	5.1	5.7	1.9	0.0	0.6	0.0		
	70歳代	今回調査	n= 117	91.5	20.5	7.7	3.4	7.7	0.9	0.9	0.0		
	80歳以上	今回調査	n= 34	85.3	8.8	5.9	8.8	14.7	0.0	0.0	2.9		
無回答 n= 22				86.4	13.6	13.6	0.0	4.5	4.5	0.0	4.5		

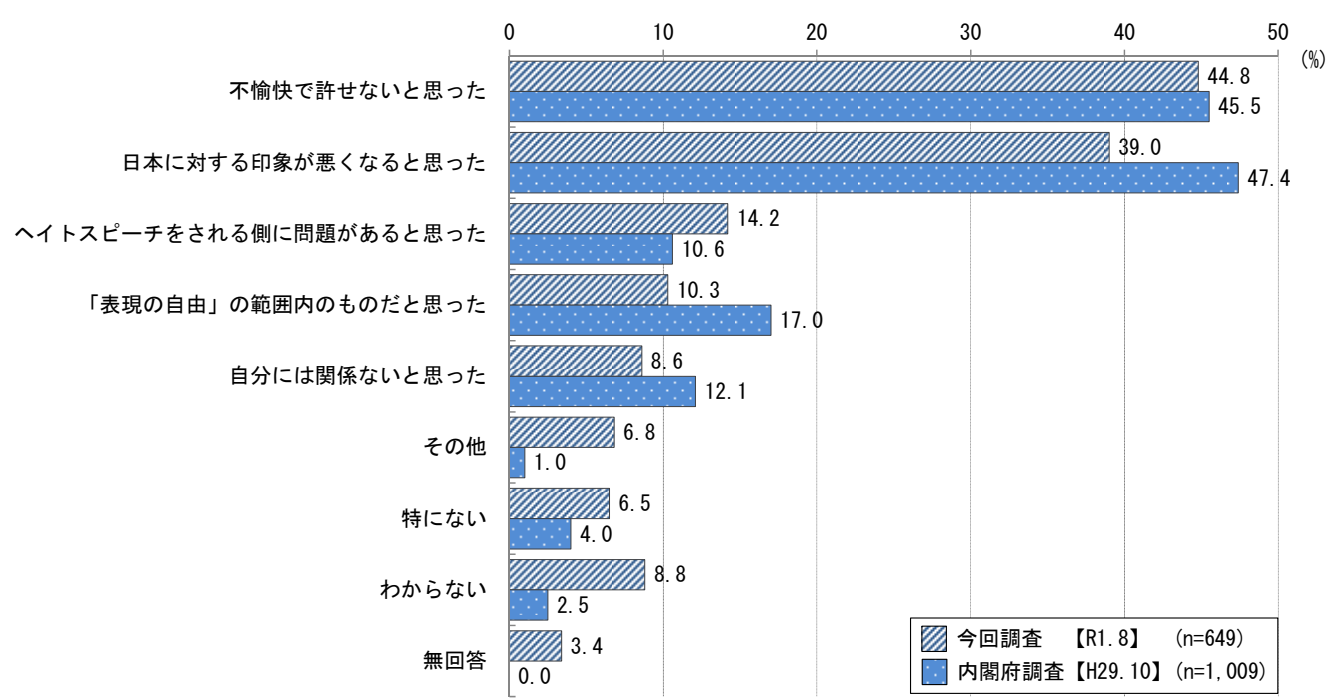
性別でみると、「テレビ・ラジオや新聞などの報道で見たり聞いたりしたことがある」は女性(90.0%)が男性(83.3%)を6.7ポイント、「デモ等の様子をインターネットなどで見たことがある」は男性(32.7%)が女性(18.7%)を14.0ポイント上回っている。

年代別でみると、「デモ等の様子をインターネットなどで見たことがある」は18～29歳で4割台半ば、「直接見たり聞いたりしたことがある」は30歳代、40歳代で1割超と、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

新

(問 18 で「知っている」と答えた方にお聞きします。)

問 18-2 あなたは、そのようなデモ等を見聞きしてどのように思いましたか。(✓はいくつでも)



「不愉快で許せないと思った」との回答が4割台半ばと高くなっている

ヘイトスピーチを伴う活動を見聞きして思ったことについて、「不愉快で許せないと思った」が44.8%と最も高くなっており、次いで「日本に対する印象が悪くなると思った」(39.0%)、「ヘイトスピーチされる側に問題があると思った」(14.2%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「日本に対する印象が悪くなると思った」、「「表現の自由」の範囲内のものと思った」はどちらも、5.0ポイント以上低くなっている。

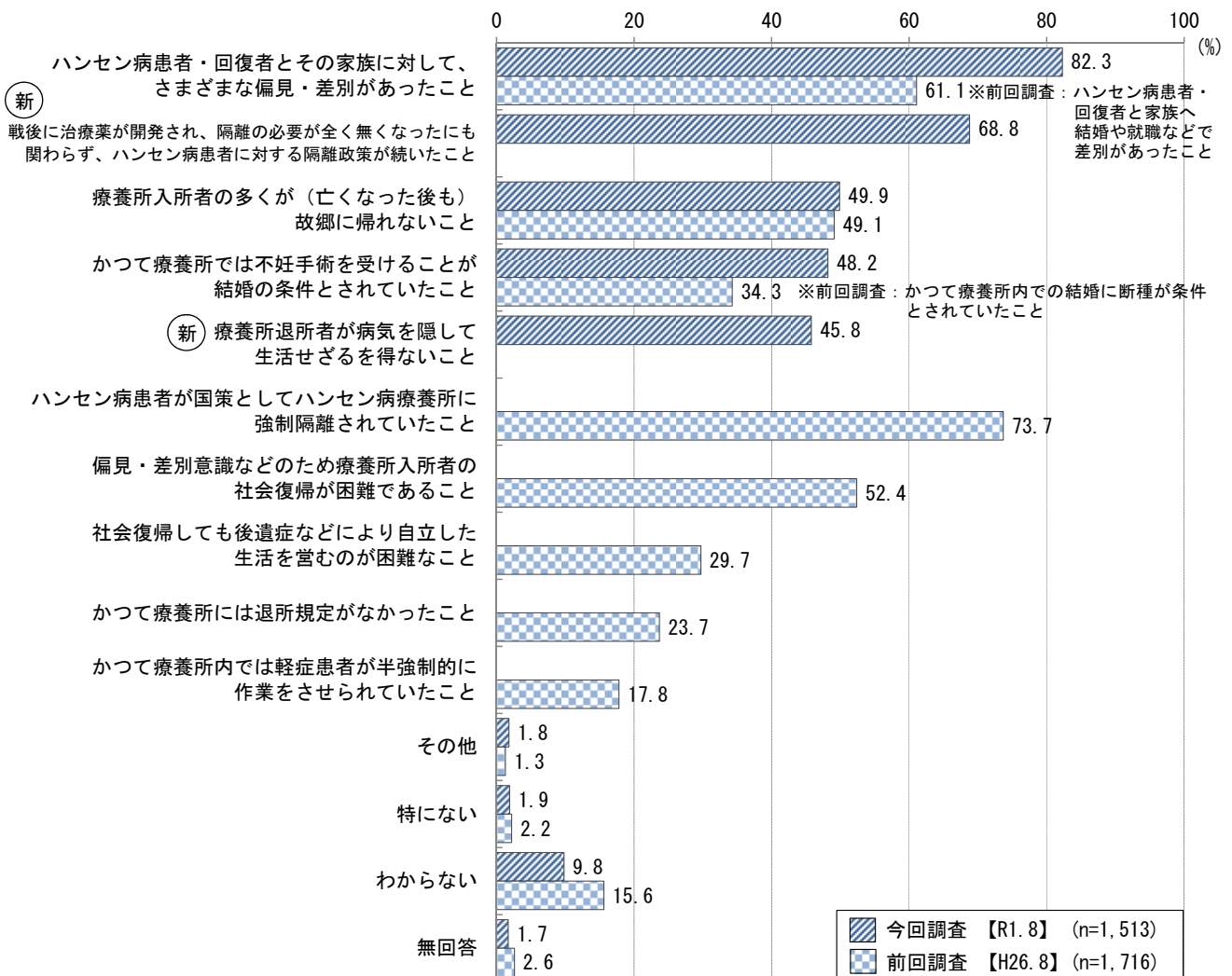
図表 ヘイトスピーチを伴う活動を見聞きして思ったこと【性・年代別】

		(%)								
件数		思不愉快で許せないと	悪日本に対する印象が悪くなると思った	とれる側の問題があると思った	た囲内「表現の自由」の範囲内のものだと思った	思自分には関係ないと思った	その他	特にない	わからない	無回答
全体 n= 649		44.8	39.0	14.2	10.3	8.6	6.8	6.5	8.8	3.4
性別	男性 今回調査 n= 330	42.7	43.0	19.7	9.7	9.4	7.6	6.7	5.8	3.3
	女性 今回調査 n= 299	46.2	35.1	7.4	11.4	7.7	5.4	6.7	12.7	3.3
	その他・無回答 今回調査 n= 20	60.0	30.0	25.0	5.0	10.0	15.0	0.0	0.0	5.0
年代別	18～29歳 今回調査 n= 48	20.8	29.2	8.3	20.8	12.5	12.5	20.8	6.3	2.1
	30歳代 今回調査 n= 60	43.3	43.3	15.0	13.3	11.7	11.7	5.0	8.3	1.7
	40歳代 今回調査 n= 98	37.8	34.7	14.3	14.3	8.2	7.1	4.1	11.2	4.1
	50歳代 今回調査 n= 113	43.4	32.7	12.4	13.3	8.8	10.6	4.4	11.5	1.8
	60歳代 今回調査 n= 157	57.3	43.3	14.6	4.5	6.4	3.2	5.7	7.6	1.3
	70歳代 今回調査 n= 117	46.2	47.0	17.1	6.0	8.5	3.4	6.0	9.4	6.0
	80歳以上 今回調査 n= 34	38.2	38.2	8.8	14.7	8.8	0.0	11.8	2.9	11.8
無回答 今回調査 n= 22	54.5	27.3	22.7	4.5	9.1	13.6	0.0	4.5	4.5	

性別でみると、「ヘイトスピーチをされる側に問題があると思った」は男性（19.7%）が女性（7.4%）を12.3ポイント、「日本に対する印象が悪くなると思った」は男性（43.0%）が女性（35.1%）を7.9ポイント上回っている。

年代別でみると、「「表現の自由」の範囲内のものだと思った」が18～29歳で約2割、「日本に対する印象が悪くなると思った」が70歳代で約5割、「不愉快で許せないと」は60歳代で約6割と、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

問 19 あなたは、ハンセン病問題に関し、どのような人権問題が起きていたか(いるか)知っていますか。(✓はいくつでも)



「ハンセン病患者・回復者とその家族に対して、さまざまな偏見・差別があったこと」が8割超

ハンセン病問題に関し、起きていた(いる)と思う人権問題について、「ハンセン病患者・回復者とその家族に対して、さまざまな偏見・差別があったこと」が82.3%と最も高く、次いで「戦後に治療薬が開発され、隔離の必要が全く無くなったにも関わらず、ハンセン病患者に対する隔離政策が続いたこと」(68.8%)となっている。

前回調査から選択肢を大幅に変更したので前回調査との比較は行わない。

図表 ハンセン病問題に関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

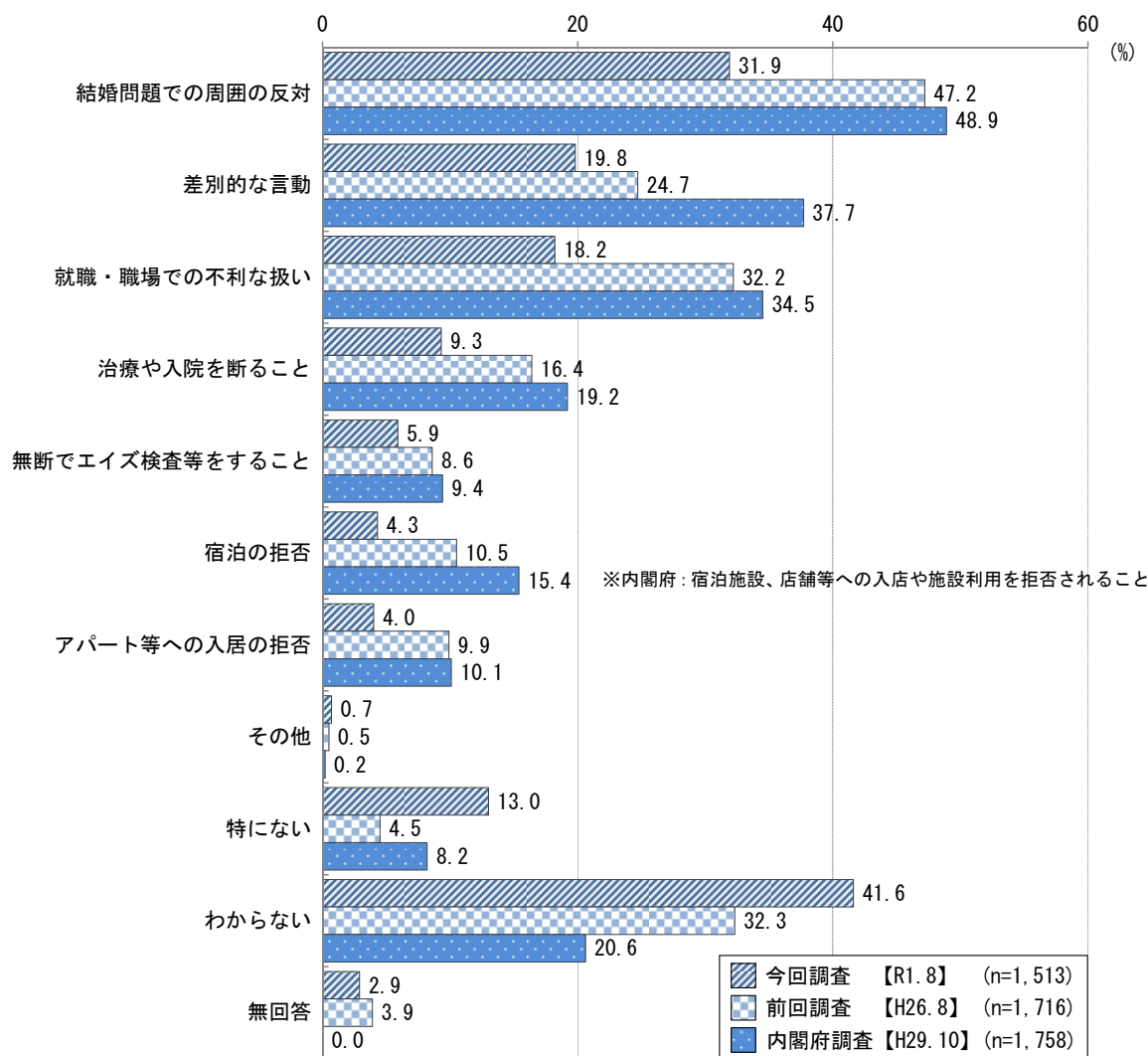
件数	新		新		新		新		新	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	n=1,513	82.3	68.8	49.9	48.2	45.8	-	-	-	-
性別	男性	今回調査	n=619	82.2	67.9	47.5	46.0	42.3	-	-
		前回調査	n=740	58.6	-	44.7	30.4	-	68.6	49.1
	女性	今回調査	n=844	82.5	69.7	51.7	50.0	48.6	-	-
		前回調査	n=939	63.4	-	53.0	37.4	-	78.4	55.4
その他・無回答	今回調査	n=50	80.0	66.0	50.0	46.0	42.0	-	-	
年代別	18～29歳	今回調査	n=109	72.5	53.2	33.9	20.2	32.1	-	-
	20歳代	前回調査	n=148	48.0	-	35.8	19.6	-	60.8	43.9
	30歳代	今回調査	n=143	82.5	65.0	35.7	32.9	36.4	-	-
		前回調査	n=215	48.4	-	36.3	18.6	-	65.6	41.4
	40歳代	今回調査	n=210	86.2	70.5	39.5	45.7	39.0	-	-
		前回調査	n=254	57.9	-	42.1	28.7	-	74.8	46.1
	50歳代	今回調査	n=237	84.0	73.0	53.6	56.1	51.9	-	-
		前回調査	n=284	70.8	-	59.5	38.7	-	81.7	54.6
	60歳代	今回調査	n=327	86.9	76.5	59.9	55.7	54.1	-	-
		前回調査	n=393	67.2	-	52.4	44.0	-	81.2	63.9
	70歳代	今回調査	n=299	81.3	70.6	54.8	54.2	48.5	-	-
		前回調査	n=261	63.2	-	61.3	41.0	-	73.6	58.2
	80歳以上	今回調査	n=139	71.2	54.7	52.5	46.0	41.0	-	-
		前回調査	n=123	61.0	-	43.9	35.0	-	62.6	42.3
	無回答	今回調査	n=49	85.7	65.3	49.0	49.0	44.9	-	-

件数	新		新		新		新		新	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	n=1,513	-	-	-	1.8	1.9	9.8	1.7	-	-
性別	男性	今回調査	n=619	-	-	2.3	1.8	9.4	1.3	-
		前回調査	n=740	27.2	20.3	16.6	1.1	3.0	17.8	2.6
	女性	今回調査	n=844	-	-	-	1.4	1.9	10.2	1.7
		前回調査	n=939	31.5	26.6	18.6	1.6	1.4	13.7	2.0
その他・無回答	今回調査	n=50	-	-	-	2.0	2.0	10.0	6.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n=109	-	-	-	0.0	1.8	22.0	0.0
	20歳代	前回調査	n=148	27.0	14.9	12.2	2.0	1.4	30.4	0.7
	30歳代	今回調査	n=143	-	-	-	0.7	2.1	11.9	0.7
		前回調査	n=215	26.0	19.5	14.9	0.5	0.9	27.0	1.9
	40歳代	今回調査	n=210	-	-	-	2.4	1.0	9.5	0.0
		前回調査	n=254	26.0	23.6	13.8	0.8	0.8	15.7	2.4
	50歳代	今回調査	n=237	-	-	-	2.5	1.3	9.3	0.0
		前回調査	n=284	31.3	25.4	23.9	1.8	1.4	9.5	1.8
	60歳代	今回調査	n=327	-	-	-	1.2	1.8	5.5	1.2
		前回調査	n=393	31.0	30.0	20.1	1.5	1.5	11.5	2.0
	70歳代	今回調査	n=299	-	-	-	2.7	2.0	8.4	3.3
		前回調査	n=261	32.2	22.6	17.2	1.5	4.2	10.3	1.9
	80歳以上	今回調査	n=139	-	-	-	2.2	4.3	13.7	5.0
		前回調査	n=123	30.9	21.1	17.1	1.6	6.5	16.3	8.1
	無回答	今回調査	n=49	-	-	-	0.0	0.0	8.2	6.1

性別でみると、「療養所退所者が病気を隠して生活せざるを得ないこと」は女性(48.6%)が男性(42.3%)を6.3ポイント上回っている。

年代別でみると、「療養所入所者の多くが(亡くなった後も)故郷に帰れないこと」と回答した割合は50歳代～80歳代で約5割以上と他の年代に比べて高くなっている。

問20 あなたは、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)感染者等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)



「結婚問題での周囲の反対」が3割超

質問を前回調査の「あなたは、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)感染者等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)」から変更している。

HIV感染者等に関し、起きていると思う人権問題について、「結婚問題での周囲の反対」が31.9%と最も高く、次いで「差別的な言動」(19.8%)、「就職・職場での不利な扱い」(18.2%)となっている。なお、「わからない」も41.6%となっている。

前回調査と比較すると、「その他」、「特になし」、「わからない」を除くすべての項目について、減少している。また、内閣府調査との比較についても、「その他」、「特になし」、「わからない」を除くすべての項目について、回答した割合は低くなっている。

図表 HIV感染者等に関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

			件数	反婚問題での周囲の反対	差別的な言動	就職・職場での不利な扱い	治療や入院を断ること	無断でエイズ検査等	宿泊の拒否	アパート等への入居の拒否	(%)
全体			n= 1,513	31.9	19.8	18.2	9.3	5.9	4.3	4.0	
性別	男性	今回調査	n= 619	32.1	20.4	19.2	10.2	7.4	4.8	5.0	
		前回調査	n= 740	44.9	23.5	31.2	17.0	7.7	10.3	9.5	
	女性	今回調査	n= 844	31.9	19.1	17.2	8.2	4.5	3.7	2.8	
前回調査		n= 939	49.9	26.1	33.5	16.2	9.6	10.9	10.4		
	その他・無回答	今回調査	n= 50	30.0	24.0	24.0	18.0	10.0	8.0	10.0	
年代別	18~29歳	今回調査	n= 109	27.5	33.9	8.3	4.6	2.8	2.8	1.8	
		前回調査	n= 148	51.4	41.9	33.8	16.2	10.8	11.5	9.5	
	30歳代	今回調査	n= 143	41.3	28.0	20.3	5.6	4.9	4.9	1.4	
		前回調査	n= 215	52.6	34.0	35.8	17.7	7.9	11.2	10.2	
	40歳代	今回調査	n= 210	33.3	18.1	14.3	9.5	3.8	2.4	1.9	
		前回調査	n= 254	56.3	28.0	39.8	17.7	8.7	12.2	11.4	
	50歳代	今回調査	n= 237	33.8	24.5	22.8	12.2	7.6	5.5	5.1	
		前回調査	n= 284	52.1	25.7	35.6	20.8	8.8	9.9	9.5	
	60歳代	今回調査	n= 327	33.3	18.7	21.4	12.5	6.7	5.5	5.5	
		前回調査	n= 393	43.0	21.1	31.3	15.5	7.6	11.2	9.9	
	70歳代	今回調査	n= 299	29.8	13.7	18.4	7.4	5.4	3.3	4.3	
		前回調査	n= 261	37.9	14.9	23.0	11.9	10.0	8.0	8.4	
	80歳以上	今回調査	n= 139	24.5	10.1	13.7	5.8	7.2	4.3	3.6	
		前回調査	n= 123	42.3	14.6	27.6	16.3	8.1	10.6	12.2	
		無回答	今回調査	n= 49	24.5	20.4	20.4	16.3	10.2	6.1	8.2

			件数	その他	特にな	わからない	無回答	(%)
全体			n= 1,513	0.7	13.0	41.6	2.9	
性別	男性	今回調査	n= 619	1.1	15.2	38.8	2.4	
		前回調査	n= 740	0.7	5.9	32.3	2.3	
	女性	今回調査	n= 844	0.2	11.5	44.1	2.7	
前回調査		n= 939	0.3	3.3	32.2	4.2		
	その他・無回答	今回調査	n= 50	2.0	10.0	34.0	12.0	
年代別	18~29歳	今回調査	n= 109	0.0	8.3	42.2	0.0	
		前回調査	n= 148	0.0	3.4	23.6	2.0	
	30歳代	今回調査	n= 143	0.0	13.3	32.9	1.4	
		前回調査	n= 215	0.0	3.7	25.6	1.4	
	40歳代	今回調査	n= 210	1.0	10.5	47.1	0.5	
		前回調査	n= 254	1.2	0.4	28.7	2.0	
	50歳代	今回調査	n= 237	1.7	16.5	38.4	0.8	
		前回調査	n= 284	0.0	2.8	31.7	1.4	
	60歳代	今回調査	n= 327	0.6	13.1	40.1	1.8	
		前回調査	n= 393	0.5	4.8	37.2	4.6	
	70歳代	今回調査	n= 299	0.7	15.4	43.1	5.4	
		前回調査	n= 261	1.1	9.6	37.2	4.6	
	80歳以上	今回調査	n= 139	0.0	10.1	47.5	7.9	
		前回調査	n= 123	0.0	8.1	35.0	9.8	
		無回答	今回調査	n= 49	0.0	8.2	40.8	12.2

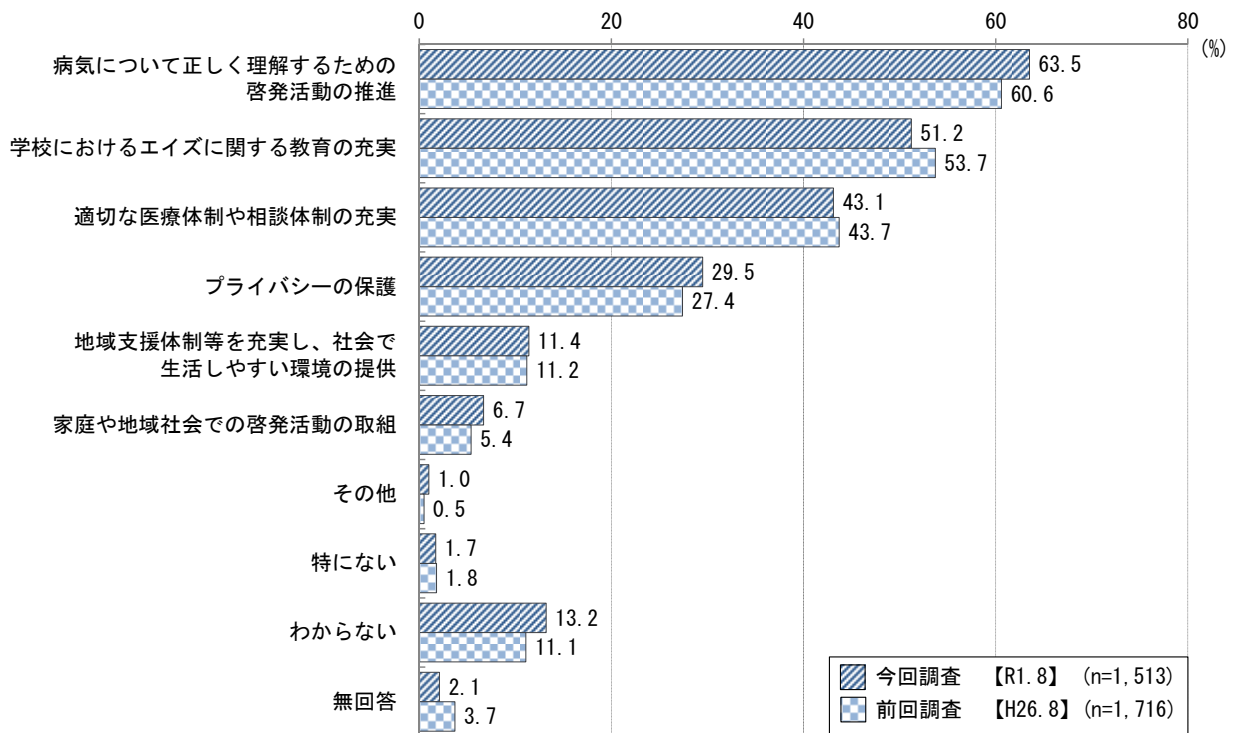
性別で見ると、「わからない」と「無回答」以外のすべての項目で男性が女性を上回っている。性別について前回調査と比較すると、「結婚問題での周囲の反対」、「就職・職場での不利な扱い」

は男女ともに10.0ポイント以上減少している。

年代別で見ると、「結婚問題での周囲の反対」は30歳代で4割超、「差別的な言動」は18～29歳で3割台半ばと、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「その他」、「特にない」、「わからない」を除くすべての選択肢で、すべての年代が減少している。また、「わからない」は18～29歳、40歳代、80歳以上で10.0ポイント以上増加している。

問21 HIV感染者等の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(✓は3つまで)



「病気について正しく理解するための啓発活動の推進」が6割台半ば

HIV感染者等の人権が守られるために必要なことについて、「病気について正しく理解するための啓発活動の推進」が63.5%と最も高く、次いで「学校におけるエイズに関する教育の充実」(51.2%)、「適切な医療体制や相談体制の充実」(43.1%)となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表 HIV感染者等の人権が守られるために必要なこと【性・年代別】

			(%)						
件数			活理病 動解の 推すに 進た ため の正 啓し 発く	に学 関校 すに おけ る教 育の エ 充イ 実ズ	談適 体切 制な の医 療 体 制 や 相	プ ラ イ バ シ ー の 保 護	や実地 すし、 環支 境会 の援 提生 供活 し充	啓家 発庭 活や 動地 の域 取社 組会 での	
全体 n= 1,513			63.5	51.2	43.1	29.5	11.4	6.7	
性別	男性	今回調査 n= 619	60.1	50.7	40.7	24.1	10.7	8.4	
		前回調査 n= 740	59.2	49.7	43.4	25.4	11.8	6.2	
	女性	今回調査 n= 844	66.1	53.0	45.4	32.8	12.0	5.5	
		前回調査 n= 939	62.5	57.7	44.8	29.6	10.5	4.6	
その他・無回答		今回調査 n= 50	62.0	28.0	34.0	42.0	10.0	8.0	
年代別	18~29歳	今回調査 n= 109	67.0	67.9	40.4	38.5	14.7	2.8	
	20歳代	前回調査 n= 148	55.4	55.4	45.9	33.1	14.2	4.1	
	30歳代	今回調査 n= 143	69.2	60.8	49.7	34.3	16.1	8.4	
		前回調査 n= 215	63.3	66.0	48.4	27.9	9.8	4.2	
	40歳代	今回調査 n= 210	66.7	55.2	39.5	32.9	10.0	7.6	
		前回調査 n= 254	70.1	59.4	47.2	29.9	9.4	3.9	
	50歳代	今回調査 n= 237	65.0	52.7	46.4	34.6	12.2	6.8	
		前回調査 n= 284	64.4	56.3	50.4	29.9	10.6	4.2	
	60歳代	今回調査 n= 327	65.7	54.4	44.0	27.2	11.3	7.0	
		前回調査 n= 393	59.8	52.9	42.7	29.3	8.7	5.6	
	70歳代	今回調査 n= 299	62.5	44.8	45.5	21.7	10.4	6.4	
		前回調査 n= 261	55.2	44.4	38.7	25.3	15.3	7.7	
	80歳以上	今回調査 n= 139	46.0	33.1	33.8	23.0	7.2	6.5	
		前回調査 n= 123	53.7	40.7	31.7	12.2	13.0	7.3	
	無回答		今回調査 n= 49	59.2	30.6	34.7	38.8	10.2	8.2

			(%)				
件数			その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体 n= 1,513			1.0	1.7	13.2	2.1	
性別	男性	今回調査 n= 619	1.5	2.6	14.1	1.3	
		前回調査 n= 740	0.9	2.4	12.4	2.8	
	女性	今回調査 n= 844	0.6	1.1	12.8	2.0	
		前回調査 n= 939	0.1	1.3	9.8	3.5	
その他・無回答		今回調査 n= 50	2.0	0.0	10.0	14.0	
年代別	18~29歳	今回調査 n= 109	2.8	0.9	3.7	0.0	
	20歳代	前回調査 n= 148	0.7	2.7	10.8	2.7	
	30歳代	今回調査 n= 143	0.7	2.8	4.9	0.0	
		前回調査 n= 215	0.0	0.5	7.9	1.4	
	40歳代	今回調査 n= 210	1.9	1.0	8.6	0.0	
		前回調査 n= 254	0.4	0.0	5.5	2.0	
	50歳代	今回調査 n= 237	1.3	1.3	8.9	0.4	
		前回調査 n= 284	0.4	1.4	9.9	1.8	
	60歳代	今回調査 n= 327	0.0	1.2	16.2	1.2	
		前回調査 n= 393	1.0	1.5	11.2	4.3	
	70歳代	今回調査 n= 299	0.7	2.7	18.1	3.0	
		前回調査 n= 261	0.4	3.4	14.9	3.4	
	80歳以上	今回調査 n= 139	0.0	2.2	27.3	8.6	
		前回調査 n= 123	0.0	4.9	20.3	9.8	
	無回答		今回調査 n= 49	4.1	0.0	10.2	12.2

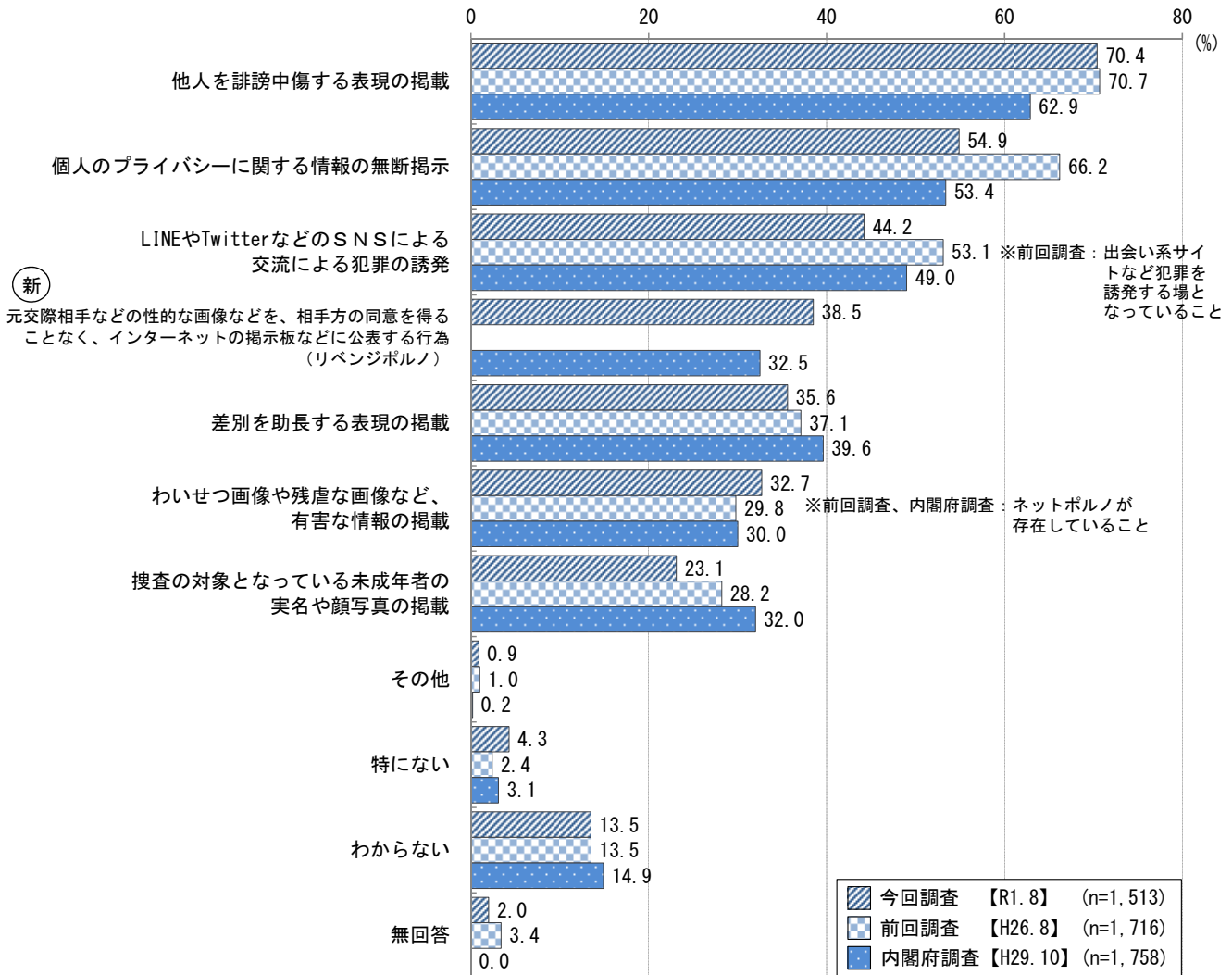
性別で見ると、「病気について正しく理解するための啓発活動の推進」は女性(66.1%)が男性(60.1%)を6.0ポイント、「プライバシーの保護」は女性(32.8%)が男性(24.1%)を8.7ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

年代別でみると、「病気について正しく理解するための啓発活動の推進」は80歳以上で低くなっている。また、「学校におけるエイズに関する教育の充実」は年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられる。

年代別について前回調査と比較すると、「病気について正しく理解するための啓発活動の推進」と「学校におけるエイズに関する教育の充実」は18～29歳で大きく増加している。

問22 あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。



「他人を誹謗中傷する表現の掲載」が約7割

質問を前回調査の「あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)」から変更している。

インターネットによる人権侵害に関し、起きていると思う人権問題について、「他人を誹謗中傷する表現の掲載」が70.4%と最も高く、次いで「個人のプライバシーに関する情報の無断掲示」(54.9%)、「LINEやTwitterなどのSNSによる交流による犯罪の誘発」(44.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「個人のプライバシーに関する情報の無断掲示」は11.3ポイント減となっている。

内閣府調査と比較すると、「他人を誹謗中傷する表現の掲載」は7.5ポイント高くなっている。また、「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真の掲載」は8.9ポイント低くなっている。

図表 インターネットによる人権侵害に関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

		件数		他人を誹謗中傷する	個人に関する情報の無断	LINEやTwitterなどのSNS	元交際相手などの性的な画像などを、相手方の同意を得ることなく、インターネット上に公表する	差別を助長する表現	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な	画像や画像や残虐な画像など、有害な
全体		n= 1,513		70.4	54.9	44.2	38.5	35.6	32.7	23.1										
性別	男性	今回調査	n= 619	70.8	55.3	43.5	38.6	38.1	30.0	21.5										
		前回調査	n= 740	70.1	64.2	49.1	-	38.6	25.9	24.3										
	女性	今回調査	n= 844	71.3	55.9	46.2	39.2	34.5	35.0	25.0										
		前回調査	n= 939	72.6	69.0	57.2	-	36.6	33.8	31.5										
	その他・無回答	今回調査	n= 50	50.0	34.0	20.0	26.0	22.0	28.0	12.0										
年代別	18~29歳	今回調査	n= 109	88.1	66.1	49.5	37.6	44.0	30.3	24.8										
	20歳代	前回調査	n= 148	77.0	74.3	54.1	-	44.6	29.7	38.5										
	30歳代	今回調査	n= 143	86.7	65.0	58.7	52.4	44.1	43.4	32.2										
		前回調査	n= 215	77.7	74.0	54.4	-	44.7	29.8	31.6										
	40歳代	今回調査	n= 210	85.7	58.6	55.7	51.0	41.4	35.2	29.0										
		前回調査	n= 254	87.4	77.2	52.8	-	49.2	33.1	31.5										
	50歳代	今回調査	n= 237	81.4	68.4	55.3	47.7	41.4	37.1	32.5										
		前回調査	n= 284	79.9	71.8	59.2	-	45.8	31.7	34.5										
	60歳代	今回調査	n= 327	69.4	55.7	44.3	38.8	38.2	34.9	23.9										
		前回調査	n= 393	70.7	65.6	58.5	-	32.3	33.3	26.5										
	70歳代	今回調査	n= 299	55.5	45.8	34.4	29.4	26.1	29.4	14.4										
		前回調査	n= 261	53.6	55.9	48.7	-	24.1	27.6	17.6										
	80歳以上	今回調査	n= 139	38.1	32.4	18.7	12.9	19.4	15.1	7.9										
		前回調査	n= 123	42.3	39.8	35.0	-	18.7	18.7	17.9										
		無回答	今回調査	n= 49	53.1	34.7	18.4	28.6	24.5	30.6	14.3									

		件数		その他	特にな	わからない	無回答													
全体		n= 1,513		0.9	4.3	13.5	2.0													
性別	男性	今回調査	n= 619	1.1	5.8	12.0	1.0													
		前回調査	n= 740	0.5	2.8	14.6	2.0													
	女性	今回調査	n= 844	0.6	3.4	14.0	1.7													
		前回調査	n= 939	1.3	2.0	12.4	3.4													
	その他・無回答	今回調査	n= 50	2.0	0.0	24.0	22.0													
年代別	18~29歳	今回調査	n= 109	1.8	1.8	0.9	0.0													
	20歳代	前回調査	n= 148	0.7	1.4	8.1	2.0													
	30歳代	今回調査	n= 143	1.4	2.8	4.9	0.7													
		前回調査	n= 215	0.5	2.8	7.9	1.9													
	40歳代	今回調査	n= 210	1.0	1.9	3.3	1.0													
		前回調査	n= 254	1.2	0.8	5.9	1.6													
	50歳代	今回調査	n= 237	0.8	3.0	5.9	0.0													
		前回調査	n= 284	1.8	1.1	10.9	1.1													
	60歳代	今回調査	n= 327	0.3	5.5	12.5	1.5													
		前回調査	n= 393	0.8	2.3	14.2	3.3													
	70歳代	今回調査	n= 299	0.7	6.0	23.4	2.7													
		前回調査	n= 261	1.1	3.8	19.5	3.8													
	80歳以上	今回調査	n= 139	0.7	8.6	37.4	4.3													
		前回調査	n= 123	0.0	6.5	33.3	8.9													
		無回答	今回調査	n= 49	2.0	0.0	24.5	18.4												

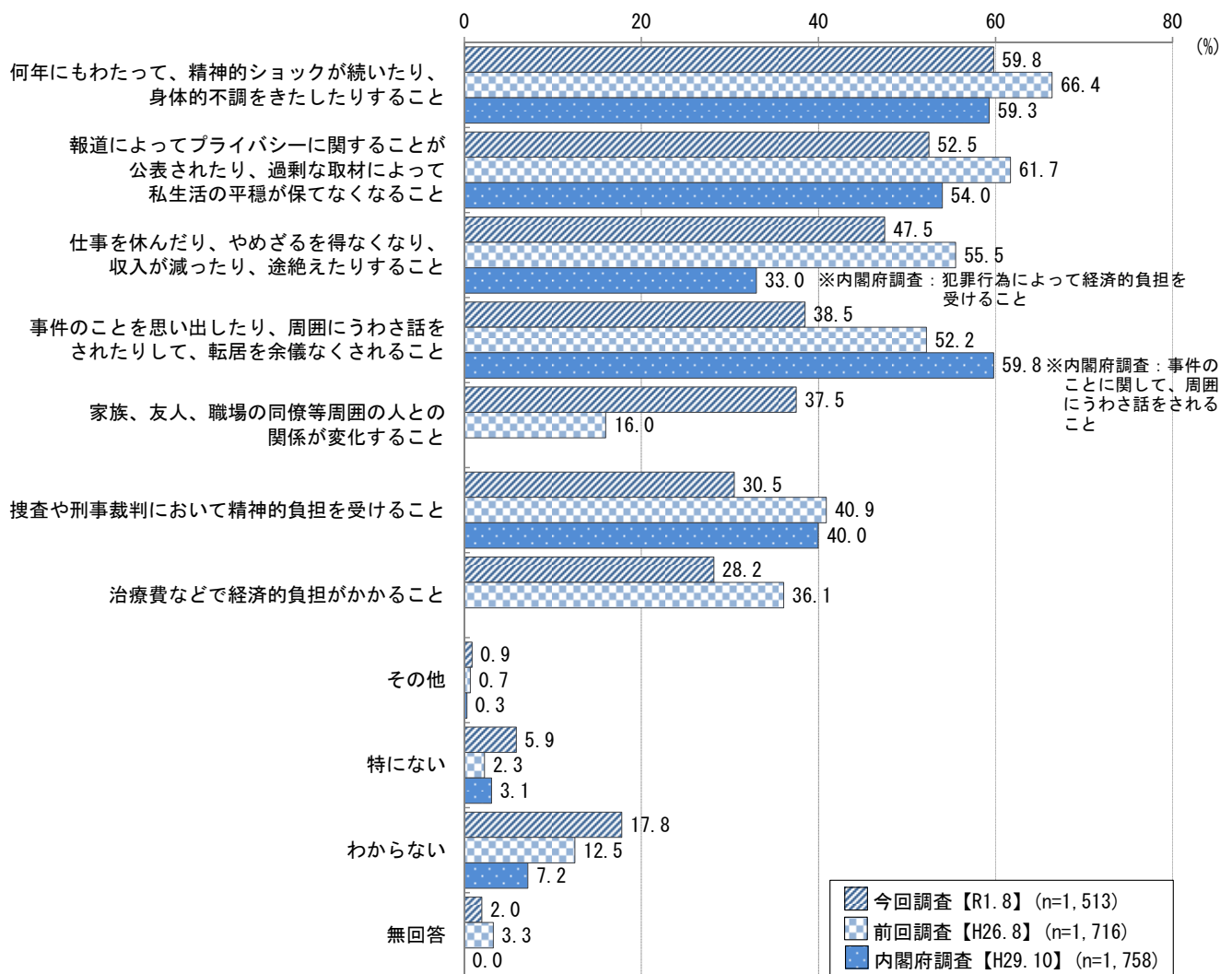
性別でみると、「わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報の掲載」は女性(35.0%)が男性(30.0%)を5.0ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「個人のプライバシーに関する情報の無断掲示」は男性で8.9ポイント減、女性で13.1ポイント減となっている。

年代別でみると、「他人を誹謗中傷する表現の掲載」、「個人のプライバシーに関する情報の無断掲示」は年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられる。

年代別について前回調査と比較すると、「わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報の掲載」は30歳代で13.6ポイント増となっている。また、「個人のプライバシーに関する情報の無断掲示」は40歳代で18.6ポイント減、「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真の掲載」は前回調査の20歳代と比較して18～29歳で13.7ポイント減となっている。

問23 あなたは、犯罪被害者及びその家族や遺族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)



「何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること」が約6割

質問を前回調査の「あなたは、犯罪被害者及びその家族や遺族に関し、現在、どのような人権問題（犯罪被害者体験を含む。）が起きていると思いますか。（✓はいくつでも）」から変更している。

犯罪被害者等に関し、起きていると思う人権問題について、「何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること」が59.8%と最も高く、次いで「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、過剰な取材によって私生活の平穏が保てなくなること」(52.5%)、「仕事を休んだり、やめざるを得なくなり、収入が減ったり、途絶えたりすることにより生活が苦しくなること」(47.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「その他」、「特になし」、「わからない」以外のすべての選択肢で減少している。

内閣府調査と比較すると、「仕事を休んだり、やめざるを得なくなり、収入が減ったり、途絶えたりすること」は14.5ポイント高くなっている。また、「事件のことを思い出したり、周囲にうわさ話をされたりして、転居を余儀なくされること」は21.3ポイント、「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」は9.5ポイント低くなっている。

図表 犯罪被害者等に関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

(%)

			件数	何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること	報道によってプライバシーに関する情報が公表された生活の平穩が保てなくなる	仕事を休んだり、やめざるを得なくなり、収入が減ったり、途絶えたりすることにより生活が苦しくなること	事件のことを思い出し、周囲にうわさ話をされたりして、転居を余儀なくされること	同僚や友人、職場の家族等周囲の人との関係が変化すること	捜査や刑事裁判に受けること	治療費などで経済的負担がかかること
全体			n= 1,513	59.8	52.5	47.5	38.5	37.5	30.5	28.2
性別	男性	今回調査	n= 619	58.3	53.3	49.6	35.2	36.8	28.3	28.4
		前回調査	n= 740	62.3	56.8	53.0	49.1	42.8	36.9	34.6
	女性	今回調査	n= 844	61.8	53.0	46.8	42.1	38.7	33.1	27.8
前回調査		n= 939	70.8	66.6	58.1	55.4	49.0	44.8	37.8	
その他・無回答		今回調査	n= 50	44.0	34.0	34.0	20.0	26.0	14.0	32.0
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	67.9	55.0	56.0	47.7	39.4	32.1	25.7
		前回調査	n= 148	75.7	61.5	62.8	62.2	59.5	50.0	32.4
	30歳代	今回調査	n= 143	69.9	59.4	60.8	51.7	52.4	35.7	35.0
		前回調査	n= 215	79.5	72.1	67.4	67.4	54.4	43.3	42.3
	40歳代	今回調査	n= 210	71.4	62.4	52.4	40.0	41.9	36.7	32.4
		前回調査	n= 254	77.2	68.9	65.0	58.7	55.1	51.2	48.0
	50歳代	今回調査	n= 237	70.9	58.2	54.0	45.1	42.2	38.4	35.0
		前回調査	n= 284	72.2	71.5	59.2	60.9	48.6	49.6	42.3
	60歳代	今回調査	n= 327	59.6	56.0	48.0	38.2	37.9	29.4	27.8
		前回調査	n= 393	64.4	62.1	50.9	49.1	42.5	38.9	32.1
	70歳代	今回調査	n= 299	48.5	46.2	37.8	32.1	28.8	24.7	21.4
		前回調査	n= 261	49.8	47.9	44.8	34.9	33.3	26.8	27.2
	80歳以上	今回調査	n= 139	35.3	28.8	32.4	23.0	27.3	20.1	18.0
		前回調査	n= 123	45.5	39.8	39.0	30.9	30.1	25.2	25.2
	無回答		今回調査	n= 49	49.0	38.8	36.7	26.5	28.6	18.4

(%)

			件数	その他	特にな	わからない	無回答
全体			n= 1,513	0.9	5.9	17.8	2.0
性別	男性	今回調査	n= 619	1.5	6.1	15.5	1.0
		前回調査	n= 740	1.2	3.1	13.9	2.3
	女性	今回調査	n= 844	0.4	5.9	19.0	1.9
前回調査		n= 939	0.3	1.7	11.1	3.0	
その他・無回答		今回調査	n= 50	2.0	2.0	26.0	18.0
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	0.0	2.8	11.9	0.0
		前回調査	n= 148	0.0	0.0	9.5	1.4
	30歳代	今回調査	n= 143	1.4	4.9	10.5	1.4
		前回調査	n= 215	0.0	0.5	6.5	1.4
	40歳代	今回調査	n= 210	1.4	1.4	9.5	1.0
		前回調査	n= 254	1.6	0.0	9.4	1.6
	50歳代	今回調査	n= 237	1.7	3.8	13.1	0.4
		前回調査	n= 284	1.1	1.4	8.1	1.8
	60歳代	今回調査	n= 327	0.6	6.4	17.4	1.2
		前回調査	n= 393	0.5	2.3	15.3	2.8
	70歳代	今回調査	n= 299	0.3	10.4	24.4	3.3
		前回調査	n= 261	1.1	6.1	19.2	3.4
	80歳以上	今回調査	n= 139	0.0	10.1	34.5	2.9
		前回調査	n= 123	0.0	7.3	18.7	9.8
	無回答		今回調査	n= 49	2.0	2.0	24.5

性別でみると、「事件のことを思い出したり、周囲にうわさ話をされたりして、転居を余儀なくされること」は女性（42.1%）が男性（35.2%）を6.9ポイント上回っている。

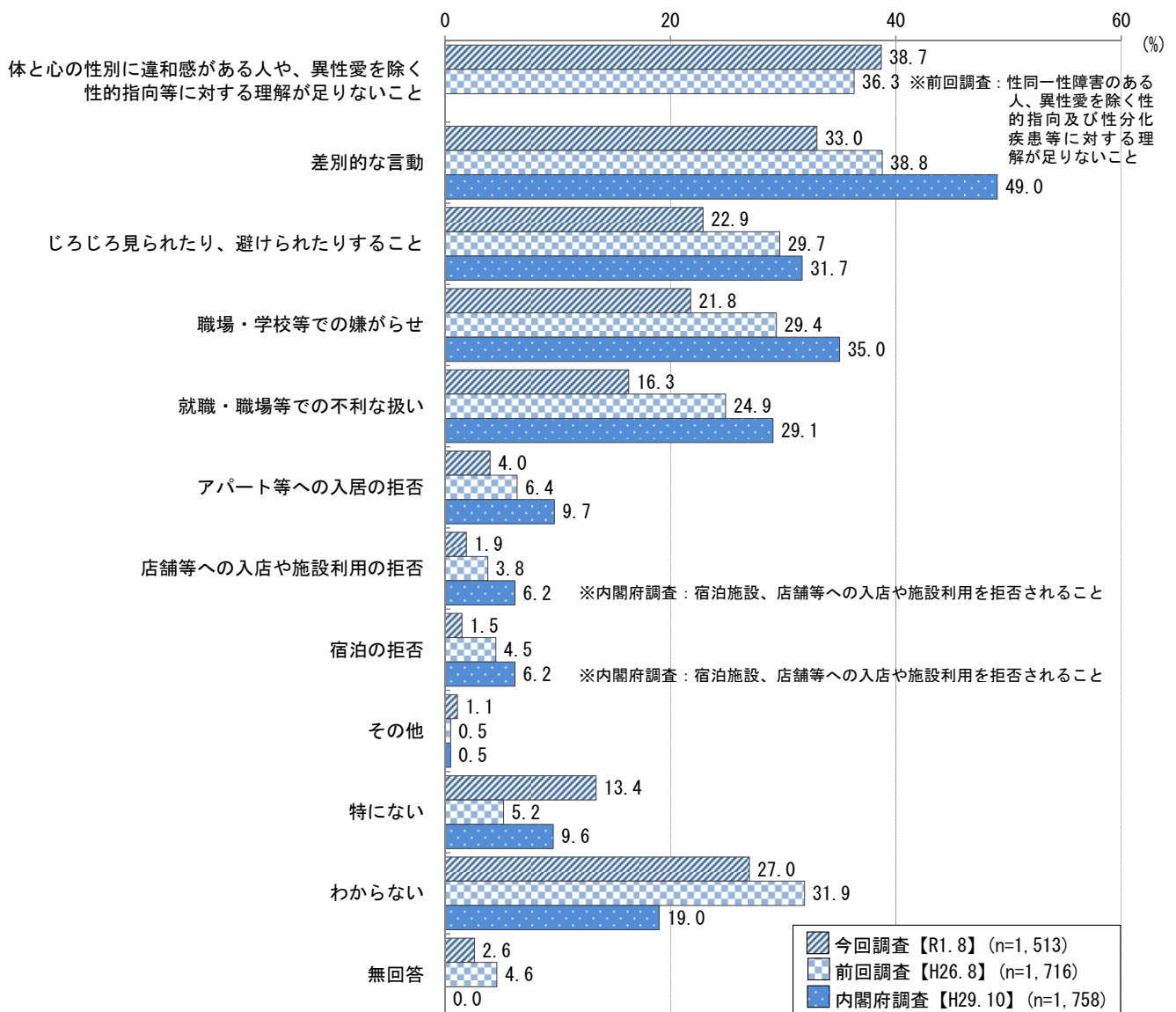
性別について前回調査と比較すると、「事件のことを思い出したり、周囲にうわさ話をされたりして転居を余儀なくされること」は、男女ともに13.0ポイント以上減少している。また、「その他」、「特

にない」、「わからない」を除いた全ての選択肢で女性は9.0ポイント以上減少している。

年代別で見ると、大きな差はみられない。

年代別について前回調査と比較すると、「事件のことを思い出したり、周囲にうわさ話をされたりして転居を余儀なくされること」は30～50歳代で、「家族、友人、職場の同僚等周囲の人との関係が変化すること」、「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」は18～29歳で大きく減少している。

問24 あなたは、体と心の性別に違和感がある人や、異性愛を除く性的指向等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)



「体と心の性別に違和感がある人や、異性愛を除く性的指向等に対する理解が足りないこと」が約4割

質問を前回調査の「あなたは性同一性障害のある人、異性愛を除く性的指向及び性分化疾患等について、どのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)」から変更している。

性同一性障害、性的指向等に関し、起きていると思う人権問題について、「体と心の性別に違和感がある人や、異性愛を除く性的指向等に対する理解が足りないこと」が38.7%と最も高く、次いで「差別的な言動」(33.0%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(22.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「差別的な言動」、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」、「職場・学校等での嫌がらせ」、「就職・職場等での不利な扱い」は5.0ポイント以上減少している。

内閣府調査と比較すると、「差別的な言動」、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」、「職場・学校等での嫌がらせ」、「就職・職場等での不利な扱い」は8.0ポイント以上低くなっている。また、「わからない」は8.0ポイント高くなっている。

図表 性同一性障害、性的指向等に関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

				(%)					
件数				理解が足りないこと	差別的な言動	りじること	職場、学校での嫌がらせ	就職・職場での不利な扱い	アパート等への入居の拒否
全体 n= 1,513				38.7	33.0	22.9	21.8	16.3	4.0
性別	男性	今回調査	n= 619	33.9	31.3	22.3	22.3	15.7	4.2
		前回調査	n= 740	31.4	38.2	27.6	28.1	23.2	5.4
	女性	今回調査	n= 844	43.1	35.1	23.8	21.8	16.9	3.3
		前回調査	n= 939	41.0	39.9	31.9	31.2	26.7	7.2
	その他・無回答	今回調査	n= 50	24.0	20.0	14.0	16.0	14.0	12.0
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	59.6	56.9	31.2	36.7	15.6	5.5
	20歳代	前回調査	n= 148	48.0	54.7	41.9	43.9	27.7	6.1
	30歳代	今回調査	n= 143	50.3	44.8	28.7	39.2	17.5	2.8
		前回調査	n= 215	51.6	52.1	40.5	34.4	29.3	5.6
	40歳代	今回調査	n= 210	47.1	41.4	28.1	25.2	16.2	2.9
		前回調査	n= 254	42.9	50.0	35.0	37.4	29.5	6.7
	50歳代	今回調査	n= 237	42.2	39.2	30.8	23.2	19.8	5.9
		前回調査	n= 284	44.7	45.1	33.1	34.2	30.3	8.5
	60歳代	今回調査	n= 327	38.8	29.7	20.8	18.7	18.3	5.2
		前回調査	n= 393	29.3	32.1	25.4	23.9	22.4	6.9
	70歳代	今回調査	n= 299	28.8	22.1	15.4	12.4	13.7	1.7
		前回調査	n= 261	23.0	23.0	18.4	20.7	18.0	4.6
	80歳以上	今回調査	n= 139	16.5	15.1	12.2	14.4	11.5	2.2
		前回調査	n= 123	17.9	20.3	18.7	17.1	17.9	5.7
	無回答	今回調査	n= 49	28.6	20.4	16.3	16.3	14.3	10.2

				(%)					
件数				店舗等への入店や施設利用の拒否	宿泊の拒否	その他	特にな	わからない	無回答
全体 n= 1,513				1.9	1.5	1.1	13.4	27.0	2.6
性別	男性	今回調査	n= 619	2.3	1.6	1.5	15.0	27.0	1.3
		前回調査	n= 740	3.6	4.5	0.5	6.1	33.2	3.9
	女性	今回調査	n= 844	1.5	1.2	0.8	12.7	26.8	2.5
		前回調査	n= 939	3.9	4.6	0.5	4.7	30.4	4.2
	その他・無回答	今回調査	n= 50	2.0	4.0	2.0	6.0	32.0	22.0
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	2.8	2.8	1.8	5.5	11.0	0.0
	20歳代	前回調査	n= 148	7.4	8.1	1.4	4.7	15.5	2.0
	30歳代	今回調査	n= 143	1.4	0.7	0.7	9.1	16.8	0.7
		前回調査	n= 215	5.6	3.7	0.5	2.3	20.5	1.4
	40歳代	今回調査	n= 210	1.9	1.4	2.4	7.6	20.0	1.0
		前回調査	n= 254	4.3	5.1	1.2	2.4	22.0	2.8
	50歳代	今回調査	n= 237	1.3	2.5	1.3	14.8	20.3	0.8
		前回調査	n= 284	2.8	4.6	0.4	4.2	26.4	2.1
	60歳代	今回調査	n= 327	3.4	1.5	0.9	15.0	29.1	1.8
		前回調査	n= 393	4.1	5.1	0.3	6.1	39.7	4.6
	70歳代	今回調査	n= 299	1.0	1.0	1.0	19.4	35.1	4.0
		前回調査	n= 261	0.4	1.1	0.4	8.0	45.6	7.3
	80歳以上	今回調査	n= 139	0.7	0.0	0.0	15.8	48.2	5.8
		前回調査	n= 123	4.1	5.7	0.0	11.4	46.3	10.6
	無回答	今回調査	n= 49	2.0	2.0	0.0	8.2	32.7	18.4

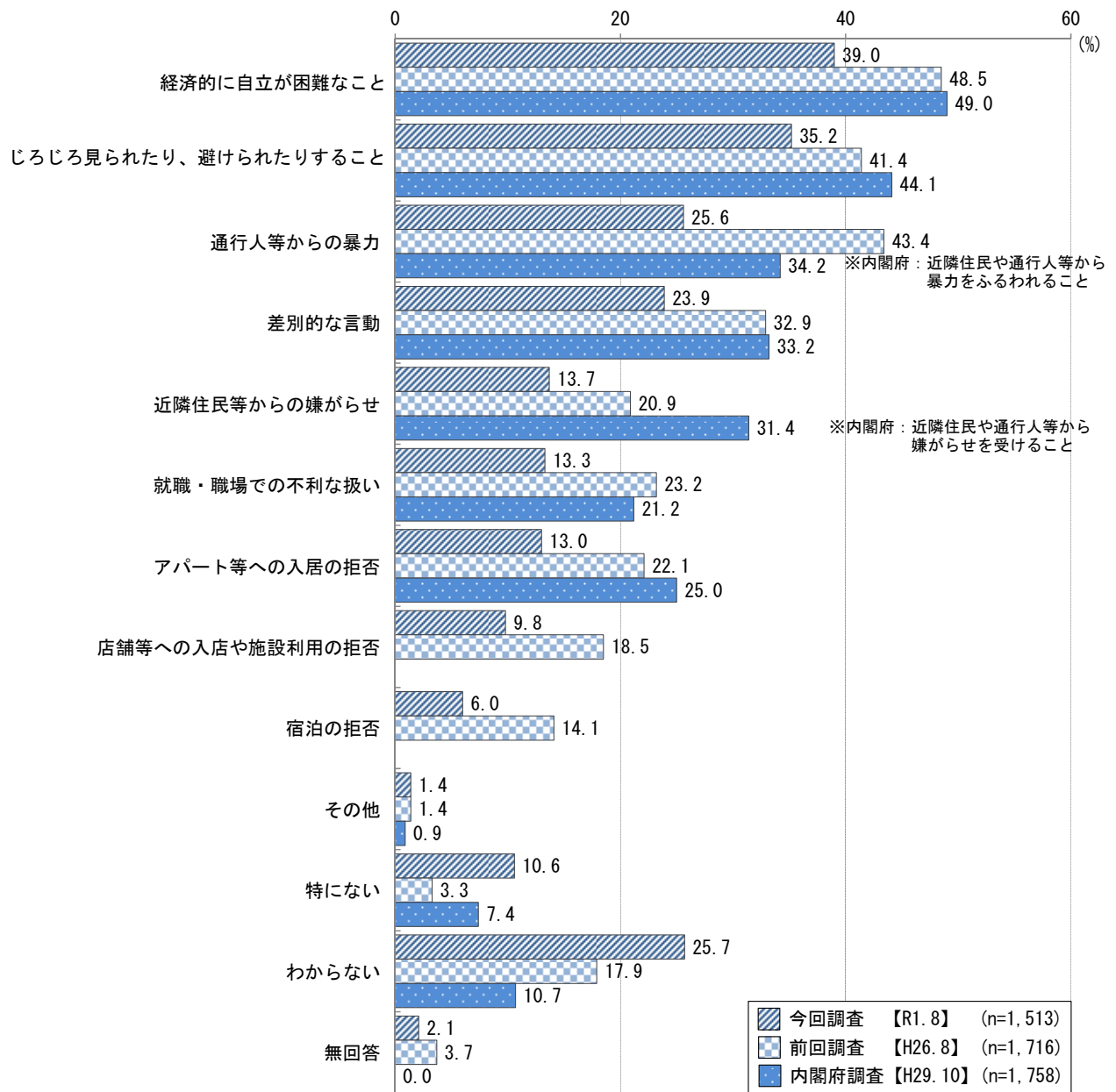
性別でみると、「体と心の性別に違和感がある人や、異性愛を除く性的指向等に対する理解が足りないこと」は女性（43.1%）が男性（33.9%）を9.2ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「就職・職場での不利な扱い」は女性で9.8ポイント減、「職場、学校での嫌がらせ」は女性で9.4ポイント減となっている。

年代別でみると、「体と心の性別に違和感がある人や、異性愛を除く性的指向等に対する理解が足りないこと」、「差別的な言動」、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられる。

年代別について前回調査と比較すると、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は18～29歳、30歳代で、「職場、学校での嫌がらせ」は40歳代、50歳代で、「就職・職場での不利な扱い」は18～50歳代で大きく減少している。

問25 あなたは、ホームレス(路上生活者)に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。
(✓はいくつでも)



「経済的に自立が困難なこと」が約4割

質問を前回調査の「あなたは、ホームレス(路上生活者)に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)」から変更している。

ホームレスに関し、起きていると思う人権問題について、「経済的に自立が困難なこと」が39.0%と最も高く、次いで「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(35.2%)、「通行人等からの暴力」(25.6%)となっている。

前回調査、内閣府調査と比較すると、「その他」、「特にない」、「わからない」以外の選択肢で今回調査が前回調査と内閣府調査を下回っている。また、「わからない」と回答した割合は前回調査より7.8ポイント、内閣府調査より15.0ポイント高くなっている。

図表 ホームレスに関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

			件数	経済的に自立が困難なこと	り、じろじろ見られたりすること	通行人等からの暴力	差別的な言動	近隣住民等からの嫌がらせ	就職・職場での不利	アパート等への入居の拒否	
全体			n= 1,513	39.0	35.2	25.6	23.9	13.7	13.3	13.0	
性別	男性	今回調査	n= 619	35.9	33.3	25.0	24.1	17.3	13.7	12.1	
		前回調査	n= 740	43.2	37.4	41.2	31.2	23.2	20.3	19.1	
	女性	今回調査	n= 844	41.8	37.3	26.2	24.2	11.1	12.7	13.4	
		前回調査	n= 939	52.9	44.7	45.8	34.6	19.2	25.6	24.8	
	その他・無回答	今回調査	n= 50	30.0	24.0	24.0	18.0	12.0	18.0	16.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	42.2	50.5	18.3	39.4	11.0	9.2	7.3	
		前回調査	n= 148	47.3	55.4	51.4	43.9	23.0	27.0	16.2	
	30歳代	今回調査	n= 143	45.5	44.1	34.3	31.5	14.7	13.3	11.9	
		前回調査	n= 215	47.4	49.3	51.2	32.1	20.9	27.0	25.6	
	40歳代	今回調査	n= 210	40.0	41.9	29.0	24.3	12.4	12.9	10.0	
		前回調査	n= 254	50.0	48.8	52.4	33.5	22.4	23.6	20.5	
	50歳代	今回調査	n= 237	40.5	41.4	35.0	21.1	15.2	14.3	17.7	
		前回調査	n= 284	52.1	44.4	48.6	39.8	19.0	21.1	22.5	
	60歳代	今回調査	n= 327	39.4	35.8	28.1	25.7	13.1	13.5	13.5	
		前回調査	n= 393	53.9	39.7	39.2	30.8	19.6	21.4	22.6	
	70歳代	今回調査	n= 299	37.8	25.8	15.7	19.4	13.0	13.0	13.4	
		前回調査	n= 261	46.0	29.5	32.2	30.3	19.9	22.2	22.2	
	80歳以上	今回調査	n= 139	30.9	16.5	17.3	15.8	16.5	14.4	11.5	
		前回調査	n= 123	30.9	21.1	32.5	20.3	27.6	25.2	26.8	
		無回答	今回調査	n= 49	28.6	24.5	24.5	18.4	14.3	16.3	16.3

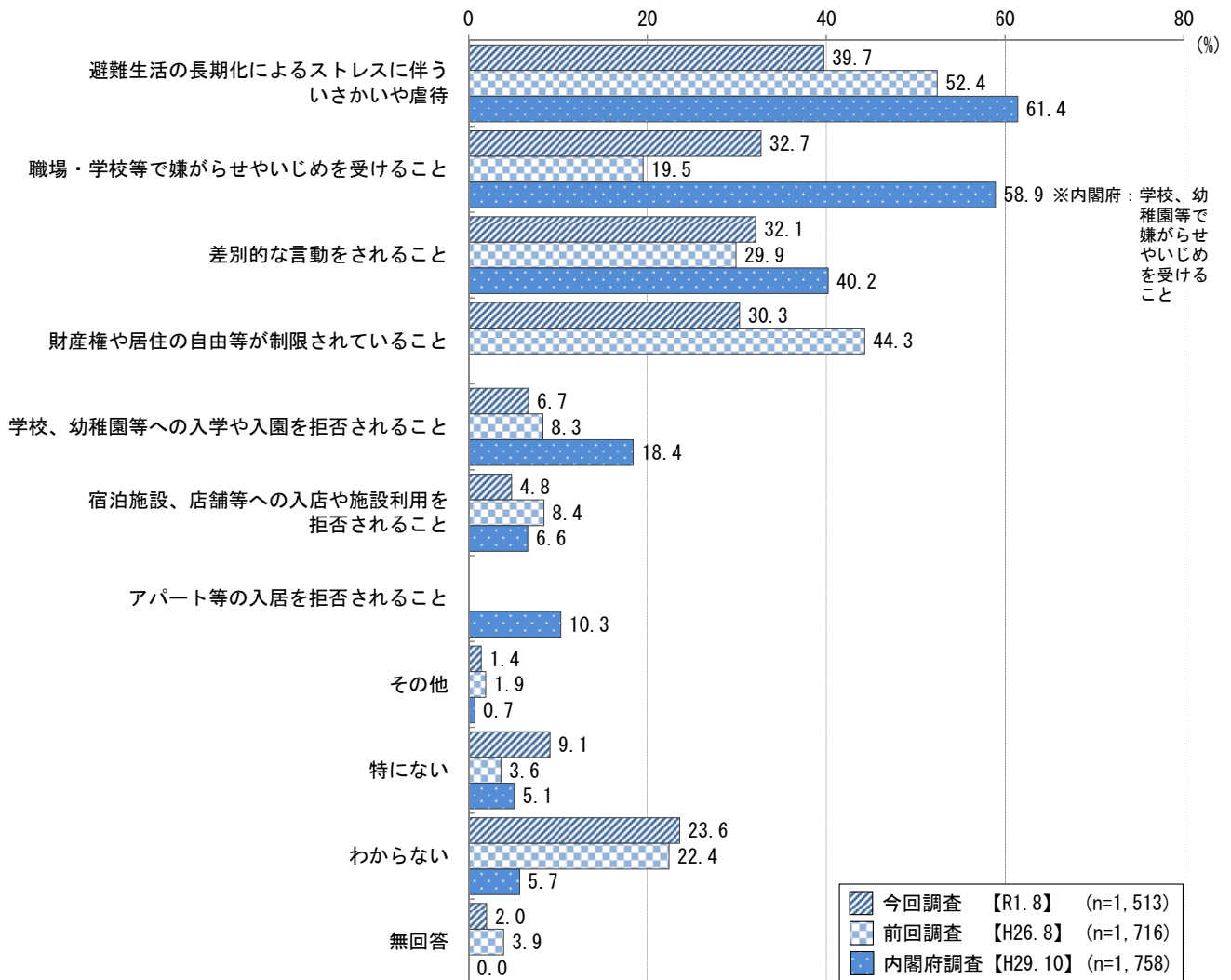
			件数	店舗等への入店や施設利用の拒否	宿泊の拒否	その他	特にな	わからない	無回答	
全体			n= 1,513	9.8	6.0	1.4	10.6	25.7	2.1	
性別	男性	今回調査	n= 619	9.9	6.1	2.4	14.7	23.9	1.3	
		前回調査	n= 740	18.8	13.5	1.4	4.7	18.4	3.4	
	女性	今回調査	n= 844	10.2	5.9	0.6	7.9	26.8	1.9	
		前回調査	n= 939	18.5	14.6	1.2	2.3	17.8	3.2	
	その他・無回答	今回調査	n= 50	4.0	6.0	2.0	6.0	30.0	16.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	8.3	4.6	0.0	6.4	15.6	0.0	
		前回調査	n= 148	17.6	10.1	2.0	1.4	14.9	0.7	
	30歳代	今回調査	n= 143	16.1	6.3	0.0	11.9	16.1	0.7	
		前回調査	n= 215	21.9	14.4	0.5	3.7	15.8	1.4	
	40歳代	今回調査	n= 210	7.6	3.8	1.4	6.2	23.8	1.0	
		前回調査	n= 254	24.0	15.0	1.6	2.4	11.8	3.1	
	50歳代	今回調査	n= 237	13.5	7.6	2.1	12.2	21.5	0.4	
		前回調査	n= 284	22.2	12.3	2.5	2.1	14.8	1.4	
	60歳代	今回調査	n= 327	9.5	6.7	2.4	11.0	24.8	1.2	
		前回調査	n= 393	17.6	14.5	0.5	3.3	19.8	3.8	
	70歳代	今回調査	n= 299	9.7	5.0	1.0	13.4	33.1	3.0	
		前回調査	n= 261	12.3	14.2	1.5	6.1	22.2	4.2	
	80歳以上	今回調査	n= 139	3.6	7.2	0.7	11.5	37.4	5.8	
		前回調査	n= 123	13.0	20.3	0.8	4.9	30.9	10.6	
		無回答	今回調査	n= 49	8.2	8.2	2.0	6.1	32.7	14.3

性別でみると、「経済的に自立が困難なこと」は女性（41.8%）が男性（35.9%）を 5.9 ポイント、「近隣住民等からの嫌がらせ」は男性（17.3%）が女性（11.1%）を 6.2 ポイント上回っている。性別について前回調査と比較すると、「通行人等からの暴力」は男女ともに 15.0 ポイント以上低くなっている。

年代別でみると、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」と「差別的な言動」は年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられる。

年代別について前回調査と比較すると、「通行人等からの暴力」は18～29歳、40歳代で、「差別的な言動」は50歳代で、「就職・職場での不利な扱い」は18～29歳で大きく減少している。

問26 あなたは、東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、現在、被災者にどのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)



「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」が約4割

質問を前回調査の「あなたは、東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、現在、被災者にどのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)」から変更している。

東日本大震災等の被災者に関し、起きていると思う人権問題について、「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」が39.7%と最も高く、次いで「職場・学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(32.7%)、「差別的な言動をされること」(32.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「職場・学校等で嫌がらせやいじめを受けること」が13.2ポイント増となっており「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」と「財産権や居住の自由等が制限されていること」は大きく減少している。

内閣府調査と比較すると、「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」は21.7ポイント、「職場・学校等で嫌がらせやいじめを受けること」は26.2ポイント低くなっている。

図表 東日本大震災等の被災者に関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

			件数	いよるさ さか かい や 虐待	避難生 活の レ ス に 伴 う	職 場 、 学 校 等 で 嫌 が ら せ や い じ め を 受 け が る こ と	差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と	等 財 産 権 や 居 住 の 自 由 が 制 限 さ れ て い る こ と	入 学 校 、 幼 稚 園 等 へ の 入 学 や 入 園 を 拒 否 さ る こ と
全 体			n= 1,513	39.7	32.7	32.1	30.3	6.7	
性 別	男 性	今回調査	n= 619	40.4	32.8	31.3	29.7	7.1	
		前回調査	n= 740	51.9	18.5	28.2	43.2	9.2	
	女 性	今回調査	n= 844	39.8	32.7	33.1	30.7	6.3	
		前回調査	n= 939	53.4	20.8	31.9	45.6	7.7	
その他・無回答		今回調査	n= 50	28.0	30.0	24.0	32.0	8.0	
年 代 別	18~29歳	今回調査	n= 109	44.0	28.4	37.6	23.9	9.2	
	20歳代	前回調査	n= 148	55.4	21.6	40.5	43.9	16.9	
	30歳代	今回調査	n= 143	43.4	34.3	33.6	18.9	8.4	
		前回調査	n= 215	58.1	21.4	33.5	45.1	12.1	
	40歳代	今回調査	n= 210	45.7	36.2	37.1	28.6	6.7	
		前回調査	n= 254	57.1	22.4	32.7	42.1	9.1	
	50歳代	今回調査	n= 237	38.0	38.4	39.2	34.6	8.9	
		前回調査	n= 284	57.0	26.1	33.8	49.3	8.1	
	60歳代	今回調査	n= 327	42.8	35.5	32.1	34.6	7.0	
		前回調査	n= 393	53.2	15.5	28.5	49.6	5.3	
	70歳代	今回調査	n= 299	38.5	26.8	26.8	32.8	3.3	
		前回調査	n= 261	43.7	17.6	24.5	37.9	6.1	
	80歳以上	今回調査	n= 139	27.3	27.3	20.1	27.3	6.5	
		前回調査	n= 123	38.2	12.2	17.1	35.8	4.9	
	無回答		今回調査	n= 49	22.4	26.5	24.5	30.6	4.1

			件数	拒 否 さ れ る こ と	宿 泊 施 設 、 店 舗 等 へ の 入 店 や 施 設 利 用 を 拒 否 さ れ る こ と	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体			n= 1,513	4.8	1.4	9.1	23.6	2.0	
性 別	男 性	今回調査	n= 619	4.5	2.1	11.6	20.7	1.6	
		前回調査	n= 740	9.7	1.9	3.9	22.7	3.6	
	女 性	今回調査	n= 844	5.1	0.8	7.5	25.4	1.9	
		前回調査	n= 939	7.5	1.7	3.2	22.3	3.3	
その他・無回答		今回調査	n= 50	4.0	2.0	6.0	30.0	10.0	
年 代 別	18~29歳	今回調査	n= 109	4.6	0.0	7.3	18.3	0.0	
	20歳代	前回調査	n= 148	10.8	0.0	6.8	15.5	0.7	
	30歳代	今回調査	n= 143	6.3	1.4	6.3	26.6	0.7	
		前回調査	n= 215	8.8	1.4	1.9	20.0	0.9	
	40歳代	今回調査	n= 210	4.8	1.0	6.7	20.0	2.4	
		前回調査	n= 254	11.0	2.0	3.9	20.5	3.5	
	50歳代	今回調査	n= 237	6.3	1.7	10.1	23.6	0.4	
		前回調査	n= 284	8.5	2.5	3.5	16.2	1.4	
	60歳代	今回調査	n= 327	4.3	2.4	9.2	18.3	1.5	
		前回調査	n= 393	7.9	1.8	1.8	24.7	3.8	
	70歳代	今回調査	n= 299	4.3	1.0	11.0	25.8	3.3	
		前回調査	n= 261	6.5	2.3	5.4	29.9	3.8	
	80歳以上	今回調査	n= 139	4.3	0.7	12.2	33.8	3.6	
		前回調査	n= 123	5.7	2.4	3.3	30.1	13.8	
	無回答		今回調査	n= 49	2.0	2.0	6.1	34.7	8.2

性別でみると、大きな差はみられない。

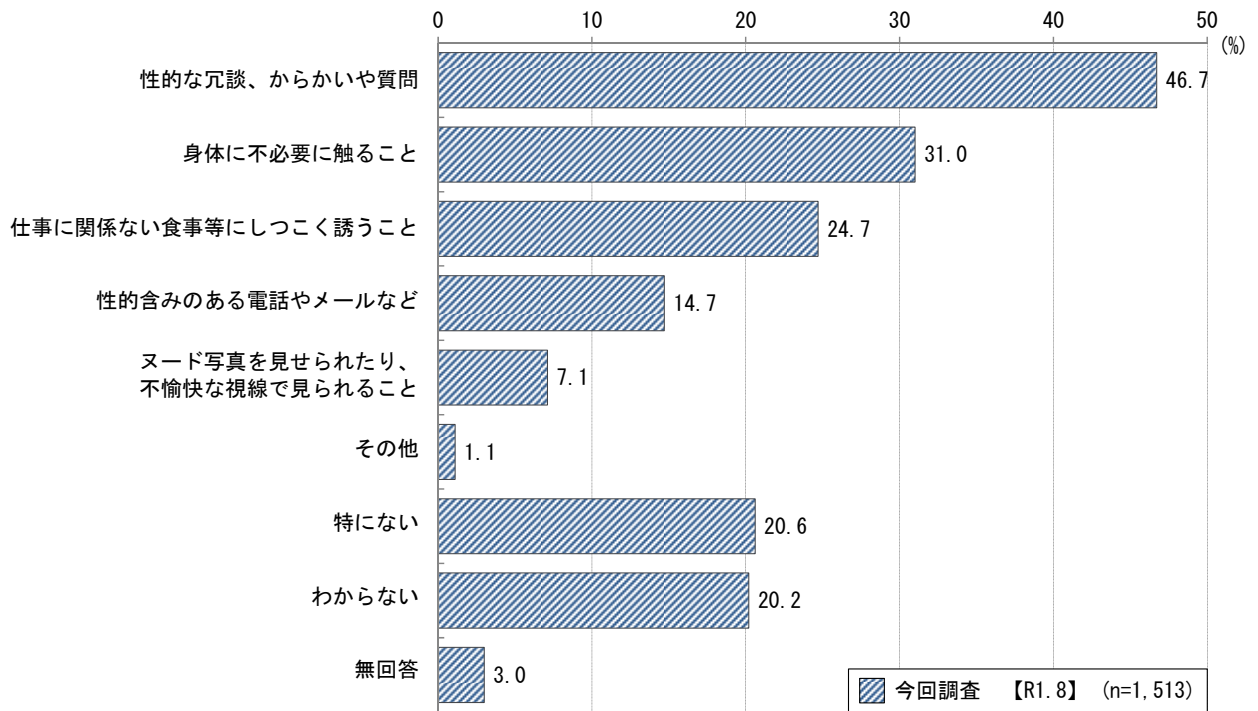
性別について前回調査と比較すると、「財産権や居住の自由等が制限されていること」は女性で 14.9 ポイント減、男性で 13.5 ポイント減となっている。また、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」は、男性で 14.3 ポイント増、女性で 11.9 ポイント増となっている。

年代別でみると、「差別的な言動をされること」は80歳以上で約2割と他の年代に比べて低くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」がすべての年代で増加しており、特に60歳代では35.5%と前回調査の15.5%に比べて20.0ポイント増となっている。また、「財産権や居住の自由等が制限されていること」はすべての年代で減少しており、特に、30歳代では18.9%と、前回調査の45.1%と比べて、26.2ポイント減となっている。

新

問27 あなたは、職場などでセクシュアル・ハラスメントに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)



「性的な冗談、からかいや質問」が4割台半ば

セクシュアル・ハラスメントに関し、起きていると思う人権問題について、「性的な冗談、からかいや質問」が46.7%と最も高く、次いで「身体に不必要に触ること」(31.0%)、「仕事に関係ない食事等にしつこく誘うこと」(24.7%)となっている。

図表 セクシュアル・ハラスメントに関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

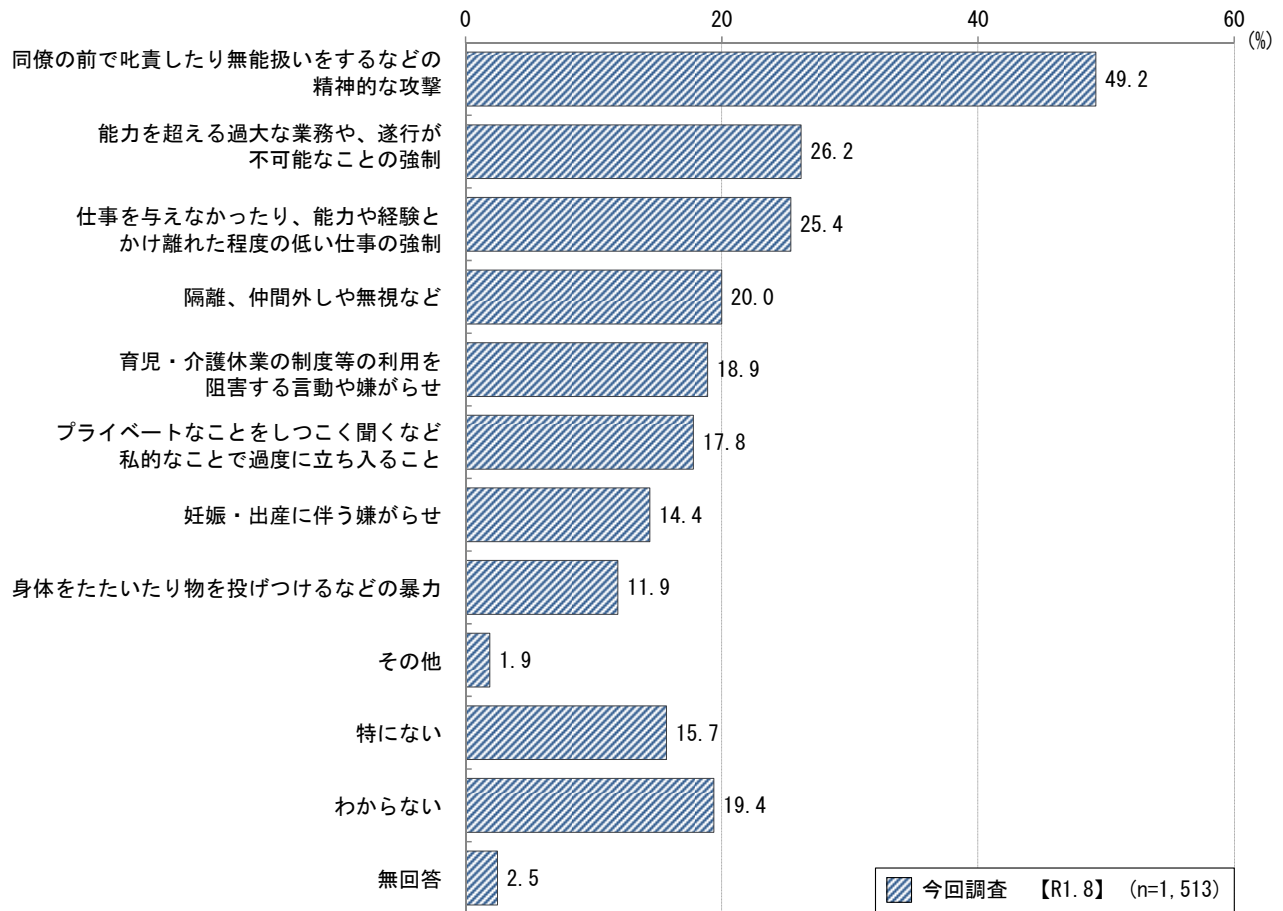
				(%)										
件数				性的な冗談、からかい	身体的に不必要に触れること	仕事にしろ関係なく誘うこと	性的含みのあるメールなど	線られたり、写真を見せられたり、不愉快な視線	その他	特にな	わからない	無回答		
全 体 n= 1,513				46.7	31.0	24.7	14.7	7.1	1.1	20.6	20.2	3.0		
性別	男性	今回調査	n= 619	48.5	30.9	25.2	16.3	8.1	1.5	22.5	16.6	1.5		
	女性	今回調査	n= 844	46.4	31.4	25.0	13.5	6.3	0.7	19.1	22.5	3.4		
	その他・無回答	今回調査	n= 50	28.0	26.0	12.0	14.0	8.0	2.0	22.0	26.0	16.0		
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	61.5	43.1	37.6	23.9	7.3	1.8	16.5	13.8	0.0		
	30歳代	今回調査	n= 143	59.4	41.3	37.8	22.4	12.6	1.4	11.9	12.6	0.7		
	40歳代	今回調査	n= 210	55.2	31.9	23.8	16.7	6.7	1.4	18.1	11.4	3.3		
	50歳代	今回調査	n= 237	52.3	37.1	28.3	14.8	8.4	1.7	23.2	13.5	0.4		
	60歳代	今回調査	n= 327	48.0	29.4	24.2	11.9	5.8	1.2	22.6	18.0	2.4		
	70歳代	今回調査	n= 299	36.8	24.1	18.7	10.7	4.3	0.3	21.7	31.1	4.3		
	80歳以上	今回調査	n= 139	23.0	19.4	13.7	10.8	7.2	0.0	23.0	38.1	6.5		
無回答				今回調査	n= 49	30.6	26.5	14.3	16.3	10.2	0.0	24.5	24.5	14.3

性別でみると、大きな差はみられない。

年代別でみると、年代が上がるにつれ「性的な冗談、からかいや質問」が低くなっている。また、「仕事に関係ない食事等にしつこく誘うこと」は18～29歳、30歳代で約4割と他の年代に比べて高くなっている。

新

問28 あなたは、職場などでパワー・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントなどに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)



「同僚の前で叱責したり無能扱いをするなどの精神的な攻撃」が約5割

様々なハラスメントに関し、起きていると思う人権問題について、「同僚の前で叱責したり無能扱いをするなどの精神的な攻撃」が49.2%と最も高く、次いで「能力を超える過大な業務や、遂行が不可能なことの強制」(26.2%)、「仕事を与えなかったり、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事の強制」(25.4%)となっている。

図表 様々なハラスメントに関し、起きていると思う人権問題【性・年代別】

				(%)											
件数				どりの無能の精神的な攻撃	同僚の前で叱責する	業務を遂行する際の強行	能力を越える過大な	業務上の強行	仕事に与える経験の低さ	視覚的・聴覚的・身体的な	隔離・仲間外しや無	育児・介護休業の制限	度等の利用を阻害す	私的なことで過度に	プライバシーを侵害す
全体 n= 1,513				49.2	26.2	25.4	20.0	18.9	17.8						
性別	男性	今回調査	n= 619	54.8	28.9	28.3	18.1	16.0	19.9						
	女性	今回調査	n= 844	46.1	25.0	23.3	21.7	21.6	16.7						
	その他・無回答	今回調査	n= 50	32.0	14.0	24.0	14.0	10.0	12.0						
年齢別	18~29歳	今回調査	n= 109	65.1	44.0	23.9	22.9	26.6	29.4						
	30歳代	今回調査	n= 143	65.7	39.2	35.7	34.3	32.2	25.9						
	40歳代	今回調査	n= 210	53.8	33.3	27.1	21.4	20.5	16.2						
	50歳代	今回調査	n= 237	59.9	27.8	30.0	26.2	16.5	21.9						
	60歳代	今回調査	n= 327	47.4	24.2	28.7	15.0	20.8	15.3						
	70歳代	今回調査	n= 299	39.8	18.4	19.1	16.7	13.0	14.4						
	80歳以上	今回調査	n= 139	24.5	10.8	12.2	10.1	10.8	10.8						
	無回答	今回調査	n= 49	32.7	16.3	22.4	16.3	14.3	14.3						

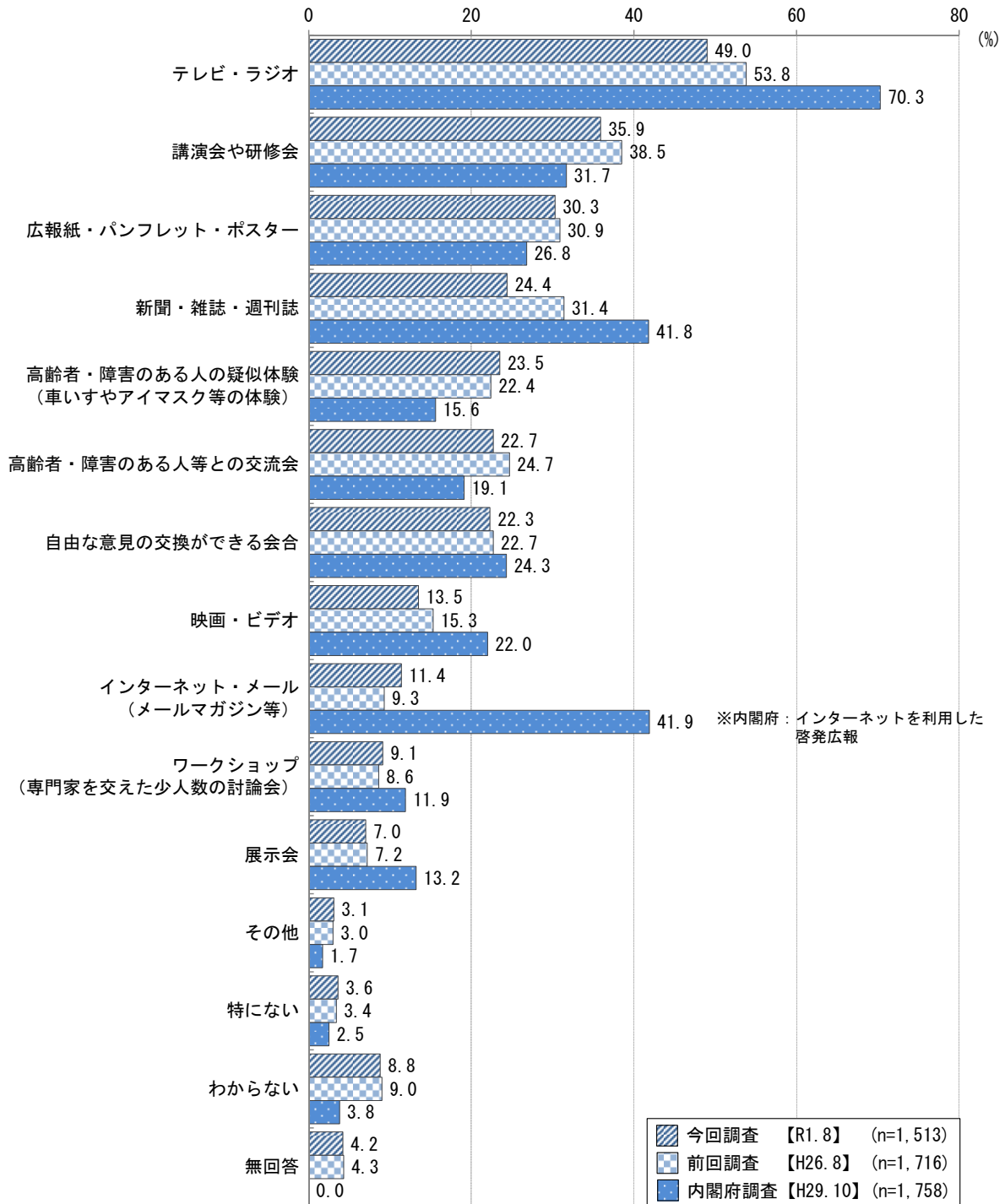
				(%)						
件数				妊娠・出産に伴う嫌	暴力を身投げをつけたるなどの物	その他	特にな	わからない	無回答	
全体 n= 1,513				14.4	11.9	1.9	15.7	19.4	2.5	
性別	男性	今回調査	n= 619	12.6	14.1	1.9	16.3	16.5	1.5	
	女性	今回調査	n= 844	16.0	10.5	1.9	15.0	21.4	2.6	
	その他・無回答	今回調査	n= 50	10.0	8.0	2.0	20.0	22.0	14.0	
年齢別	18~29歳	今回調査	n= 109	23.9	17.4	1.8	5.5	11.9	0.9	
	30歳代	今回調査	n= 143	28.7	16.8	1.4	8.4	8.4	0.7	
	40歳代	今回調査	n= 210	14.8	13.8	2.9	18.6	8.1	2.4	
	50歳代	今回調査	n= 237	12.2	15.6	4.2	13.9	11.8	0.4	
	60歳代	今回調査	n= 327	15.0	10.1	1.8	17.4	20.8	1.8	
	70歳代	今回調査	n= 299	8.7	9.0	0.3	17.7	28.8	3.7	
	80歳以上	今回調査	n= 139	7.2	5.0	0.7	21.6	41.7	5.0	
	無回答	今回調査	n= 49	12.2	8.2	2.0	16.3	24.5	12.2	

性別で見ると、「同僚の前で叱責したり無能扱いをするなどの精神的な攻撃」は男性（54.8%）が女性（46.1%）を8.7ポイント上回っている。

年代別で見ると、「同僚の前で叱責したり無能扱いをするなどの精神的な攻撃」は18~29歳、30歳代、50歳代で6割前後、「妊娠・出産に伴う嫌がらせ」は18~29歳、30歳代で2割台とそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。

3 人権課題の解決のための方策について

問29 あなたは、人権啓発を推進するためには、県民に対してどのような啓発広報活動が効果的だと思いますか。(✓はいくつでも)



「テレビ・ラジオ」が約5割

人権啓発を推進するために効果的だと思う啓発活動について、「テレビ・ラジオ」が49.0%と最も高く、次いで「講演会や研修会」(35.9%)、「広報紙・パンフレット・ポスター」(30.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「新聞・雑誌・週刊誌」は7.0ポイント減となっている。

内閣府調査と比較すると、「インターネット・メール（メールマガジン等）」は30.5ポイント、「テレビ・ラジオ」は21.3ポイント、「新聞・雑誌・週刊誌」は17.4ポイント低くなっている。

図表 人権啓発を推進するために効果的だと思う啓発活動【性・年代別】

			(%)									
件数			テレビ・ラジオ	講演会や研修会	広報紙・パンフレット・ポスター	新聞・雑誌・週刊誌	体験 （人 の 疑 似 体 験 車 い す や ア イ マ ス ク 等 の 体 験）	高齢者・障害のある人等との交流会	自由な意見の交換ができる会合	映画・ビデオ		
全体			n= 1,513	49.0	35.9	30.3	24.4	23.5	22.7	22.3	13.5	
性別	男性	今回調査	n= 619	49.3	35.7	31.8	23.9	20.5	18.9	20.7	13.1	
		前回調査	n= 740	51.6	36.8	29.9	31.9	19.2	22.3	23.1	14.9	
	女性	今回調査	n= 844	51.5	38.0	30.9	26.2	26.8	26.7	24.9	14.6	
前回調査		n= 939	56.3	40.4	32.3	31.5	25.2	26.9	22.8	16.0		
	その他・無回答	今回調査	n= 50	4.0	2.0	0.0	0.0	6.0	2.0	0.0	2.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	56.9	30.3	27.5	19.3	23.9	12.8	11.0	24.8	
		前回調査	n= 148	61.5	38.5	29.7	32.4	22.3	23.6	18.9	21.6	
	20歳代	今回調査	n= 143	50.3	33.6	37.1	22.4	28.7	21.7	14.0	15.4	
		前回調査	n= 215	62.3	31.2	33.5	31.2	29.3	26.0	17.2	20.5	
	40歳代	今回調査	n= 210	48.6	28.1	29.5	21.4	28.6	19.0	17.1	13.8	
		前回調査	n= 254	56.3	38.2	28.7	31.5	25.2	22.8	17.7	15.0	
	50歳代	今回調査	n= 237	59.1	34.6	28.7	30.8	27.0	24.5	21.9	23.2	
		前回調査	n= 284	55.6	43.0	28.2	34.2	24.3	27.8	23.6	17.6	
	60歳代	今回調査	n= 327	52.3	37.9	31.2	23.2	24.2	23.2	26.3	11.6	
		前回調査	n= 393	50.9	36.9	35.1	30.8	19.1	24.7	23.7	14.5	
	70歳代	今回調査	n= 299	43.5	43.8	33.1	27.4	18.4	29.1	33.1	7.0	
		前回調査	n= 261	46.4	42.9	31.4	28.7	20.3	24.9	30.7	10.3	
	80歳以上	今回調査	n= 139	45.3	45.3	30.9	28.1	19.4	25.9	23.7	8.6	
		前回調査	n= 123	51.2	39.8	27.6	35.8	17.1	22.0	27.6	9.8	
		無回答	今回調査	n= 49	4.1	6.1	2.0	2.0	8.2	2.0	0.0	2.0

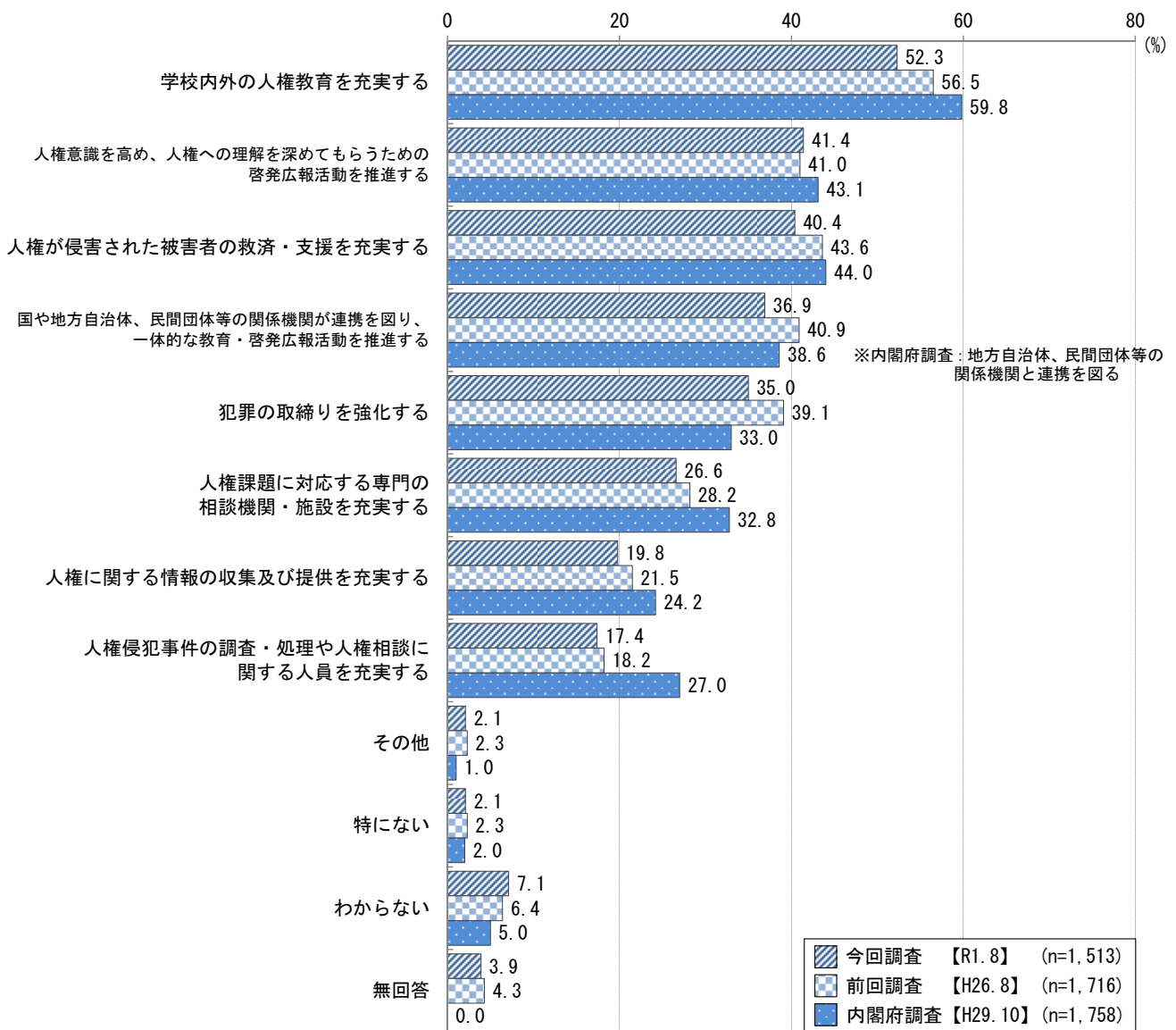
			(%)								
件数			インターネット （メール・ネット・マガジン等）	ワークショップ （専門家と交えた少人数の討論会）	展示会	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答		
全体			n= 1,513	11.4	9.1	7.0	3.1	3.6	8.8	4.2	
性別	男性	今回調査	n= 619	12.8	8.7	8.4	4.0	4.7	9.4	1.1	
		前回調査	n= 740	10.1	7.3	7.8	2.4	5.0	9.9	3.4	
	女性	今回調査	n= 844	10.8	10.0	6.4	2.5	2.8	8.8	1.7	
前回調査		n= 939	8.8	9.8	6.8	3.4	2.2	8.1	4.2		
	その他・無回答	今回調査	n= 50	4.0	0.0	0.0	2.0	4.0	2.0	84.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	29.4	7.3	6.4	4.6	2.8	11.9	0.0	
		前回調査	n= 148	16.9	10.8	8.8	6.8	0.7	7.4	0.7	
	30歳代	今回調査	n= 143	15.4	9.1	7.7	4.9	4.2	7.7	0.7	
		前回調査	n= 215	16.3	6.0	7.9	1.9	3.3	8.4	1.9	
	40歳代	今回調査	n= 210	19.0	9.5	7.6	5.2	3.8	10.0	1.0	
		前回調査	n= 254	12.6	8.3	10.2	3.9	2.4	5.1	4.3	
	50歳代	今回調査	n= 237	14.3	11.4	10.1	5.5	1.7	7.2	0.4	
		前回調査	n= 284	9.5	11.3	6.3	4.2	2.8	9.9	2.1	
	60歳代	今回調査	n= 327	7.6	9.5	4.9	1.8	2.1	8.9	1.2	
		前回調査	n= 393	7.6	7.1	8.4	2.8	2.8	9.4	4.3	
	70歳代	今回調査	n= 299	5.7	9.0	6.0	1.0	5.7	7.0	3.3	
		前回調査	n= 261	2.7	9.2	3.4	0.8	6.9	10.0	4.6	
	80歳以上	今回調査	n= 139	1.4	8.6	10.1	0.0	6.5	14.4	3.6	
		前回調査	n= 123	1.6	9.8	4.1	0.8	5.7	13.0	11.4	
		無回答	今回調査	n= 49	0.0	0.0	0.0	4.1	2.0	2.0	81.6

性別でみると、「高齢者・障害のある人の疑似体験（車いすやアイマスク等の体験）」は女性（26.8%）が男性（20.5%）を6.3ポイント、「高齢者・障害のある人等との交流会」は女性（26.7%）が男性（18.9%）を7.8ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「新聞・雑誌・週刊誌」は男女ともに低くなっている。

年代別で見ると、「自由な意見の交換ができる会合」は70歳代で3割台半ば、「インターネット・メール（メールマガジン等）」は18～29歳で約3割とそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。
年代別について前回調査と比較すると、「新聞・雑誌・週刊誌」はすべての年代で減少している。

問30 あなたは、今後、県は、これらの人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(✓はいくつでも)



「学校内外の人権教育を充実する」が5割超

人権課題の解決のための方策について、「学校内外の人権教育を充実する」が52.3%と最も高く、次いで「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」(41.4%)、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」(40.4%)となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

内閣府調査と比較すると、「人権侵犯事件の調査・処理や人権相談に関する人員を充実する」は9.6ポイント低くなっている。

図表 人権課題の解決のための方策【性・年代別】

		件数	を学校内外の人権教育を充実する	報もらうための啓発広	人権意識を高め、人権への理解を深めて人権活動を推進する	害者の救済・支援を充実する	進する啓発広報活動を推進する	国や地方自治体、民間団体等の関係機関が連携を図り、一体的な活動を推進する	犯罪の取締りを強化する	人権課題に専門の相談・対応する
全体		n= 1,513	52.3	41.4	40.4	36.9	35.0	26.6		
性別	男性	今回調査	n= 619	52.3	45.6	38.1	39.4	33.8	26.0	
		前回調査	n= 740	54.9	41.9	38.5	37.8	35.3	27.0	
	女性	今回調査	n= 844	54.9	40.4	44.3	37.0	37.6	28.4	
前回調査		n= 939	59.0	40.8	47.8	43.7	42.7	29.1		
	その他・無回答	今回調査	n= 50	8.0	6.0	2.0	6.0	6.0	4.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	56.9	37.6	40.4	30.3	39.4	21.1	
		前回調査	n= 148	55.4	37.8	48.0	26.4	37.2	29.7	
	20歳代	今回調査	n= 143	60.8	34.3	43.4	30.8	45.5	23.8	
		前回調査	n= 215	62.8	35.8	45.1	41.9	47.0	26.5	
	30歳代	今回調査	n= 210	58.6	34.8	37.6	30.0	37.1	27.1	
		前回調査	n= 254	65.0	39.8	46.9	39.8	42.5	28.3	
	40歳代	今回調査	n= 237	56.5	38.8	48.9	35.9	40.9	35.9	
		前回調査	n= 284	61.3	46.5	50.7	45.1	42.3	37.0	
	50歳代	今回調査	n= 327	56.0	46.8	43.1	45.0	29.7	27.8	
		前回調査	n= 393	52.7	40.2	42.7	44.8	38.4	24.7	
	60歳代	今回調査	n= 299	45.5	48.5	40.1	42.8	31.1	25.4	
		前回調査	n= 261	51.0	44.1	35.6	41.8	32.2	27.2	
	70歳代	今回調査	n= 139	46.0	50.4	34.5	41.0	38.1	25.2	
		前回調査	n= 123	51.2	43.1	32.5	38.2	35.0	22.0	
80歳以上	今回調査	n= 49	4.1	6.1	2.0	4.1	6.1	4.1		
	前回調査	n= 49	4.1	6.1	2.0	4.1	6.1	4.1		

		件数	す収人する集権及び提す供を情充報実の	すに査人する関・権す理犯や事人員を権の相調実談	その他	特にない	わからない	無回答	
全体		n= 1,513	19.8	17.4	2.1	2.1	7.1	3.9	
性別	男性	今回調査	n= 619	20.7	17.4	3.6	2.4	6.1	0.5
		前回調査	n= 740	19.5	17.8	3.6	3.6	6.8	4.9
	女性	今回調査	n= 844	20.1	18.0	0.9	2.0	8.1	1.7
前回調査		n= 939	23.3	18.4	1.4	1.1	5.8	3.2	
	その他・無回答	今回調査	n= 50	4.0	6.0	4.0	0.0	84.0	
年代別	18～29歳	今回調査	n= 109	20.2	13.8	1.8	0.9	5.5	0.0
		前回調査	n= 148	21.6	14.2	2.0	1.4	7.4	0.7
	20歳代	今回調査	n= 143	21.7	17.5	1.4	0.7	6.3	0.0
		前回調査	n= 215	24.2	19.5	1.4	0.9	7.0	6.0
	30歳代	今回調査	n= 210	21.4	16.2	2.9	2.4	4.3	1.0
		前回調査	n= 254	22.4	20.1	3.1	1.2	3.9	3.5
	40歳代	今回調査	n= 237	19.0	19.0	4.2	1.3	7.6	0.4
		前回調査	n= 284	25.0	23.2	2.5	1.4	3.2	1.8
	50歳代	今回調査	n= 327	23.5	21.4	1.5	2.1	7.6	0.6
		前回調査	n= 393	21.9	15.0	3.3	1.8	7.1	4.3
	60歳代	今回調査	n= 299	19.4	18.1	1.7	3.0	7.4	2.7
		前回調査	n= 261	16.9	16.9	1.5	5.7	6.5	3.8
	70歳代	今回調査	n= 139	14.4	12.9	0.0	4.3	11.5	4.3
		前回調査	n= 123	16.3	17.9	1.6	3.3	11.4	9.8
80歳以上	今回調査	n= 49	4.1	4.1	4.1	0.0	4.1	81.6	
	前回調査	n= 49	4.1	4.1	4.1	0.0	4.1	81.6	

性別でみると、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」は女性（44.3%）が男性（38.1%）を6.2ポイント上回っている。また「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」は男性（45.6%）が女性（40.4%）を5.2ポイント上回っている。

性別について前回調査と比較すると、「国や地方自治体、民間団体等の関係機関が連携を図り、一体的

な教育・啓発広報活動を推進する」は女性で6.7ポイント減となっている。

年代別で見ると、「学校内外の人権教育を充実する」は70歳代、80歳以上で4割台半ばと低くなっている。また、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」は60歳代、70歳代、80歳以上で5割前後と高くなっている。

年代別について前回調査と比較すると、「国や地方自治体、民間団体等の関係機関が連携を図り、一体的な教育・啓発広報活動を推進する」は30歳代、40歳代、50歳代で10ポイント前後減少している。

自由記入欄

さまざまな人権問題について、日頃から考えておられること、また、行政に対してのご意見やご要望など自由にお書きください。

(※) 総数 385 件のご意見をいただきました。「主なご意見等」の欄は、いただいたご意見の趣旨を記載しています。また、ご意見の内訳はひとつの意見につき複数の項目に振り分けられることもあるため、総数と一致しません。

○人権全般に係るご意見等 100 件

主なご意見等	
・	人権問題は学校・会社・家庭などさまざまな場所であるが、嫌がらせをされる本人はなかなか誰にも相談出来ず、一人でストレスを溜める傾向にある場合が多いと思う。「言えない」のだ。自分も障害があるが、会社で人権に関する教育があった前後では、働きやすさがかなり改善されたように思う。徹底して教育をしていただき、小さな声にも対応してもらえる窓口が必要だと思う。 (備中地域/40 歳代/男性)
・	人権意識の高揚を図ることが大切であると思う。たゆまず、粘り強く、人権意識の高揚を図る研修会や講演会、シンポジウムなどを充実させ県民一人ひとりの意識を向上させてほしい。 (美作地域/60 歳代/男性)
・	多様性が話題になっている今日だが、人権に対する正しい理解が一般県民に浸透しているとは思えない。今回の「意識調査」は関係者の方々の前向きな姿勢だと思う。人権問題が根強く残る背景のひとつには、日本人特有の保守性もあると思う。これからの人権問題に行政として対処していくべきことは、やはり「教育」だと思うし、それを進める教育方法がまず求められる。特にこれからの将来を担う子どもや若い人に人権への理解が進むことを望む。(備前地域/70 歳代/男性)
・	人権問題について各地域での話し合い検討会等をしながらか行政の協力を仰いで努力していきたい。 (備中地域/70 歳代/男性)
・	さまざまな人が、理解し合い、尊重できる社会であってほしいと思う。特別なことではなく、自然に生きられるようになればいいと思う。(備前地域/40 歳代/女性)

○個人人権課題に係るご意見等 176 件

個別課題	件数	主なご意見等
女性	9 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独身女性への風当たりが強く、少子化問題は結婚しないからだなどと言われがちだが女性特有の病気で子どもを持たない人もいる。独身への偏見がなくなる日がきてほしい。(備中地域/40 歳代/女性) ・ 女性へのDV問題が気になっている。ストーカー法などで守られているようだが、なかなか言い出しにくい状況もあるかもしれない。学校や地域など行きやすい場所で、話しやすい場があってもよいと思う。なおかつ、プライバシーが守られていれば、もっとよいと思う。 (備前地域/60 歳代/男性) ・ 母親に対する相談場所の充実・ケアを一番にしてほしいと思う。一息できる時間を作ってあげてほしい。 (備前地域/40 歳代/女性)

個別課題	件数	主なご意見等
子ども	33件	<ul style="list-style-type: none"> ・私自身が親になって改めて思うのは、子どもたちの考え方や物の捉え方をつくっていくのは、周りの環境が大きいということである。だからこそ、行政、学校、家庭が一緒になって取組ができたらと思う。子どもたちが互いに認め合い、それぞれが伸び伸びと生きていける社会になってくれることを願う。私も親として頑張る。(美作地域/18～29歳/女性) ・「いじめ」による自殺、子どもの虐待が後を絶たない状況。教育委員会、福祉などの行政者の責任のなさを痛感している。「公務員とは」と疑問を持ってしまう。(備前地域/60歳代/男性) ・学校内の支援学級に在学している子どもがいるが、とても差別的なことが多いと感じる。きちんと説明もしない、なぜその学級があるのかなど子どもたちに教えることが必要だと思う。(備前地域/30歳代/女性) ・道徳教育や倫理教育について、小学生より真剣に取り組む必要があると感じる。教師が教え子に対して臆病になっている感じがしてならない。教師がなぜ“先生”と呼ばれているかを考えて、もっと威厳を持って教育に従事して頂き、サラリーマンの意識を持った教師は排除し、教育を根本的に見直して頂きたい。(美作地域/60歳代/男性) ・保育園の中で子どもたちは、平気で人権を傷付ける言葉や行動をすることがある。そのことについては、大人が正しいことを伝えたり、相手はどう思っているのかを知らせたりすることが必要だと思う。大人も放っておくばかりではなく、入らないといけない時はしっかり入って伝えていくべきだと思う。(備前地域/60歳代/女性)
高齢者	11件	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者施設における暴力などの問題。職員の教育を充実させるべき。短期間でのヘルパー教育では、現状に対応する力が修得できないと思う。(美作地域/60歳代/女性) ・高齢者の経済的不安をなくし、年金の保証を希望する。貧富の差をなくすことが、犯罪をなくすことにつながるのではないか。(備前地域/40歳代/女性) ・老人の住みにくい環境になっていると思う。ネット社会、年金、医療、介護などにおいて、健康が害されると一度にすべてのことが押し寄せてくる。動くことも考えることもすべて止まってしまう、心に大きく負担がかかる。そんな時、ひと言でわかる言葉の公的窓口とお世話をしてくれる人の存在を知らせてほしい。訪問されることも疑い、調査票も疑わないといけない社会ではなく、安心して頼れる窓口が欲しい。(備中地域/60歳代/女性)
障害のある人	15件	<ul style="list-style-type: none"> ・今の日本は、決して生きやすい訳ではないですが、いわゆる健常者だけが生きられる社会だと思う。弱者は声をあげても、なかったことにされてしまう。まずは健常者の意識を変えなければいつまでもこのままだと思う。(美作地域/50歳代/女性) ・障がいのある人への理解が周囲にいない。介護や保育の大変さを知ってほしい。(備前地域/18～29歳/女性) ・娘が手帳を持っている。精神的な面や能力的なことが一般の方より低いかもしれない。それにしても、市役所の福祉課へ行くと、どう考えてもその言動は、おかしい。娘に対しても言葉使いや目つきがバカにしているような態度である。何のための福祉課なのか？なぜ、このような人が福祉課で対応するのか考えられなかった。恐怖すら感じた。娘は恐くて、引っ越した。(備前地域/70歳代/女性)

個別課題	件数	主なご意見等
同和問題	15件	<ul style="list-style-type: none"> ・同和について、本人も本人ではない人も気にせず無言のまま過せば良い。気にするから気になる。(備中地域/50歳代/女性) ・同和問題を学校で教えるべきでない。知らない人にあえて教えているようなもの。新たに人権差別問題を増やすだけ。余計、同和の子どもたちが肩身の狭い思いをする。また、内容が子どもたちには理解出来ず、いじめの対象になる。(備中地域/80歳以上/女性) ・学校での同和教育が分かりにくいのでは？同和問題と言われてもピンと来ず、大人になってから多様な情報で間違った理解をしてしまう気がする。(備中地域/40歳代/男性) ・私の住んでいる地域では、まだ「部落」という言葉が存在し、その地域に住む人は、「柄が悪い」、「よろしくない」などと思われている。そこから、その地域の人と交際した時、周囲から反対された。そういうことをなくしていきたい。「今」が大切であることを、学校では学習すべきであると考えます。(備中地域/18~29歳/男性) ・同和という言葉を知ったのも、同和問題がまだあることを知ったのも岡山に来てから。当事者の問題となっていることを聞ける窓口は必要だと思う。正しい知識の周知も大切だが、基本は人を思いやる心だと思う。(備中地域/30歳代/男性)
在住外国人	9件	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人権学習の一環としていろいろな仕事場を見学に行った。外国人の労働者の方だけが従事する「臭い」、「汚い」、「重い」職場には日本人は一人も働いていない。こういう仕事をしてくださる人がいて、最終的にきれいな商品が出来ているのだと思い、同じ人間として同情したり、考えさせられたりした。今後も人権問題について知りたいと思う。(備中地域/70歳代/女性) ・外国人が相談でき、差別に対して、法的にも対処できるように支援することが必要だと思う。(備前地域/50歳代/女性) ・在日外国人の方が増えているので、言語や教育の面で早く対応してほしい。他国と比べても受け入れに遅れていると思う。(備前地域/40歳代/男性)

○行政へのご意見等 79件

主なご意見等	
<ul style="list-style-type: none"> ・各自治体レベルで、無料のカウンセリングサービスを開設すると良い。電話ではあまりに即時的に対応も煩雑なので、メールによる相談が好ましい。民間にも、メンタル心理カウンセラーなどの資格が開かれており、多様なカウンセラーが、多角的に住民とつながる機会を設けることができることが望ましい。これは、悩める子どもメール相談でも活用できる。(美作地域/40歳代/男性) ・行政が人権問題に取り組んでいることは十分わかる。今後も持続的にさまざまな課題に忍耐強く、あきらめず取り組んで行くことを希望する。(美作地域/70歳代/男性) ・昨年のも水害で被災したが、避難所とその他へ避難した者への待遇がずいぶん違っていた。避難所は手厚く支援物資も充分に行き渡ったと聞いている。避難所以外へは何ら情報もなく、支援物資も受け取れない状態だった。このような不公平がないよう、行政として情報のやり方を考慮してほしい。また、この被災者に対する調査もぜひ行って頂きたい。(備中地域/60歳代/男性) ・生活上差別のない行政にしてほしい。(美作地域/80歳以上/女性) ・地域住民のことをしっかり考え、ベストな施策を実施して欲しい。(備前地域/18~29歳/男性) ・行政には、常にアンテナを広げ、何か問題が起きた時に相談して良かった、頼って良かったと思える場所や、スピード感ある実行力を期待する。相談場所の人材育成も大切だと思う。(備前地域/60歳代/女性) 	

主 な ご 意 見 等

- この調査を受けたことで、改めて人権問題について考えたので良い機会となった。
(備前地域/50歳代/女性)
- 日頃はあまり人権問題に対し何も考えず過ごしていたが、このアンケートを通していろいろな人権問題があるということを実感させられた。このような取組により、少しでも辛い思いをしている人が楽になり、人生が変わっていけばいいのではないかと思った。(備中地域/50歳代/女性)
- 私は人権についてあまり考えず生活していた。このアンケートを通して少し考えることができた。勉強した気分である。ありがとうございました。(備中地域/50歳代/男性)
- この調査票には男性に関する事柄や、男性の人権を守るための質問がないことに失望した。結局男女平等ではなく男性には人権がないという印象を受けた。(備中地域/80歳以上/男性)

「人権問題に関する県民意識調査票」

1 人権問題について

問1 あなたは、法の下での平等、自由権、社会権（生存権、教育を受ける権利、労働の権利等）等の基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。（✓は1つ）

- 1 知っている
- 2 知らない

問2 新聞やテレビなどで「人権問題」とか「人権が侵害された」というニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5年の間に、日本で人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。

（✓は1つ）

- 1 少なくなってきた
- 2 あまり変わらない
- 3 多くなってきた
- 4 わからない

問3 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。（✓は1つ）

- 1 ある → 問3-1へ
- 2 ない → 問4へ

(問3で「ある」と答えた方にお聞きします。)

問3-1 それは、どのような場合ですか。差し支えなければこの中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口
- 2 名誉・信用のき損、侮辱
- 3 インターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ
- 4 プライバシーの侵害
- 5 暴力、強迫、強要（社会的地位、慣習、脅迫などにより、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害された）
- 6 差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、不平等又は不利益な扱いをされた）
- 7 犯罪、不法行為のぬれぎぬ
- 8 地域社会での仲間はずれや嫌がらせ
- 9 警察官、公務員等による不当な扱い
- 10 公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い
- 11 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用の拒否
- 12 学校でのいじめ
- 13 使用者による労働強制・解雇等の不当な待遇
- 14 職場の地位等を使った嫌がらせ（パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントなど）
- 15 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）
- 16 ストーカー行為（つきまとい、電話やメールによる嫌がらせなど）
- 17 DV（配偶者や交際相手からの暴力）
- 18 児童虐待
- 19 悪臭・騒音等の公害
- 20 その他（具体的に： _____)
- 21 なんとなく
- 22 答えたくない

問4 あなたは、他人の人権を守っていますか。(✓は1つ)

- 1 守っていると思う
- 2 自分では気づかないが、守っていないことがあったかもしれない
- 3 守っていないと思う
- 4 わからない

2 主な人権課題に関する意識について

問5 「第4次岡山県人権政策推進指針」に掲げている次の人権課題について、あなたは現在、どのような課題が重要だと思いますか。(✓はいくつでも)

- 1 女性
- 2 子ども
- 3 高齢者
- 4 障害のある人
- 5 同和問題
- 6 外国人
- 7 ハンセン病問題
- 8 患者等（H I V感染・エイズ等）
- 9 インターネットによる人権侵害
- 10 プライバシーの保護
- 11 消費生活上の問題
- 12 犯罪被害者等
- 13 刑を終えて出所した人
- 14 多様な性（体と心の性別に違和感がある人・性的指向（※））
- 15 日本に帰国した中国残留邦人とその家族
- 16 ホームレス（路上生活者）
- 17 自殺対策
- 18 被災者
- 19 北朝鮮当局による拉致
- 20 人身取引
- 21 アイヌの人々への偏見や差別

※ 性的指向：異性愛、同性愛、両性愛等、人の性愛がどういう対象に向かうかを示す考え方

問6 「次回改訂する指針」に新たに加えたらよいと思う人権課題があればご記入ください。

問7 あなたは、女性に関する事柄で、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）による差別的取扱い
- 2 職場における差別待遇（女性が管理職になりにくいなど）
- 3 家庭内における夫から妻に対する暴力（殴る、大声でどなるなど）
- 4 交際相手からの暴力（殴る、勝手に電話やメールをチェックするなど）
- 5 ストーカー行為（つきまとい、電話やメールによる嫌がらせなど）
- 6 職場におけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
- 7 地域における差別（町内会活動など）
- 8 売春・買春（いわゆる「援助交際」を含む）
- 9 内容に関係なく女性の水着姿、裸体や媚びたポーズ等を使用した広告
- 10 女性のヌード写真等を掲載した雑誌、新聞
- 11 アダルト・ビデオ、ポルノ雑誌
- 12 女性の働く風俗営業
- 13 「令夫人」、「婦人」、「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉
- 14 その他（具体的に： _____)
- 15 特にない
- 16 わからない

問8 女性の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(✓は5つまで)

- 1 女性の人権を守るための啓発活動の推進
- 2 学校などでの男女平等に関する教育の充実
- 3 職場において、採用、昇進などの面での男女の均等な機会と待遇の確保
- 4 男女がともに、働きながら、家事、育児及び介護などを両立できる環境の整備
- 5 行政の審議会委員、企業の管理職などで、女性の登用の促進
- 6 女性のための人権相談や電話相談の充実
- 7 DV（配偶者からの暴力）やストーカー行為などで、女性の被害が深刻となる犯罪の取締りを強化するなど、女性に対する暴力をなくすための取組の強化
- 8 マスメディア（テレビ等）で、女性の人権を尊重する視点を、今以上に、取り入れること
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 特にない
- 11 わからない

問9 あなたは、子どもに関する事柄で、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 「仲間はずれ」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりするなどのいじめ
- 2 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事
- 3 教師が授業中騒いだ子どもをなぐるなどの体罰を加えること
- 4 保護者や同居する家族・親族が子どもに暴力をふるう、養育を放棄するなど、子どもを虐待すること
- 5 学校や就職先の選択などについて、子どもの希望や意志を大人が尊重しないこと
- 6 児童買春・児童ポルノ等
- 7 その他（具体的に： _____)
- 8 特にない
- 9 わからない

問10 子どもの人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(✓は5つまで)

- 1 学校での人権教育・道徳教育の推進
- 2 家庭での人権教育・道徳教育の推進
- 3 いじめ防止等のための対策の推進
- 4 研修会の実施等による教師や保育士の資質、能力の向上
- 5 家庭内の人間関係・経済的な安定
- 6 地域の人々による子どもへの見守り・声かけ・指導等
- 7 子どもが被害者となる犯罪の取締まりの強化や有害環境の浄化
- 8 子どもに関する相談体制の充実
- 9 子どもの人権を守るための啓発・広報活動の推進
- 10 子どもが自由に自分の意見を表明できる機会の確保
- 11 子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きる力の醸成
- 12 マスメディア（テレビ等）の情報発信のあり方の見直し
- 13 インターネットやスマートフォン、携帯電話の利用等にかかわる規制
- 14 児童虐待を防止するための対策の充実
- 15 社会全体で子育てを支援していく気運の醸成
- 16 その他（具体的に： _____)
- 17 特にない
- 18 わからない

問 11 あなたは、高齢者に関する事柄で、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 経済的に自立が困難なこと
- 2 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
- 3 悪質商法や詐欺の被害者が多いこと
- 4 家族や介護者の嫌がらせや虐待
- 5 病院や介護施設での劣悪な処遇や虐待
- 6 高齢者を邪魔者扱いにすること
- 7 高齢者の意見や行動を尊重しないこと
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

問 12 高齢者の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(✓は5つまで)

- 1 働く意欲のある高齢者の就労の場の確保
- 2 自立して生活しやすい環境の整備
- 3 生活保障（年金など）の充実
- 4 保健・福祉・医療サービスの充実
- 5 高齢者が被害者になる犯罪の取締まりの強化
- 6 高齢者の人権を守るための啓発・広報活動の実施
- 7 高齢者のための相談体制の充実
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

問 13 あなたは、障害のある人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 結婚問題での周囲の反対
- 2 就職・職場での不利な扱い
- 3 就学・学校での不利な扱い
- 4 職場・学校等での嫌がらせやいじめ
- 5 差別的な言動
- 6 悪質商法の被害者が多いこと
- 7 アパート等の住宅への入居が困難なこと
- 8 スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
- 9 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 10 人々の障害のある人に対する理解が足りないこと
- 11 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店、施設利用の際の拒否や利用条件の提示
- 12 その他（具体的に： _____)
- 13 特にない
- 14 わからない

問 14 障害のある人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(✓は5つまで)

- 1 自立して生活しやすい福祉のまちづくりを推進するための生活関連施設等のバリアフリー化を推進
- 2 自分らしく働くことのできる就労の場の確保
- 3 障害の有無にかかわらない交流活動の促進
- 4 個人のニーズに合った福祉サービスの充実
- 5 障害のある人を支援するボランティアなどの育成
- 6 障害のある人のための相談体制の充実強化
- 7 地域社会とのネットワークと連携した支援体制の整備
- 8 障害及び障害のある人に対する正しい理解と人権を守るための啓発・広報活動を推進
- 9 成年後見制度など障害のある人の権利と財産を守る制度の利用促進
- 10 障害のある人に対する様々な情報提供の充実
- 11 警察官・公務員等や、交通・医療機関に従事する人の障害特性に関する理解と配慮
- 12 その他（具体的に： _____)
- 13 特にない
- 14 わからない



約半分終了です。
引き続き、お願いします。

問 15 あなたは、同和問題について、初めて知ったきっかけは、何からですか。
(✓は1つ)

<input type="checkbox"/> 1 家族（祖父母、父母、兄弟姉妹等）から聞いた	}	→ 問 15-1 へ
<input type="checkbox"/> 2 親戚の人から聞いた		
<input type="checkbox"/> 3 近所から聞いた		
<input type="checkbox"/> 4 職場の人から聞いた		
<input type="checkbox"/> 5 学校の友だちから聞いた		
<input type="checkbox"/> 6 学校の授業で教わった		
<input type="checkbox"/> 7 テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った		
<input type="checkbox"/> 8 同和問題の集会や研修会で知った		
<input type="checkbox"/> 9 都道府県や市区町村の広報紙や冊子等で知った		
<input type="checkbox"/> 10 同和問題は知っているがきっかけは覚えていない		
<input type="checkbox"/> 11 その他（具体的に：		
<input type="checkbox"/> 12 同和問題を知らない		→ 問 16 へ

(問 15 で「1 ～ 11」と答えた方にお聞きします。)

問 15-1 あなたは、同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きている
と思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中か
らあげてください。(✓はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1 結婚問題での周囲の反対	
<input type="checkbox"/> 2 就職・職場での不利な扱い	
<input type="checkbox"/> 3 差別的な言動	
<input type="checkbox"/> 4 差別的な落書	
<input type="checkbox"/> 5 身元調査	
<input type="checkbox"/> 6 インターネットを利用した差別的な情報の掲載	
<input type="checkbox"/> 7 その他（具体的に：)
<input type="checkbox"/> 8 特にない	
<input type="checkbox"/> 9 わからない	

(問 15 で「1 ～ 11」と答えた方にお聞きします。)

問 15-2 同和問題の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(✓は3つまで)

- 1 人権教育・啓発広報活動を推進する
- 2 県民の利用しやすい人権相談支援体制を充実する
- 3 えせ同和行為を排除する
- 4 人権問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる
- 5 関係者が自立して生活しやすい環境をつくる
- 6 インターネットの利用等にかかわる規制をする
- 7 特別なことをする必要はなく自然に無くなっていくのを待つ
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

問 16 あなたは、在住外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 職場・学校等での嫌がらせやいじめ
- 2 結婚問題での周囲の反対
- 3 就職や職場での不利な扱い
- 4 差別的な言動
- 5 アパート等への入居の拒否
- 6 宿泊施設・店舗等への入店や施設利用の拒否
- 7 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと
- 8 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 特にない
- 11 わからない

問 17 在住外国人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(✓は3つまで)

- 1 在住外国人の積極的な登用・雇用や労働条件の向上
- 2 在住外国人向けの相談体制の充実
- 3 多言語による生活情報提供の充実
- 4 在住外国人のための日本語学習機会の増大や在住外国人の子どもに対する教育の充実
- 5 在住外国人の意見を行政に反映する機会の充実
- 6 在住外国人への地方参政権の付与
- 7 在住外国人に対する日本人の理解促進
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

問 18 あなたは、ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を知っていますか。(✓は1つ)

- 1 知っている → 問 18-1 へ
- 2 知らない → 問 19 へ

(問 18 で「知っている」と答えた方にお聞きします。)

問 18-1 あなたは、そのようなデモ等をどのようにして知りましたか。

(✓はいくつでも)

- 1 直接見たり聞いたりしたことがある
- 2 デモ等の様子をインターネットなどで見たことがある
- 3 テレビ・ラジオや新聞などの報道で見たり聞いたりしたことがある
- 4 ポスターや冊子などで見たことがある
- 5 家族、友だち等から聞いたことがある
- 6 その他（具体的に： _____)
- 7 わからない

(問 18 で「知っている」と答えた方にお聞きします。)

問 18-2 あなたは、そのようなデモ等を見聞きしてどのように思いましたか。
(✓はいくつでも)

- 1 不愉快で許せないと思った
- 2 日本に対する印象が悪くなると思った
- 3 自分には関係ないと思った
- 4 ヘイトスピーチをされる側に問題があると思った
- 5 「表現の自由」の範囲内のものだと思った
- 6 その他 (具体的に: _____)
- 7 特にない
- 8 わからない

問 19 あなたは、ハンセン病問題に関し、どのような人権問題が起きていたか (いるか) 知っていますか。(✓はいくつでも)

- 1 ハンセン病患者・回復者とその家族に対して、さまざまな偏見・差別があったこと
- 2 戦後に治療薬が開発され、隔離の必要が全く無くなったにも関わらず、ハンセン病患者に対する隔離政策が続いたこと
- 3 かつて療養所では不妊手術を受けることが結婚の条件とされていたこと
- 4 療養所入所者の多くが (亡くなった後も) 故郷に帰れないこと
- 5 療養所退所者が病気を隠して生活せざるを得ないこと
- 6 その他 (具体的に: _____)
- 7 特にない
- 8 わからない

問 20 あなたは、H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染者等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。（✓はいくつでも）

- 1 結婚問題での周囲の反対
- 2 就職・職場での不利な扱い
- 3 治療や入院を断ること
- 4 無断でエイズ検査等を行うこと
- 5 差別的な言動
- 6 アパート等への入居の拒否
- 7 宿泊の拒否
- 8 その他（具体的に： _____）
- 9 特にない
- 10 わからない

問 21 H I V感染者等の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（✓は3つまで）

- 1 病気について正しく理解するための啓発活動の推進
- 2 学校におけるエイズに関する教育の充実
- 3 適切な医療体制や相談体制の充実
- 4 地域支援体制等を充実し、社会で生活しやすい環境の提供
- 5 プライバシーの保護
- 6 家庭や地域社会での啓発活動の取組
- 7 その他（具体的に： _____）
- 8 特にない
- 9 わからない

問 22 あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 他人を誹謗中傷する表現の掲載
- 2 差別を助長する表現の掲載
- 3 個人のプライバシーに関する情報の無断掲示
- 4 LINE や Twitter などの SNS による交流による犯罪の誘発
- 5 元交際相手などの性的な画像などを、相手方の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに公表する行為 (リベンジポルノ)
- 6 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真の掲載
- 7 わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報の掲載
- 8 その他 (具体的に: _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

問 23 あなたは、犯罪被害者及びその家族や遺族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること
- 2 治療費などで経済的負担がかかること
- 3 仕事を休んだり、やめざるを得なくなり、収入が減ったり、途絶えたりすることにより生活が苦しくなること
- 4 家族、友人、職場の同僚等周囲の人との関係が変化すること
- 5 事件のことを思い出したり、周囲にうわさ話をされたりして、転居を余儀なくされること
- 6 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
- 7 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、過剰な取材によって私生活の平穏が保てなくなること
- 8 その他 (具体的に: _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

問 24 あなたは、体と心の性別に違和感がある人や、異性愛を除く性的指向(※)等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。
(✓はいくつでも)

- 1 職場・学校等での嫌がらせ
- 2 差別的な言動
- 3 就職・職場等での不利な扱い
- 4 アパート等への入居の拒否
- 5 宿泊の拒否
- 6 店舗等への入店や施設利用の拒否
- 7 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 8 体と心の性別に違和感がある人や、異性愛を除く性的指向(※)等に対する理解が足りないこと
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 特にない
- 11 わからない

※ 性的指向：異性愛、同性愛、両性愛等、人の性愛がどういう対象に向かうのかを示す考え方

問 25 あなたは、ホームレス（路上生活者）に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 近隣住民等からの嫌がらせ
- 2 通行人等からの暴力
- 3 差別的な言動
- 4 就職・職場での不利な扱い
- 5 アパート等への入居の拒否
- 6 宿泊の拒否
- 7 店舗等への入店や施設利用の拒否
- 8 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 9 経済的に自立が困難なこと
- 10 その他（具体的に： _____)
- 11 特にない
- 12 わからない

問 26 あなたは、東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、現在、被災者にどのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 職場・学校等で嫌がらせやいじめを受けること
- 2 差別的な言動をされること
- 3 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 4 学校、幼稚園等への入学や入園を拒否されること
- 5 避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待
- 6 財産権や居住の自由等が制限されていること
- 7 その他（具体的に： _____)
- 8 特にない
- 9 わからない

問 27 あなたは、職場など（※）でセクシュアル・ハラスメントに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。(✓はいくつでも)

- 1 性的な冗談、からかいや質問
- 2 ヌード写真を見せられたり、不愉快な視線で見られること
- 3 性的含みのある電話やメールなど
- 4 仕事に関係ない食事等にしつこく誘うこと
- 5 身体に不必要に触ること
- 6 その他（具体的に： _____)
- 7 特にない
- 8 わからない

※ 職場以外にも学校やスポーツなど、その他団体等での活動を含む。

問 28 あなたは、職場など（※）でパワー・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントなどに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あなたが、見たり、聞いたり、体験したりしたことを次の中からあげてください。（✓はいくつでも）

- 1 身体をたたいたり物を投げつけるなどの暴力
- 2 同僚の前で叱責したり無能扱いをするなどの精神的な攻撃
- 3 仕事を与えなかったり、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事の強制
- 4 能力を超える過大な業務や、遂行が不可能なことの強制
- 5 隔離、仲間外しや無視など
- 6 プライベートなことをしつこく聞くなど私的なことで過度に立ち入ること
- 7 妊娠・出産に伴う嫌がらせ
- 8 育児・介護休業の制度等の利用を阻害する言動や嫌がらせ
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 特にない
- 11 わからない

※ 職場以外にも学校やスポーツなど、その他団体等での活動を含む。

3 人権課題の解決のための方策について

問 29 あなたは、人権啓発を推進するためには、県民に対してどのような啓発広報活動が効果的であると思いますか。(✓はいくつでも)

- 1 講演会や研修会
- 2 展示会
- 3 広報紙・パンフレット・ポスター
- 4 テレビ・ラジオ
- 5 映画・ビデオ
- 6 新聞・雑誌・週刊誌
- 7 ワークショップ（専門家を交えた少人数の討論会）
- 8 高齢者・障害のある人の疑似体験（車いすやアイマスク等の体験）
- 9 高齢者・障害のある人等との交流会
- 10 インターネット・メール（メールマガジン等）
- 11 自由な意見の交換ができる会合
- 12 その他（具体的に： _____)
- 13 特にない
- 14 わからない

問 30 あなたは、今後、県は、これらの人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(✓はいくつでも)

- 1 人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する
- 2 学校内外の人権教育を充実する
- 3 人権課題に対応する専門の相談機関・施設を充実する
- 4 人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する
- 5 犯罪の取締りを強化する
- 6 人権に関する情報の収集及び提供を充実する
- 7 人権侵犯事件の調査・処理や人権相談に関する人員を充実する
- 8 国や地方自治体、民間団体等の関係機関が連携を図り、一体的な教育・啓発広報活動を推進する
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 特にない
- 11 わからない

最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身のことについて、差し支えない範囲でお答えください。

○ あなたの性別（✓は1つ）

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他（体と心の性別に違和感がある人等）

○ あなたの年齢（令和元年8月1日現在の満年齢）（✓は1つ）

- 1 18～29歳
- 2 30～39歳
- 3 40～49歳
- 4 50～59歳
- 5 60～69歳
- 6 70～79歳
- 7 80歳以上

○ あなたのご職業（✓は1つ）

- 1 農林漁業者（家族従業者を含む）
- 2 企業の経営者・自営業者（家族従業者を含む）
- 3 自由業（弁護士・公認会計士・宗教家・芸術家・各種師匠など）
- 4 企業に勤務
- 5 官庁・団体などに勤務
- 6 その他の職業（)
- 7 専業主婦・主夫（専ら家事・育児をしている方）
- 8 学生
- 9 職業についていない

○ あなたのお住まいの地域（令和元年8月1日現在のお住まい）（✓は1つ）

- 1 備前県民局管内
（岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町のいずれかにお住まいの方）
- 2 備中県民局管内
（倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町のいずれかにお住まいの方）
- 3 美作県民局管内
（津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町のいずれかにお住まいの方）

○ この調査票の設問の量について（✓は1つ）

<input type="checkbox"/> 1 多い <input type="checkbox"/> 2 普通 <input type="checkbox"/> 3 少ない
--

○ この調査票の設問の文章や用語について（✓は1つ）

<input type="checkbox"/> 1 難しい <input type="checkbox"/> 2 普通 <input type="checkbox"/> 3 やさしい
--

自由記入欄

さまざまな人権問題について、日頃から考えておられること、また、行政に対してのご意見やご要望など自由にお書きください。

最後までご協力ありがとうございました。ご記入いただきましたこの調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）により、8月20日（火）までにご投函ください。

